

# 日本性科学会雑誌

## JAPANESE JOURNAL OF SEXOLOGY

Vol. 23 suppl. 2005

- 巻頭言 ..... 大川 玲 子
- 序文～中高年単身者のセクシュアリティ調査の実施に関連して  
..... 荒木乳根子
- 中高年単身者のセクシュアリティ～男女別 年代別にみた全調査内容  
..... 荒木乳根子
- 中高年単身者のセクシュアリティ～結婚歴別の差についての検討  
..... 大川 玲 子
- 中高年単身者のセクシュアリティ～交際している人の有無による性意識の差  
..... 金 子 和 子
- 中高年単身者のセクシュアリティ～配偶者のいる中高年との比較検討  
..... 石田雅巳・荒木乳根子
- 中高年単身男性のセクシュアリティ～男性の事例・自由記述を通して  
..... 堀 口 貞 夫
- 中高年単身女性のセクシュアリティ～女性の事例・自由記述を通して  
..... 渡 辺 景 子
- 二つの中高年セクシュアリティ調査（有配偶者，単身者）を振り返って  
..... 堀 口 雅 子・堀 口 貞 夫
- 付録：アンケート調査票



## 巻 頭 言

大 川 玲 子

セクシュアリティについては多くの言説があり、メディアの発達にともない特にその様相を増している。それらは刺激的ではあるが、それによって不安に陥る人も少なく無い。情報の横行とは裏腹に、セクシュアリティについては親しい間柄でも率直に語り合う事が少なく、信頼できる情報はむしろ少ないからである。われわれ性科学に関わる者の使命の一つは、セクシュアリティについて科学的研究を行い、信頼できる情報を社会に提供することであろう。

このような目的で1999年に発足したセクシュアリティ研究会は、少しずつ活動分野を異にする日本性科学会員有志の集まりである。まずは本会リーダーで、中高年セクシュアリティ研究の蓄積のある荒木乳根子氏の提案を受けて、配偶者のある中高年男女に限定した調査を行った。メンバーのほとんどが中高年であったせいかもしれない。

この研究は主として日本性教育協会の助成金を基に行われた。約1000人の協力を得たこの調査報告は、多くの場で公表され、研究者のみでなく一般の読者からも評価していただいた。当初から織り込み済みであった中高年単身者の調査は2002年にスタートした。今回は大川の出身大学いのはな同窓会の学外研究助成金を基金とした。研究発表が大幅に遅れてしまった経緯は荒木氏の前文その他に記されているが、ようやく発表にこぎつけたことができ、一安心と言う心境である。

初回研究の概要は日本＝性研究会議報に収録されているが、多くのページが割かれているにしても未発表のデータが多く残された。その多くは一般向けの単行本「カラダと気持ち（三五館）」になったが、今回、学術誌として十分なデータを発表する方法を検討したところ、日本性科学会雑誌の特集号を組むと言う案が浮上した。幸い学会総会の賛同を得て初めての特集号発刊となった。今後のまとまった性研究発表の形として、前例になれば幸いである。

セクシュアリティ研究会は今までにエビデンスの無い分野として、中高年、あるいは単身者の研究を取り上げてきた。これは彼（彼女）ら、まして単身中高年がセクシュアル・マイノリティの所以である。今後も性の多様性を支持し、ひいては性を人権の重要部分ととらえる姿勢で、このような共同研究を続けていきたいと考えている。

最後に調査に御協力下さった方々に心から御礼を申し上げる。また本書の内容について、御意見や御批判、また今後の研究方向への御意見などお寄せ下されば、望外の喜びである。

# 目 次

|                                             |                    |
|---------------------------------------------|--------------------|
| 巻頭言 .....                                   | 大 川 玲 子… 1         |
| 序文～中高年単身者のセクシュアリティ調査の実施に関連して<br>.....       | 荒 木 乳 根 子… 3       |
| 中高年単身者のセクシュアリティ～男女別 年代別にみた全調査内容<br>.....    | 荒 木 乳 根 子… 6       |
| 中高年単身者のセクシュアリティ～結婚歴別の差についての検討<br>.....      | 大 川 玲 子…33         |
| 中高年単身者のセクシュアリティ～交際している人の有無による性意識の差<br>..... | 金 子 和 子…43         |
| 中高年単身者のセクシュアリティ～配偶者のいる中高年との比較検討<br>.....    | 石田雅巳・荒木乳根子…56      |
| 中高年単身男性のセクシュアリティ～男性の事例・自由記述を通して<br>.....    | 堀 口 貞 夫…71         |
| 中高年単身女性のセクシュアリティ～女性の事例・自由記述を通して<br>.....    | 渡 辺 景 子…80         |
| 二つの中高年セクシュアリティ調査（有配偶者、単身者）を振り返って<br>.....   | 堀 口 雅 子・堀 口 貞 夫…88 |
| 付録：アンケート調査票 .....                           | 91                 |



# 序文～中高年単身者のセクシュアリティ調査 の実施に関連して

田園調布学園大学

荒 木 乳根子

## 1. 中高年単身者のセクシュアリティ調査ま での経緯

1999年、筆者らは中高年のセクシュアリティについて調査研究をするためにセクシュアリティ研究会を発足した。荒木が1990年に高齢者のセクシュアリティ調査を実施しているが、性に関する価値観の近年の激しい変遷の中で高齢者のセクシュアリティの実態も変化していると思われ、その変化を追いたいという意図、研究メンバーが携わっている中高年期の性の臨床に役立つような基礎的研究データを得たいという意図などから、大規模な研究調査をすることになったものである。

単なる実態調査ではなく、中高年の男女が良い性的関係を結ぶための促進要因、阻害要因を明らかにし、臨床に役立つ調査研究をしたいというのが、共通の認識だった。そのためには漠然と性行為の実態を聞くのではなく、誰との性行為かを明確にして、その相手との関係性も聞く必要がある。このような考えから、有配偶者と単身者を分け、まずは有配偶者に限定して、配偶者との関係性と性行為についての調査をすることとなった。

配偶者がいる中高年のセクシュアリティ調査は1999年の10月～2000年3月にかけて実施した。内容は「夫婦のパートナーシップ」、「性に関する意識」、「夫婦間の性行為」の三つの側面から成り、この結果についてはすでに報告書としてまとめ、性科学会、アジ

ア性科学会、世界性科学会で発表し、また、単行本としても発刊した。

一段落して、今回、中高年の単身者の調査に取り組んだものである。

現代の日本社会では未婚率、離婚率が増加傾向を示しており、さらに中高年になると配偶者を亡くす人も多い。このように増えてきた単身者のセクシュアリティはどのようなものか、どのような問題を抱えているのかは大きな関心事である。現在は配偶者がいる人にとっても、単身になった時、どのようにセクシュアリティを実現できるかは気になるところであろう。しかし、中高年の単身者を対象としたセクシュアリティ調査はほとんどなされていない。その意味でも今回の調査は有意義であると考えた。

## 2. 調査方法と対象者に関連して

中高年期の単身男性、中年期の単身女性は絶対数が少ない。また、セクシュアリティについての踏み込んだ調査内容であるため協力者を得ることに苦慮した。当初は有配偶者の調査同様、研究会のメンバーがさまざまな対象に依頼したが、データの集まりが悪いためメディアにも依頼し協力者を募集した（荒木論文「II-3 調査手続き」参照）。

各年代で少なくとも40名でいど対象を確保したいと考え、データ集めが2002年9月から2003年12月までという長期にわたっ

た。また、この経緯の中で対象者は関東圏を中心にするものの、地方にもまたがった。

対象者は研究メンバーがつてを頼って依頼した相手からの回答も多く含まれるためか、比較的高学歴で、専門的・技術的職業従事者に偏った嫌いがある。また、結果を見ると回答者は一般より性について比較的積極的で、開かれた感覚の持ち主に偏ったのではないかと懸念される。

従って、数値が日本の単身者の各年代の平均像を示しているとは考えていないし、数値に拘る危険性も自覚している。しかし、内容を詳細に検討していくと、男女による相違、年代による相違、結婚歴や交際相手の有無による相違、有配偶者の調査との相違など、さまざま興味ある所見が得られた。

数的分析を補うための聞き取り調査もしたいと考え、応じてよい場合は名前、連絡先の記載を、と依頼したところ、相当数の記載があった。しかし、研究者側の都合で聞き取り調査は3事例にとどまった。

### 3. 調査票の構成とデータの処理について

調査票は巻末に掲載した。

内容は「基本的属性」についての設問15、副次的設問1、「性についての考え」についての設問5、「付き合い、性的な関係の状況」についての設問10、副次的設問4、「過去1年間の性生活など」についての設問26、副次的設問9、合計で56問、副次的問い14問と多岐にわたる。

設問が多く、多岐にわたったこともあり、約1割強に矛盾回答が見られた。例えば「現在付き合っている人」がいないと回答しているのに、「現在付き合っている人」がいる人」

対象の設問に回答するなどである。おそらく過去の交際相手について回答したと思われる。このような矛盾回答については他の回答と照合し、設問の意図に鑑みて修正を行った。しかし、矛盾回答そのものが意味を持つと思われる場合もあった。例えば、「結婚したいか」という設問に対し、「したい」、「したくない」の両方に○をし、理由も「したい場合」と「したくない場合」の双方に回答しているなどである。結婚についての揺れる気持ちが伺われ、このような場合は回答に既存の選択肢になかった「その他」を設けた。また、その理由は活用した。性についての考えで「配偶者のいる異性との親密な付き合い」をどう思うかという設問についても複数回答が多かったため、その場合は「その他」とした。なお、「お付き合いしている人」については回答者によって受け取り方に幅があり、前後の回答から「茶飲み友達」と思える場合もあった。しかし、高齢者の場合は持続的な人間関係と愛情があれば「茶飲み友達」を「付き合っている人」に上げて何ら不思議はないと考え、これを含めた。

作成した調査票の意図を超えた回答の多様性は、私たちが単身者のセクシュアリティの多様性を考える契機にもなった。

データ処理はSPSSによったが、データ数が少ないので、男女別、10歳刻みの年代別のクロス集計を基本にまとめた。なお、有意差の検討は部分に止めた。

調査票の自由記述欄には男性69名、女性107名と多くの方の記載があった。内容は現代の性の有り様についての危惧、自分達の世代の性についての一般論的な考え方など一般論的な意見の他に、自分自身の過去の性的体

験、現在の生活、直面している交際相手との性的関係、その中での悩みなどさまざまであった。これらの自由記述は調査の数的分析を補う内容と考えられるので、別途まとめることとした。

#### 4. 本論文集の構成について

本号ではまず、荒木論文で全調査内容について男女別年代別に結果を概観した。データベースの意味も含め、ほとんど全ての調査項目について表で示した。大川論文では結婚歴別、すなわち未婚・離婚・死別に分けてその特徴を検討し、金子論文では交際相手の有無別に性意識の差を検討した。また、石田・荒木論文では前回実施した有配偶者の調査結果との比較検討を行った。

さらに、数的な分析を補う意味で、自由記述欄への記載事項や聞き取り調査を素材に、堀口論文では男性、渡辺論文では女性について事例を通した検討を行った。

調査では幾人もの回答者から結果への関心が示された。配偶者がいる中高年のセクシュアリティ調査同様、本論文集が当事者の抱えるセクシュアリティに関する関心、疑問や悩みに少しでも応え得ることを願っている。また、性の臨床において基礎データとして役立つことを願っている。



# 中高年単身者のセクシュアリティ ～男女別・年代別にみた全調査内容

田園調布学園大学

荒 木 乳根子

## I 目的

中高年単身者の性意識、セクシュアリティの現状について多面的に知ることを目的とし、調査を実施した。中高年単身者には未婚のまま中高年期を迎えた人、配偶者と離婚した人、配偶者を亡くした人が含まれる。法律上の婚姻関係はないが、現在パートナーと同居中の人をどうするかどうか検討したが、婚姻に準ずる安定した関係かどうかの線引きは難しいことなどから、現在、婚姻による配偶者がいない男女（以下、単身者と呼ぶ）はすべて対象とした。

本論では調査の全容を、男女差、年代差に注目しながら検討し、報告する。

## II 方法

### 1. 調査時期

2002年9月から2003年12月にかけて調査を実施した。

### 2. 調査対象

主に関東在住で40代から70代までの配偶者がいない男女。

### 3. 調査手続き

上記の期間に共同研究者8名が多方面に依頼した。また、メディアを通じて調査への協力者を募集した。研究者の依頼先は友人・知人、講演会・研修会の聴衆、老人クラブ、老人大学、諸団体、諸機関職員などである。また、調査協力者募集を掲載したメディアは毎

日新聞、朝日新聞、夕刊フジ、月刊福祉ジャーナル、今日の健康など約10社で122人の応募があった。対象者には調査票と切手を貼った返信用封筒を直接または郵送で、あるいは人を介して渡し、返送してもらった。

### 4. 調査票回収数

1838部配布（この中には仲介者に渡したが、対象者には渡らなかった部数も含まれる）。回収数は男性157人、女性279人、不明・その他3人、計439人（回収率23.9%）。このうち、有効回答は男性145人、女性263人、計408人（有効回答回収率22.2%）だった。

### 5. 調査票の構成

基本的属性、性に関する考え、付き合いの状況、過去1年の性生活などに関する設問56問、副次的設問14問から成る。

### 6. 結果の集計、分析とデータ提示

集計結果については、データの男女別、年齢階層別のクロス集計をもとに報告する。年齢階層は全体数が少ないので、10歳区切りにした。データは表で示し、全員対象の質問項目の場合は人数を示さなかったが、限定する場合はタイトル横の（ ）内に対象を、表内に対象数を記載した。また、後掲の調査票と対照できるようにタイトル横の（ ）内には調査票の質問番号も記載した。

なお、%の数値は小数点以下を四捨五入し、整数で示した。そのため合計は100と

なっている表の数値を足すと100にならない場合がある。

### Ⅲ 結果と考察

#### 1. 調査対象者の背景 (表1, 2)

##### 1) 年齢階層

総数は男性145人、女性263人で、男性の方が118人少ない。女性に比べ、単身者の絶対数が少ないこともあるが、有配偶者の場合と同様、配布先は女性が多かったこと、女性の方がセクシュアリティについて問題意識が高いこと等影響しているよう。表1をみると、男性は各年齢階層からほぼバランス良く回答が得られたが、女性は50代がやや多く、60代がやや少なくなった。平均年齢は男性59.4歳、女性58.4歳である。

表1 年代別対象者数 (A2) 人 (%)

|      | 男性        | 女性        |
|------|-----------|-----------|
| 40代  | 38 (26)   | 65 (25)   |
| 50代  | 33 (23)   | 86 (33)   |
| 60代  | 37 (26)   | 52 (20)   |
| 70代  | 37 (26)   | 60 (23)   |
| 総計   | 145 (100) | 263 (100) |
| 平均年齢 | 59.4歳     | 58.4歳     |

■%の数値は小数点以下を四捨五入したため、表の数値を足しても100にならない場合がある。以下の表も同様。

##### 2) 同居人の有無

男女ともほぼ半数は一人暮らしであるが、肉親との同居も多い。40代は男性の58%、女性の54%が肉親と同居している。結婚歴 (表3) 等参照すると、40代男性は親との同居が多く、女性は40%が出産しており、子どもとの同居が多いと推定される。また、70代の男性は一人暮らしが73%と突出して多かった。同棲は男性の4%、女性の2%だ

が、年代別に見るとやや多いのは男性50代9%、60代5%、女性50代5%だった。

表2 基本的属性

%

| 項目                 | 男性 | 女性 |
|--------------------|----|----|
| 同居の有無 (A3)         |    |    |
| 一人暮らし              | 53 | 51 |
| 肉親と同居              | 39 | 46 |
| 友人と同居              | 1  | 1  |
| 同棲                 | 4  | 2  |
| その他                | 2  | 0  |
| 無回答                | 1  | 0  |
| 就労の有無 (A4)         |    |    |
| 就労経験あり             | 47 | 34 |
| 現在、就労している          | 52 | 61 |
| 就労経験なし             | 1  | 4  |
| 無回答                | 1  | 0  |
| 最終学歴 (A5)          |    |    |
| 中学校・尋常小学校等         | 7  | 8  |
| 高校・旧制中学校等          | 30 | 35 |
| 短大、専門学校・旧制高校等      | 12 | 34 |
| 大学・大学院             | 50 | 22 |
| その他                |    | 0  |
| 無回答                | 1  | 0  |
| 経済的な収入 (複数回答) (A6) |    |    |
| 自分の仕事の収入           | 59 | 62 |
| 自分の財産、家賃など         | 17 | 18 |
| 恩給、年金              | 47 | 41 |
| 恩給、年金以外の社会保障給付金    | 3  | 3  |
| 身内の援助              | 4  | 10 |
| その他                | 3  | 2  |
| 健康の自覚 (A10)        |    |    |
| 健康である              | 45 | 43 |
| だいたい健康である          | 41 | 49 |
| あまり健康ではない          | 10 | 6  |
| 健康ではない             | 4  | 1  |
| 無回答                | 0  | 1  |
| 通院治療中の病気 (A11)     |    |    |
| 病気がある              | 44 | 38 |
| 病気はない              | 53 | 56 |
| 無回答                | 3  | 7  |

### 3) 就労経験と学歴

男性の99%、女性の95%は就労経験があるか、現在就労していた。女性は現在就労している人が男性より多く、61%も占める。70代まで含むことを考えると、女性の就労率は一般平均よりかなり高いと言えよう。

一番長く就いた職業の内容を聞いたが、男性は専門的・技術的職業32%が最も多く、次いで管理的職業従事者22%、事務従事者およびサービス職業がともに10%であった。女性は専門的・技術的職業が43%と抜き出て多く、次いで事務従業者22%、サービス職業9%、管理的職業従事者8%だった。

学歴をみると男性はどの年齢階層も「大学・大学院」が最も多く、全体で50%を占める。次いで30%が「高等学校・旧制中学校」である。女性は40代から60代まで「短期大学・専門学校」が最多であり、70代は「旧制高等女学校・師範学校」が最多であった。女性全体としては「短期大学・専門学校」、次いで「高等学校」、「大学・大学院」の順になっている。

対象者は中高年の平均像と比較すると、学歴が高く、専門的・技術的職業従事者に偏っているといえよう。

### 4) 経済的な収入

男女とも60%前後が「自分の仕事の収入」で、「恩給・年金」が40%台である。当然の事ながら、40代、50代は「自分の仕事の収入」が大半を占め、60代、70代は「恩給・年金」が多い。「身内の援助」は男性より女性がやや多く10%であるが、年代的に最も多いのは40代女性の15%である。離婚し子育て中などの事情があるためであろう。

### 5) 健康の意識と病気

男性は「健康である」の45%、女性は「だいたい健康」の49%が最多であった。男女とも「健康／だいたい健康」が大半を占め、「あまり健康でない／健康でない」は男性14.4%、女性6.5%で、年代による差はあまりなかった。

しかし、有病率は男性44%、女性38%である。年代と共に有病率は上昇し、70代は男性67.6%、女性51.7%が通院治療中の病気を有していた。

次に、セクシュアリティに関連が深い基本的事項について述べたい。

## 2. 性に関わる対象者の背景

### 1) 結婚歴(表3)

全体では男性は「未婚」32%、「死別」

表3 結婚歴(A7)

%

|     | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 未婚  | 76  | 42  | 8   | 0   | 32  | 49  | 45  | 25  | 8   | 34  |
| 死別  | 3   | 18  | 54  | 78  | 39  | 9   | 20  | 48  | 75  | 35  |
| 離婚  | 21  | 39  | 35  | 19  | 28  | 42  | 33  | 27  | 13  | 29  |
| 無回答 | 0   | 0   | 3   | 3   | 1   | 0   | 2   | 0   | 3   | 2   |
| 計   | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |



表4 同棲経験 (A8)

%

|        | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 同棲経験なし | 79  | 67  | 81  | 60  | 71  | 74  | 78  | 77  | 60  | 73  |
| 同棲経験あり | 18  | 21  | 3   | 22  | 16  | 25  | 13  | 12  | 17  | 16  |
| 現在、同棲中 | 3   | 9   | 5   | 5   | 6   | 2   | 5   | 0   | 0   | 2   |
| 無回答    | 0   | 3   | 11  | 14  | 7   | 0   | 5   | 12  | 23  | 9   |
| 計      | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表5 性体験 (A9)

%

|          | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|          | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 性体験なし    | 8   | 9   | 0   | 0   | 4   | 3   | 7   | 6   | 0   | 4   |
| ベッティングあり | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 5   | 2   | 2   | 0   | 2   |
| 性交渉あり    | 92  | 91  | 97  | 97  | 95  | 92  | 88  | 89  | 90  | 90  |
| 無回答      | 0   | 0   | 3   | 3   | 1   | 0   | 2   | 4   | 10  | 4   |
| 計        | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

39%、「離婚」28%、女性は同じ順序で34%、35%、29%で大差ない割合となっている。当然の事だが、「未婚」は若い年代ほどその割合が高く、「死別」は年齢が高いほど多い。「離婚」は女性の場合、若い年代ほど多いが、男性の場合、40代は「未婚」が76.3%と際だって多く、離婚の割合は少ない。また、男性の70代は未婚者がいない。

## 2) 同棲経験および性体験 (表4, 5)

同棲経験はない人の方が多く、経験ありは男女とも16%である。現在同棲中は女性の場合、40代の2%、50代の5%のみであるが、男性は全体で6%、年代を問わずにある。

一方、性体験がない人は男女とも4%、「ベッティングのみ」は女性2%であり、未婚であってもほとんどの人が性体験をもって

いることが分かる。

## 3) 出産および中絶 (表6, 7)

女性のみに質問したが、出産経験がある女性は全体で57%であった。40代、50代は40%台であるが、60代は69%、70代は83%と多くなっている。

妊娠中絶は46%の女性が経験している。50代、60代が40%台であるのに比べ70代は58%と多い。70代は未婚者が少ないだけではなく、避妊手段の普及が不十分であったとことも影響していよう。

表6 出産の経験 (A12 対象:女性)

%

|     | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ある  | 40  | 45  | 69  | 83  | 57  |
| ない  | 57  | 54  | 29  | 15  | 41  |
| 無回答 | 3   | 1   | 2   | 2   | 2   |
| 計   | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表7 妊娠中絶の経験 (A13 対象：女性) %

|     | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ある  | 35  | 44  | 46  | 58  | 46  |
| ない  | 62  | 54  | 50  | 38  | 51  |
| 無回答 | 3   | 2   | 4   | 3   | 3   |
| 計   | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

#### 4) 月経の変化と更年期障害 (表8, 9)

月経は若い頃 (30代前半) と比べてどうかを聞いた。40代は「不規則になってきた」が42%を占め、「閉経した」は3%に過ぎないが、50代になると「不規則になってきた」が21%、「閉経した」が74%に増えている。ほとんどの女性が50代に閉経することがわかる。

更年期障害についてみると、「現在、更年期障害がある」のは40代、50代に30%前後と多く、「過去に、更年期障害があった」人は60代、70代でほぼ60%である。60代、70代をみると、更年期障害と意識する症状を経験する女性はほぼ65～70%と言えそうである。

表8 月経の状態 (A14 対象：女性) %

|           | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 変化ない      | 51  | 5   | 0   | 0   | 14  |
| 不規則になってきた | 42  | 21  | 0   | 0   | 17  |
| 閉経した      | 3   | 74  | 92  | 95  | 65  |
| 無回答       | 5   | 0   | 8   | 5   | 4   |
| 計         | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表9 更年期障害の有無 (A15 対象：女性) %

|            | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経験していない    | 68  | 40  | 35  | 30  | 43  |
| 現在、更年期障害あり | 28  | 33  | 4   | 8   | 20  |
| 過去に更年期障害あり | 0   | 27  | 60  | 62  | 35  |
| 無回答        | 5   | 1   | 2   | 0   | 2   |
| 計          | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

### 3. 性についての考え

#### 1) 性についての考え方 (表10)

性に関わる17項目の考え方について「はい」「いいえ」で回答を求めた。表は「はい」と回答した割合を示したものである。なお、「どちらともいえない」という回答もあったが、それも無回答に含めた。無回答は平均で男性8%、女性15%であり、多少答え辛さがあったと推測される。男性は無回答の年代による差は少なかったが、女性の場合は70代の無回答が20～30%台と目立って多かった。70代女性は「性について口にしてはいけない」というタブー意識が強いことも影響していよう。

表を見ると、男女ともに80%以上が「性はコミュニケーションである」と考えているが、「快楽である」、「楽しいものだ」という考えは男性が85%、88%であるのに対し、女性は62%、67%であり、性差が大きい。

「愛情があれば性的な関係をもってよい」「互いの合意があれば性的関係をもってよい」などの性的関係をもつ条件については、男性の肯定は82%、88%、女性の肯定は62%、68%で男性の方が許容的である。男性は年代による差があまり見られないのに対し、女性は年代が高くなるほど、条件が厳しい。70代女性は53%が「結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない」と考えている。しかし、女性も40代は男性とほぼ同様に許容的になっている。

「買売春は悪いことだ」という考えは女性の方に多い。男性は37%が「いいえ」と否定している。女性の否定は10%だが、この考えについては前述のような年代差が見られないのが興味深い。

表 10 性に関する考え方 (B1)

%

|                        | 男性  |     |     |     |    | 女性  |     |     |     |    |
|------------------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|                        | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 性はコミュニケーションである         | 84  | 91  | 84  | 81  | 85 | 86  | 84  | 85  | 65  | 80 |
| 性は快楽である                | 84  | 94  | 84  | 78  | 85 | 74  | 69  | 60  | 43  | 62 |
| 性は楽しいものだ               | 79  | 94  | 89  | 92  | 88 | 75  | 70  | 65  | 57  | 67 |
| 性について口にしてはいけない         | 11  | 3   | 0   | 14  | 7  | 0   | 9   | 19  | 35  | 15 |
| 性は不潔で汚らしい              | 3   | 0   | 5   | 0   | 2  | 2   | 4   | 4   | 3   | 3  |
| 性の目的は子供を産むことである        | 24  | 12  | 19  | 16  | 18 | 12  | 11  | 19  | 18  | 14 |
| 結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない | 13  | 15  | 27  | 24  | 20 | 6   | 16  | 37  | 53  | 26 |
| 愛情があれば性的な関係をもってよい      | 76  | 91  | 78  | 84  | 82 | 82  | 71  | 52  | 37  | 62 |
| 互いの合意があれば性的な関係をもってよい   | 84  | 94  | 87  | 89  | 88 | 85  | 74  | 75  | 37  | 68 |
| 買売春は悪いことだ              | 63  | 39  | 49  | 68  | 55 | 79  | 78  | 87  | 65  | 77 |
| 閉経以後は性生活をやめるのが自然だ      | 8   | 0   | 8   | 3   | 5  | 2   | 7   | 6   | 8   | 6  |
| 老年になったら男性は性欲がなくなる      | 26  | 21  | 3   | 16  | 17 | 2   | 9   | 17  | 20  | 11 |
| 老年になったら女性は性欲がなくなる      | 32  | 24  | 16  | 19  | 23 | 11  | 29  | 42  | 40  | 30 |
| 性は男性がリードするものだ          | 29  | 27  | 30  | 57  | 36 | 14  | 23  | 39  | 47  | 29 |
| 夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ     | 24  | 36  | 43  | 43  | 37 | 17  | 15  | 27  | 40  | 24 |
| 妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ     | 42  | 42  | 49  | 60  | 48 | 23  | 21  | 29  | 35  | 26 |
| 女性から求めるのは恥ずかしいことだ      | 5   | 0   | 5   | 5   | 4  | 5   | 13  | 23  | 25  | 16 |

「性について口にしてはいけない」、「女性から求めるのは恥ずかしいことだ」という考えは少ないが、男女を比較すると女性の方に多い。これらは女らしさの縛りとも言えるが、70代女性の35%、25%から年代ごとに少なくなり、40代にはほとんどない。

逆に「性は男性がリードするものだ」、「妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ」という考えは、男らしさの縛りとも言えるかも知れないが、70代男性は57%、60%と他の年代に比べて多い。なお、「妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ」と考える男性48%が「夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ」と考える男性37%以上に多いのも興味深い。この3つの考え方はいずれも、女性は男性より低い。

## 2) 配偶者のいる異性との交際についての

考え (表 11, 12, 13)

一般論として「男性が配偶者のいる異性と親密な付き合いをする」ことについて、「つきあうべきではない」という人が最も多いが、男女比では、男性26%、女性34%で女性の方がより多い。また、「性的関係があっても、家庭に迷惑がかからなければかまわない」という人は男性に多く、男性の方が許容的であることが分かる。

女性は「女性が配偶者のいる異性と親密な付き合いをする」についてもほぼ同様の考え方をしているが、男性は「つきあうべきでない」が31%に増加し、やや厳しい見方になることが分かる。

一般論ではなく、「あなた自身が配偶者のいる異性と親密な付き合いをする」ことについては聞くと、男性の場合は一般論と大差ないが、女性は「つきあうべきでない」が



表 11 配偶者のいる女性との交際 (B2)

%

|                | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|                | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| つきあうべきではない     | 37  | 24  | 22  | 22  | 26  | 31  | 28  | 44  | 38  | 34  |
| 性的関係がないならかまわない | 21  | 24  | 22  | 22  | 22  | 22  | 19  | 23  | 28  | 22  |
| 家庭に迷惑かからなければよい | 26  | 27  | 27  | 14  | 23  | 25  | 20  | 12  | 5   | 16  |
| 家庭に迷惑かかっても仕方ない | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 好きになら付き合うのが自然  | 8   | 12  | 0   | 19  | 10  | 12  | 20  | 15  | 7   | 14  |
| その他            | 0   | 9   | 16  | 11  | 9   | 2   | 5   | 4   | 13  | 6   |
| 無回答            | 8   | 3   | 14  | 14  | 10  | 9   | 9   | 2   | 8   | 8   |
| 計              | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 12 配偶者のいる男性との交際 (B3)

%

|                | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|                | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| つきあうべきではない     | 34  | 27  | 30  | 32  | 31  | 31  | 29  | 44  | 42  | 35  |
| 性的関係がないならかまわない | 29  | 30  | 24  | 27  | 28  | 20  | 17  | 19  | 27  | 21  |
| 家庭に迷惑かからなければよい | 24  | 24  | 24  | 14  | 21  | 25  | 19  | 10  | 5   | 15  |
| 家庭に迷惑かかっても仕方ない | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 好きになら付き合うのが自然  | 11  | 12  | 8   | 16  | 12  | 14  | 19  | 14  | 8   | 14  |
| その他            | 0   | 6   | 14  | 8   | 7   | 2   | 5   | 4   | 7   | 4   |
| 無回答            | 3   | 0   | 0   | 3   | 1   | 9   | 12  | 10  | 12  | 11  |
| 計              | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 13 配偶者のいる異性と自分の交際 (B4)

%

|                | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|                | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| つきあうべきではない     | 40  | 21  | 27  | 24  | 28  | 42  | 33  | 46  | 55  | 43  |
| 性的関係がないならかまわない | 29  | 30  | 14  | 19  | 23  | 14  | 15  | 23  | 22  | 18  |
| 家庭に迷惑かからなければよい | 21  | 27  | 32  | 16  | 24  | 22  | 20  | 10  | 7   | 15  |
| 家庭に迷惑かかっても仕方ない | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 好きになら付き合うのが自然  | 8   | 12  | 5   | 22  | 12  | 12  | 20  | 12  | 7   | 13  |
| その他            | 0   | 9   | 16  | 8   | 8   | 2   | 4   | 6   | 3   | 3   |
| 無回答            | 3   | 0   | 5   | 11  | 5   | 9   | 9   | 4   | 7   | 8   |
| 計              | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

43%に増加し、全体により厳しい、否定的な考えになる。

性はどのような意味をもつと思うか、3つ以内選択してもらった。

男女ともに「愛情表現・愛情の確認」が最も多く、次いで男性は「肉体的充足・快

### 3) 性の意味 (表14)



表 14 性の意味（複数回答 3 つ以内 B5）

%

|                | 男性  |     |     |     |    | 女性  |     |     |     |    |
|----------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|                | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 愛情表現・愛情の確認     | 63  | 61  | 68  | 62  | 63 | 75  | 75  | 65  | 62  | 70 |
| ふれあい・コミュニケーション | 58  | 70  | 35  | 35  | 49 | 55  | 54  | 52  | 42  | 51 |
| やすらぎ・安心感       | 34  | 49  | 54  | 43  | 45 | 57  | 56  | 52  | 33  | 50 |
| 肉体的充足・快楽       | 42  | 61  | 57  | 51  | 52 | 35  | 26  | 37  | 15  | 28 |
| 精神的充足          | 24  | 27  | 8   | 38  | 24 | 23  | 30  | 25  | 18  | 25 |
| ストレス解消         | 0   | 3   | 8   | 11  | 6  | 2   | 1   | 6   | 5   | 3  |
| 自信をつける         | 0   | 3   | 5   | 5   | 3  | 3   | 2   | 2   | 2   | 2  |
| 生き甲斐・活力剤       | 5   | 15  | 46  | 32  | 25 | 3   | 5   | 14  | 12  | 8  |
| 子ども作り          | 32  | 3   | 8   | 11  | 14 | 9   | 7   | 15  | 12  | 10 |
| 面倒なこと          | 3   | 0   | 3   | 0   | 1  | 5   | 2   | 6   | 8   | 5  |
| 不快・苦痛なもの       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 3   | 0   | 4   | 3   | 2  |
| 義務             | 0   | 0   | 3   | 5   | 2  | 0   | 2   | 0   | 8   | 3  |
| 意味はない・自分とは無関係  | 11  | 0   | 0   | 0   | 3  | 2   | 2   | 4   | 8   | 4  |
| その他            | 0   | 0   | 3   | 0   | 1  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |

表 15 結婚願望（C1）

%

|         | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|         | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 結婚したい   | 73  | 70  | 51  | 32  | 57  | 42  | 31  | 14  | 7   | 25  |
| 結婚したくない | 18  | 27  | 49  | 68  | 41  | 55  | 66  | 83  | 90  | 72  |
| その他     | 3   | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 2   | 2   | 0   | 2   |
| 無回答     | 5   | 3   | 0   | 0   | 2   | 2   | 0   | 2   | 3   | 2   |
| 計       | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

楽」,「触れ合い・コミュニケーション」,「やすらぎ・安心感」の順,女性は「触れ合い・コミュニケーション」と「やすらぎ・安心感」がほぼ同等で続いた。男女差が目立ったのは,「肉体的充足・快楽」および「生き甲斐・活力剤」でいずれも男性の方が多かった。また,「子ども作り」が40代男性では32%と多かった。未婚者が多いだけに,子どもを持つことへの意識が高いことが推測される。

#### 4. 付き合い,性的な関係について

#### 1) 結婚について（表 15, 16, 17）

「結婚したい」という人は男性57%,女性25%で男女差が顕著である。男女ともに若い年代ほど「結婚したい」人が多いが,どの年代も男性の方がより多く結婚を望んでいる。

結婚したい最大の理由は男女ともに「精神的な安定,充足が欲しい」だった。次いで,「病気の時など助け合える」が高い。また,男性は「家事や身の回りの世話を知る人が欲しい」が有意に高く,女性は「経済的基盤を分かち合いたい」が有意に高かった。

表 16 結婚したい理由（複数回答で主な理由 2 つ SC1-1 対象：結婚したい人・その他）

%

|             | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |            |            |            |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
|             | 40代<br>N=29 | 50代<br>N=23 | 60代<br>N=19 | 70代<br>N=12 | 全体<br>N=83 | 40代<br>N=28 | 50代<br>N=29 | 60代<br>N=8 | 70代<br>N=4 | 全体<br>N=69 |
| 精神的な安定      | 93          | 83          | 100         | 75          | 89         | 96          | 83          | 88         | 50         | 87         |
| 経済的基盤の共有    | 14          | 0           | 0           | 17          | 7          | 18          | 24          | 13         | 25         | 20         |
| 性生活の安定      | 7           | 26          | 42          | 42          | 25         | 29          | 14          | 13         | 0          | 19         |
| 家事や身の回りの世話  | 28          | 22          | 26          | 25          | 25         | 4           | 7           | 0          | 25         | 6          |
| 病気の時など助け合える | 28          | 44          | 37          | 50          | 37         | 18          | 35          | 25         | 75         | 29         |
| 社会的な信用      | 10          | 9           | 0           | 0           | 6          | 14          | 3           | 25         | 0          | 10         |
| その他         | 14          | 0           | 0           | 0           | 5          | 21          | 10          | 13         | 0          | 15         |

表 17 結婚したくない理由（複数回答で主な理由 2 つ SC1-2 対象：結婚したくない人・その他）

%

|               | 男性         |            |             |             |            | 女性          |             |             |             |             |
|---------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|               | 40代<br>N=8 | 50代<br>N=9 | 60代<br>N=18 | 70代<br>N=25 | 全体<br>N=60 | 40代<br>N=37 | 50代<br>N=59 | 60代<br>N=44 | 70代<br>N=54 | 全体<br>N=194 |
| 法律的な問題が煩わしい   | 0          | 0          | 22          | 28          | 18         | 27          | 10          | 16          | 15          | 16          |
| 肉親が反対する       | 0          | 0          | 22          | 20          | 15         | 3           | 2           | 5           | 4           | 3           |
| 自由を束縛されたくない   | 63         | 89         | 72          | 52          | 65         | 73          | 78          | 80          | 72          | 76          |
| 経済的な問題        | 13         | 11         | 39          | 48          | 35         | 3           | 9           | 7           | 9           | 7           |
| 家事や身の回りの世話が負担 | 13         | 11         | 0           | 0           | 3          | 46          | 42          | 41          | 37          | 41          |
| 性生活が負担        | 13         | 0          | 0           | 0           | 2          | 8           | 3           | 9           | 13          | 8           |
| 世間体が悪い        | 0          | 0          | 6           | 12          | 7          | 0           | 2           | 2           | 6           | 3           |
| その他           | 13         | 11         | 17          | 8           | 12         | 16          | 15          | 9           | 9           | 12          |

逆に結婚したくない最大の理由は男女ともに「自由を束縛されたくない」で、女性は「家事や身の回りの世話が負担」が有意に高く、男性で特に 60 代、70 代で年金、遺産相続などの「経済的な問題」、「肉親が反対する」が有意に高かった。

結婚したい理由、したくない理由を併せみると、保守的な性役割意識、すなわち、男性が女性に身の回りの世話を求め、女性はそれを負担に感じる、また、女性が経済的基盤の共有を求め、男性はそれを躊躇するといったこと、が結婚をためらう一因になっていることが分かる。

2) 交際相手の有無・交際希望について（表 18, 19, 20, 21）

現在「お付き合いしている人」がいるのは、男性 42%、女性 38% で男性の方がやや多い。女性は年代が若い人ほど交際相手がいるのに対し、男性は 60 代の 60% が交際相手を有し、50 代、40 代と減少している。

交際相手がいない人に「お付き合いする相手を欲しい」と思うか聞いた。男性 77%、女性 43% で差が大きい。女性は年代ごとの差が明確で、年代が高くなると共に交際相手を望まなくなっているが、男性は 70 代になっても多くが交際を望んでいる。

40 代、50 代男性はともに約 85% は交際

表 18 交際相手 (C2)

%

|     | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| いる  | 24  | 36  | 60  | 49  | 42  | 55  | 47  | 31  | 13  | 38  |
| いない | 71  | 64  | 38  | 51  | 56  | 45  | 52  | 69  | 83  | 61  |
| 無回答 | 5   | 0   | 3   | 0   | 2   | 0   | 1   | 0   | 3   | 1   |
| 計   | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 19 交際相手願望 (C3 対象：交際相手がいない人)

%

|       | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |             |             |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|       | 40代<br>N=27 | 50代<br>N=21 | 60代<br>N=14 | 70代<br>N=19 | 全体<br>N=81 | 40代<br>N=29 | 50代<br>N=45 | 60代<br>N=36 | 70代<br>N=50 | 全体<br>N=160 |
| 欲しい   | 85          | 86          | 57          | 68          | 77         | 72          | 56          | 36          | 20          | 43          |
| 欲しくない | 15          | 14          | 43          | 21          | 21         | 28          | 44          | 64          | 76          | 56          |
| 無回答   | 0           | 0           | 0           | 11          | 3          | 0           | 0           | 0           | 4           | 1           |
| 計     | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100         |

表 20 望む性的関係 (SC3-1 対象：交際相手を欲しい人)

%

|            | 男性<br>N=62 | 女性<br>N=69 |
|------------|------------|------------|
| 精神的な愛情関係   | 23         | 52         |
| 愛撫を伴う愛情関係  | 7          | 7          |
| 性交渉を伴う愛情関係 | 68         | 33         |
| 性交渉が主な関係   | 2          | 0          |
| その他        | 2          | 6          |
| 無回答        | 0          | 1          |
|            | 100        | 100        |

相手を望んでいる。結婚願望が高く、交際も望んでいるが、交際相手がいない人が40代ではほぼ60%, 50代で54%いることが分かる。

「お付き合いする相手を欲しい」と思っている人に、相手とどのような性的関係を望むか聞いた。男性は「性交渉を伴う愛情関係」が68%と多いが、女性は「精神的な愛情関係」が52%と半数以上を占める。女性の場

表 21 欲しくない理由 (複数回答で主な理由2つ SC3-2 対象：交際相手を欲しくない人)

%

|               | 男性<br>N=17 | 女性<br>N=89 |
|---------------|------------|------------|
| 自由を束縛されたくない   | 53         | 72         |
| 倫理的に受け入れられない  | 6          | 18         |
| 性交渉を求められそうで嫌  | 0          | 12         |
| 周囲の目がうるさい     | 6          | 7          |
| 肉親が反対する       | 6          | 2          |
| 付き合うのは面倒・関心ない | 77         | 46         |
| その他           | 6          | 8          |

合、「性交渉を伴う愛情関係」は40代で52%だが、50代以上は20%台にとどまる。男性も23%は「精神的な愛情関係」を求めている。年代差は少なく、40代も26%は「精神的な愛情関係」と回答している。

「お付き合いする相手を欲しくない」と思っている人に、その理由を聞いた。最大の理由は男性の場合「付き合うのは面倒・関心がない」、次いで「自由を束縛されたくない」



であり、女性は「自由を束縛されたくない」、次いで「付き合うのは面倒・関心がな  
い」だった。なお、女性は「性交渉を求めら  
れそうで嫌」が12%あった。

### 3) 交際相手について (表 22, 23, 24)

交際相手は多数の人が1人だが、男性の  
23%, 女性の6%は2人以上だった。数人  
が、交際相手に同性をあげているが、他の質  
問も併せて推測すると同性愛というより友  
人・仲間と考えられた。

交際期間は5年以上が最も多く、1年未満  
は男性21%, 女性15%で長い付き合いの相  
手が多いことが分かる。

相手と同居しているのは男性7%, 女性  
4%である。

交際相手に配偶者がいる人は男性の場合、  
21%だが、女性は53%と半数以上に配偶者  
がいる。交際相手との関係は「性交渉を伴う  
関係」が最も多く、男性54%, 女性72%で  
ある。「性交渉が主」という関係は全体とし  
て少ないが、男性12%で女性より多かつ  
た。

交際相手との経済的関係は「援助しても、  
されてもいない」互いに自立した関係が男性  
67%, 女性75%と最多であるが、「部分的  
に援助している」は男性に多く、「援助され  
ている」は女性に多い。

「交際相手と日常よくする身体的触れ合い」  
は「手をつなぐ」、「身体に触る」、「キスを  
する」が、いずれもほぼ50%以上であり、  
次いで「抱擁する」、「肩もみ・指圧・マッ  
サージなど」、「腕を組む」なども比較的多  
い。ほとんどしないは男性8%, 女性13%  
であり、バラエティのある身体的触れ合いを

もっていることが分かる。

表 22 交際相手の数 (C4 対象: 交際相手がいる人)  
%

|      | 男性<br>N=61 | 女性<br>N=100 |
|------|------------|-------------|
| 1人   | 77         | 94          |
| 2人以上 | 23         | 6           |
| 計    | 100        | 100         |

表 23 一番親密な交際相手について (C5, C6,  
C7, C8 対象: 交際相手がいる人)  
%

|              | 男性<br>N=61 | 女性<br>N=100 |
|--------------|------------|-------------|
| 交際期間         |            |             |
| 6ヶ月未満        | 8          | 7           |
| 6ヶ月～1年未満     | 13         | 8           |
| 3年未満         | 20         | 17          |
| 5年未満         | 18         | 12          |
| 5年以上         | 38         | 54          |
| 無回答          | 3          | 2           |
| 同別居          |            |             |
| 同居           | 7          | 4           |
| 非同居          | 90         | 96          |
| 無回答          | 3          | 0           |
| 配偶者の有無       |            |             |
| いる           | 21         | 53          |
| いない          | 74         | 47          |
| 無回答          | 5          | 0           |
| 性的関係         |            |             |
| 精神的な愛情関係     | 16         | 17          |
| 愛撫を伴う愛情関係    | 13         | 3           |
| 性交渉を伴う愛情関係   | 54         | 72          |
| 性交渉が主な関係     | 12         | 3           |
| その他          | 3          | 5           |
| 無回答          | 2          | 0           |
| 経済的関係        |            |             |
| 全面的に援助している   | 0          | 0           |
| 部分的に援助している   | 25         | 7           |
| 援助してもされてもいない | 67         | 75          |
| 部分的に援助されている  | 2          | 10          |
| 全面的に援助されている  | 0          | 2           |
| 無回答          | 7          | 6           |



表 24 身体的触れ合い（複数回答 C9 対象：交際相手がいる人）

%

|          | 男性         |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |             |
|----------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
|          | 40代<br>N=9 | 50代<br>N=12 | 60代<br>N=22 | 70代<br>N=18 | 全体<br>N=61 | 40代<br>N=36 | 50代<br>N=40 | 60代<br>N=16 | 70代<br>N=8 | 全体<br>N=100 |
| 手をつなぐ    | 67         | 42          | 55          | 50          | 53         | 72          | 48          | 38          | 38         | 54          |
| 腕を組む     | 67         | 25          | 32          | 17          | 31         | 33          | 33          | 50          | 13         | 34          |
| 肩を抱く     | 44         | 25          | 32          | 28          | 31         | 11          | 18          | 19          | 0          | 14          |
| 腰に手を回す   | 44         | 17          | 23          | 28          | 26         | 25          | 18          | 19          | 0          | 19          |
| 身体に触る    | 44         | 75          | 55          | 61          | 59         | 56          | 55          | 38          | 38         | 51          |
| 抱擁する     | 33         | 50          | 32          | 67          | 46         | 39          | 40          | 31          | 38         | 38          |
| キスをする    | 56         | 58          | 46          | 44          | 49         | 69          | 55          | 38          | 38         | 56          |
| 膝枕       | 22         | 0           | 9           | 11          | 10         | 17          | 13          | 13          | 0          | 13          |
| 肩もみ・指圧など | 44         | 33          | 27          | 22          | 30         | 50          | 48          | 31          | 0          | 42          |
| その他      | 11         | 8           | 5           | 11          | 8          | 6           | 0           | 6           | 0          | 3           |
| ほとんどしない  | 11         | 17          | 9           | 6           | 10         | 6           | 18          | 19          | 13         | 13          |

表 25 愛情や関心を抱いている対象（複数回答 D1）

%

|               | 男性  |     |     |     |    | 女性  |     |     |     |    |
|---------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|               | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 恋人・付き合っている人   | 37  | 33  | 57  | 35  | 41 | 54  | 36  | 23  | 10  | 32 |
| 肉親            | 47  | 55  | 32  | 24  | 39 | 66  | 58  | 46  | 40  | 54 |
| 友人            | 40  | 39  | 32  | 27  | 35 | 51  | 50  | 56  | 50  | 51 |
| 芸術家・芸能人等      | 13  | 6   | 8   | 3   | 8  | 8   | 4   | 6   | 7   | 6  |
| ペット           | 29  | 12  | 14  | 0   | 14 | 20  | 13  | 10  | 12  | 14 |
| 趣味            | 61  | 49  | 51  | 41  | 50 | 43  | 54  | 65  | 62  | 55 |
| サークル活動・ボランティア | 11  | 21  | 41  | 27  | 25 | 6   | 12  | 46  | 28  | 21 |
| 仕事            | 26  | 36  | 27  | 11  | 25 | 48  | 51  | 25  | 12  | 36 |
| その他           | 3   | 3   | 11  | 0   | 4  | 6   | 4   | 2   | 3   | 4  |

## 5. 最近1年ほどの生活・性生活について

## 1) 愛情や関心を抱いている対象（表25）

愛情や関心の対象は男女ともに趣味が最多で男性50%、女性55%である。女性の場合、「肉親」、「友人」も50%台で上がっており、次いで、「仕事」、「恋人・付き合っている人」が30%台で続いている。男性は2番目に「交際相手」、「肉親」が40%前後で上がっている。女性にとって肉親、友人、仕事は男性以上に、愛情や関心の対象となることが分かる。

男女ともに共通する年代別の特徴を見ると、「肉親」は40代、50代に多く、60代、70代は減少している。「ペット」は40代に多い。また、「ボランティア」は60代、「仕事」は50代に多くなっている。

## 2) 単身の淋しさ・物足りなさ（表26、27）

「単身の淋しさ・物足りなさ」を感じているのは男性76%、女性49%と男性に多い。男性は年代が高くなっても変わらないが、女性は年代と共に単身の淋しさは少なくなっている。

表 26 単身の淋しさ、物足りなさを感じることもあるか (D2)

%

|     | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| はい  | 74  | 79  | 68  | 84  | 76  | 63  | 49  | 44  | 37  | 49  |
| いいえ | 21  | 15  | 27  | 16  | 20  | 37  | 50  | 50  | 50  | 47  |
| 無回答 | 5   | 6   | 5   | 0   | 4   | 0   | 1   | 6   | 13  | 5   |
| 計   | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 27 淋しさの解消方法 (複数回答 SD2 対象：淋しさを感じる人)

%

|            | 男性          |             |             |             |             | 女性          |             |             |             |             |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|            | 40代<br>N=28 | 50代<br>N=26 | 60代<br>N=25 | 70代<br>N=31 | 全体<br>N=110 | 40代<br>N=41 | 50代<br>N=42 | 60代<br>N=23 | 70代<br>N=22 | 全体<br>N=128 |
| 人と会う・電話する  | 36          | 54          | 76          | 58          | 56          | 68          | 57          | 74          | 96          | 70          |
| メル友とのやりとり  | 7           | 4           | 20          | 3           | 8           | 27          | 5           | 13          | 0           | 13          |
| 買い物        | 25          | 15          | 16          | 19          | 19          | 54          | 33          | 39          | 59          | 45          |
| 食べること      | 21          | 15          | 16          | 23          | 19          | 42          | 26          | 22          | 32          | 31          |
| 酒・タバコ      | 25          | 50          | 44          | 36          | 38          | 34          | 31          | 9           | 5           | 23          |
| パチンコ・競馬・競輪 | 11          | 23          | 12          | 3           | 12          | 2           | 2           | 0           | 0           | 2           |
| 風俗・ポルノ等    | 36          | 27          | 28          | 13          | 26          | 0           | 2           | 0           | 0           | 1           |
| その他        | 32          | 15          | 24          | 38          | 28          | 20          | 31          | 39          | 14          | 26          |
| 特になし       | 14          | 15          | 4           | 7           | 10          | 7           | 7           | 9           | 5           | 7           |

表 28 若い頃と比べた性的欲求 (D3)

%

|           | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|           | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 若い頃より増えた  | 3   | 6   | 0   | 8   | 4   | 17  | 7   | 4   | 2   | 8   |
| 同じくらい     | 18  | 30  | 19  | 5   | 18  | 34  | 9   | 4   | 7   | 14  |
| 少し減少      | 50  | 24  | 38  | 46  | 40  | 28  | 26  | 8   | 5   | 18  |
| 大いに減少     | 16  | 36  | 35  | 30  | 29  | 11  | 22  | 31  | 22  | 21  |
| ほとんどなくなった | 3   | 3   | 8   | 11  | 6   | 3   | 23  | 42  | 42  | 26  |
| 無回答       | 11  | 0   | 0   | 0   | 3   | 8   | 13  | 12  | 23  | 14  |
| 計         | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 29 性生活の重要度 (D4)

%

|            | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|            | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 重要である      | 37  | 61  | 49  | 27  | 43  | 23  | 19  | 23  | 5   | 18  |
| どちらかといえば重要 | 37  | 18  | 27  | 43  | 32  | 39  | 17  | 19  | 33  | 27  |
| あまり重要でない   | 11  | 12  | 14  | 24  | 15  | 29  | 44  | 23  | 13  | 29  |
| 重要ではない     | 8   | 9   | 8   | 3   | 7   | 2   | 11  | 23  | 27  | 14  |
| 無回答        | 8   | 0   | 3   | 3   | 3   | 8   | 9   | 12  | 22  | 12  |
| 計          | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 30 性生活の満足度 (D5)

%

|             | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|             | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 全く得られず欲求不満  | 18  | 24  | 16  | 27  | 21  | 9   | 6   | 0   | 7   | 6   |
| 不十分で欲求不満    | 29  | 27  | 24  | 24  | 26  | 12  | 5   | 0   | 2   | 5   |
| 頻度はいい、内容に不満 | 8   | 6   | 11  | 5   | 8   | 8   | 4   | 0   | 2   | 3   |
| もっと減らしたい    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 2   | 0   | 1   |
| 望む性生活で満足    | 13  | 21  | 19  | 30  | 21  | 31  | 23  | 21  | 8   | 21  |
| 性生活が無いので満足  | 11  | 12  | 14  | 5   | 10  | 15  | 20  | 35  | 25  | 23  |
| その他         | 11  | 9   | 0   | 5   | 6   | 15  | 19  | 19  | 7   | 15  |
| 無回答         | 11  | 0   | 16  | 3   | 8   | 9   | 22  | 23  | 50  | 26  |
| 計           | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

いる。

淋しさの解消方法は男女ともに最多は「人と会う・電話する」であるが、その他は男女差が大きい。男性は「酒・タバコ」、次いで「風俗、ポルノ等」と続くのに対し、女性は「買い物」、「食べること」が多い。

### 3) 性的欲求と性生活の重要度 (表 28, 29)

男性は「若い頃より増えた／同じくらい」合わせて 22%、「少し減少」が 40% であり、「ほとんどない」は 6% に過ぎない。また、明確な年代差が見られない。これに比べ、女性は 50～60 代にかけて減少が顕著で、「若い頃より増えた／同じくらい」はほぼ男性同様だが、「少し減少」が 18%、「ほとんどない」が 26% であり、無回答も 14% と多い。男女を比較すると 40 代は女性の方が性的欲求が強いが、50 代以降は男性の方が性的欲求を保持している。

また、性生活の重要度では性差が顕著で、男性の方が重要だと考えている。男性は「重要である／どちらかといえば重要」で 75% を占めるのに対し、女性は両方で 45% であり、50 代以降は「あまり重要ではない／重

表 31 欲求不満の解消方法 (複数回答 SD5  
対象：欲求不満がある人)

%

|               | 男性<br>N=80 | 女性<br>N=37 |
|---------------|------------|------------|
| 自然に解消         | 3          | 22         |
| がまんしている       | 10         | 14         |
| 趣味等他のことをして解消  | 21         | 49         |
| ビデオ等性的な楽しみで解消 | 36         | 3          |
| マスターベーション     | 51         | 51         |
| 風俗を利用         | 20         | 3          |
| 売買春           | 4          | 3          |
| その他           | 3          | 0          |

要ではない」の割合の方が多くなる。

### 4) 性生活の満足度と性的欲求不満の解消方法 (表 30, 31)

性生活の満足度も性差が大きく、男性は欲求不満をもっている人が多い。男性は「性生活が全く得られず／不十分で欲求不満」という人が 47% を占め、「内容に不満」も含めると 55% が不満を抱えているが、女性で「不満」は 15% に過ぎない。一方、「望む性生活があり満足」という人は男女とも 21% いる。性生活を煩わしいと感じ「性生活がないので満足」という人も男性 10%、女性

23% いる。女性は年代毎に無回答が増えて  
いるが「性生活はもう関係ない」という意思  
表示と推察出来る。

欲求不満の解消方法（複数回答）では、男  
女とも「マスターベーション」51%が最も  
多い。次いで女性はほぼ同等の49%が「他  
のこと（趣味、スポーツ、友人との会合な  
ど）をして解消」を上げているが、男性は

36%が「性的な楽しみ（ポルノ雑誌・ビデ  
オ・テレビなど）で解消」を上げている。  
「自然に解消」は女性に多い。少ないものの  
男性4%（3人）が売買春と回答していた。

5) 過去1年間の性交頻度および性交渉の  
相手（表32, 33, 34）

過去1年間の性交頻度をみると、女性は

表 32 性交頻度（D6）

%

|        | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 週2回以上  | 8   | 3   | 3   | 0   | 3   | 3   | 6   | 0   | 0   | 3   |
| 週1回    | 5   | 6   | 8   | 8   | 7   | 12  | 4   | 8   | 0   | 6   |
| 月2～3回  | 8   | 21  | 22  | 14  | 16  | 17  | 11  | 4   | 2   | 9   |
| 月1回    | 13  | 3   | 19  | 14  | 12  | 17  | 12  | 10  | 3   | 11  |
| 年数回    | 16  | 12  | 11  | 3   | 10  | 9   | 7   | 4   | 3   | 6   |
| 1年全くない | 40  | 52  | 35  | 59  | 46  | 42  | 58  | 69  | 70  | 59  |
| 無回答    | 11  | 3   | 3   | 3   | 5   | 0   | 4   | 6   | 22  | 7   |
| 計      | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 33 性交渉相手の人数（D7）

%

|      | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|      | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| なし   | 40  | 52  | 35  | 60  | 46  | 42  | 58  | 69  | 70  | 59  |
| 1人   | 24  | 27  | 35  | 24  | 28  | 51  | 34  | 23  | 8   | 30  |
| 2人   | 5   | 9   | 16  | 3   | 8   | 6   | 4   | 2   | 0   | 3   |
| 3人以上 | 18  | 9   | 11  | 5   | 11  | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 無回答  | 13  | 3   | 3   | 8   | 7   | 0   | 5   | 6   | 22  | 8   |
| 計    | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 34 性交相手との関係（複数回答 D8）

%

|             | 男性  |     |     |     |    | 女性  |     |     |     |    |
|-------------|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|             | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 相手はいない      | 40  | 52  | 35  | 60  | 46 | 42  | 58  | 69  | 70  | 59 |
| 恋人・付き合っている人 | 29  | 36  | 51  | 30  | 37 | 55  | 37  | 25  | 8   | 33 |
| 売買春         | 13  | 6   | 5   | 3   | 7  | 0   | 1   | 0   | 0   | 0  |
| 行きずりの相手     | 5   | 3   | 5   | 0   | 3  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  |
| その他         | 5   | 6   | 11  | 5   | 7  | 3   | 1   | 2   | 0   | 2  |



「年数回ていど」も含め性交渉があった人が全体で35%、40代の58%から70代の8%まで年代ごとに減少しているのに対し、男性は全体で48%、60代が63%と最も活発である。60代は交際相手がいる人も60%と多かったのも、その結果が性交頻度にも反映されている。男性の60代は仕事から解放され、女性との交遊が増え、しかもまだ若さを保っている時期とも言えよう。さらに、男性は70代も39%が性交渉をもっており、大

変活発といえよう。

性交渉の相手の人数、相手との関係をみると男女とも「1人」で、「恋人・お付き合いしている人」が多い。しかし、相手が「2人／3人以上」も男性19%、女性3%であり、男性の17%が「売買春」「行きずりの相手」「その他」をあげていた。「売買春」は40代男性が13%と多いが、女性も1%（1人）あった。

表 35 性交停止の年代（D9 対象：性交渉がこの1年なかった人）

%

|     | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |             |             |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|     | 40代<br>N=15 | 50代<br>N=17 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=22 | 全体<br>N=67 | 40代<br>N=27 | 50代<br>N=50 | 60代<br>N=36 | 70代<br>N=42 | 全体<br>N=155 |
| 20代 | 7           | 0           | 0           | 0           | 2          | 0           | 2           | 3           | 2           | 2           |
| 30代 | 33          | 18          | 0           | 0           | 12         | 33          | 12          | 0           | 5           | 11          |
| 40代 | 33          | 41          | 8           | 5           | 21         | 44          | 32          | 19          | 2           | 23          |
| 50代 | 0           | 12          | 46          | 0           | 12         | 0           | 32          | 42          | 17          | 25          |
| 60代 | 0           | 0           | 23          | 41          | 18         | 0           | 0           | 11          | 45          | 15          |
| 70代 | 0           | 0           | 0           | 32          | 11         | 0           | 0           | 0           | 2           | 1           |
| 無回答 | 27          | 29          | 23          | 23          | 25         | 22          | 22          | 25          | 26          | 24          |
| 計   | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100         |

表 36 性交停止理由（複数回答3つ以内 SD9 対象：性交渉がこの1年なかった人）

%

|         | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |             |             |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|         | 40代<br>N=15 | 50代<br>N=17 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=22 | 全体<br>N=67 | 40代<br>N=27 | 50代<br>N=50 | 60代<br>N=36 | 70代<br>N=42 | 全体<br>N=155 |
| 自分の病気   | 13          | 6           | 23          | 9           | 12         | 4           | 2           | 0           | 10          | 4           |
| 自分の関心喪失 | 20          | 12          | 15          | 0           | 10         | 22          | 18          | 25          | 10          | 18          |
| 自分の性交痛  | 0           | 0           | 0           | 5           | 2          | 0           | 6           | 8           | 2           | 5           |
| 自分の性交不能 | 13          | 6           | 0           | 0           | 5          | 4           | 0           | 0           | 0           | 1           |
| 相手の病気   | 0           | 18          | 15          | 23          | 15         | 0           | 4           | 14          | 21          | 10          |
| 相手の関心喪失 | 7           | 18          | 8           | 5           | 9          | 4           | 14          | 6           | 2           | 7           |
| 相手の性交痛  | 0           | 6           | 8           | 0           | 3          | 4           | 0           | 0           | 0           | 1           |
| 相手の性交不能 | 0           | 0           | 0           | 5           | 2          | 0           | 4           | 3           | 10          | 5           |
| 相手との離死別 | 13          | 29          | 46          | 68          | 42         | 41          | 54          | 56          | 67          | 56          |
| 金銭的余裕なし | 13          | 6           | 15          | 5           | 9          | 4           | 0           | 0           | 0           | 1           |
| 時間的余裕なし | 7           | 12          | 0           | 5           | 6          | 4           | 6           | 6           | 2           | 5           |
| その他     | 20          | 6           | 15          | 5           | 10         | 11          | 8           | 3           | 5           | 7           |

6) 性交停止の年齢および理由 (表 35, 36)

性交渉が「この1年全くない」と回答した人に性交渉がなくなった年齢、および主たる理由を3つ以内聞いた。

性交停止の年代は男女とも該当年代またはその前の年代が多く、比較的性交渉を保持してきたことが伺える。

性交停止の主たる理由は「相手との離死別」が男性42%, 女性56%と最も多く、年代と共に増えている。他の理由はすべて20%以下で10%を超えるのは「自分の関心の喪失」「相手の病気」、男性の「自分の病気」のみであった。

7) マスターベーションについて (表 37, 38)

マスターベーション (自慰・オナニー) をするのは、男性68%, 女性41%であり、男女ともに年代ごとに減少している。男性は性的欲求、性交頻度ともに年代による明らかな減少が認められなかったが、マスターベーションのみはきれいな減少傾向を示しており、肉体的な性的欲求は減少していることが推測される。頻度は「よくする/ときどきする」のは男性27%, 女性12%, 「まれにする」のは男性26%, 女性29%だった。

「マスターベーションはどんな意味があるか」を聞いたが、「性欲の解消」が最も多く、男性63%, 女性41%であった。「快楽」は男女とも20%前後で、女性は「性欲の解消」が少ない分、「やすらぎ」が多いのが興味深かった。女性は明確な性的欲求を自覚し

表 37 マスターベーション (D10)

%

|        | 男性  |     |     |     |     | 女性  |     |     |     |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| よくする   | 11  | 12  | 30  | 41  | 23  | 19  | 42  | 52  | 48  | 40  |
| ときどきする | 16  | 33  | 27  | 27  | 26  | 39  | 31  | 25  | 18  | 29  |
| まれにする  | 32  | 27  | 24  | 16  | 25  | 28  | 14  | 2   | 2   | 12  |
| しない    | 32  | 18  | 11  | 5   | 17  | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
| 無回答    | 11  | 9   | 8   | 11  | 10  | 15  | 12  | 21  | 32  | 19  |
| 計      | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 38 マスターベーションの意味 (SD10 対象: マスターベーションをする人)

%

|           | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |             |             |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|           | 40代<br>N=30 | 50代<br>N=26 | 60代<br>N=23 | 70代<br>N=18 | 全体<br>N=97 | 40代<br>N=43 | 50代<br>N=40 | 60代<br>N=14 | 70代<br>N=12 | 全体<br>N=109 |
| 快楽        | 20          | 8           | 30          | 17          | 19         | 30          | 18          | 7           | 17          | 21          |
| やすらぎ      | 7           | 12          | 9           | 11          | 9          | 12          | 38          | 36          | 25          | 26          |
| 性欲の解消     | 53          | 77          | 48          | 78          | 63         | 44          | 35          | 50          | 42          | 41          |
| 性交渉での不満解消 | 0           | 0           | 22          | 0           | 5          | 9           | 0           | 0           | 0           | 4           |
| 特に意味はない   | 23          | 8           | 9           | 6           | 12         | 7           | 13          | 7           | 0           | 8           |
| その他       | 0           | 0           | 4           | 0           | 1          | 5           | 5           | 0           | 8           | 5           |

表 39 性交痛 (D11 対象:性交渉があった女性)  
%

|        | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
|--------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| いつもある  | 0           | 0           | 0           | 20         | 1          |
| だいたいある | 3           | 3           | 15          | 20         | 6          |
| ときどきある | 40          | 49          | 39          | 0          | 40         |
| ない     | 55          | 49          | 46          | 60         | 52         |
| 無回答    | 3           | 0           | 0           | 0          | 1          |
| 計      | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 40 性交痛と満足感 (SD11-1 対象:性交痛がある女性)  
%

|                 | 40代<br>N=16 | 50代<br>N=17 | 60代<br>N=7 | 70代<br>N=2 | 全体<br>N=42 |
|-----------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 満足感が強い          | 19          | 35          | 43         | 50         | 31         |
| どちらかとい<br>えば満足感 | 69          | 59          | 43         | 0          | 57         |
| どちらかとい<br>えば痛み  | 0           | 0           | 0          | 0          | 0          |
| 痛みが強い           | 6           | 0           | 0          | 0          | 2          |
| 無回答             | 6           | 6           | 14         | 50         | 10         |
| 計               | 100         | 100         | 100        | 100        | 100        |

ていないものの、ほっと脱力するという部分があるのかもしれない。

#### 8) 性交痛について (表 39, 40, 41, 42)

過去1年間に性交渉があった女性に性交痛の有無を聞いた。「性交痛がない」人が52%と半数を超え、性交痛がある人も「ときどきある」が40%で性交痛があるとしても頻回でないことがわかる。また、性交痛がある人に性的満足感との関係を聞いたが、痛みがあっても「満足感が強い」人が31%、「どちらかといえば満足感が強い」人が57%であり、「どちらかといえば痛みが強い」人は1人に過ぎない。交際相手との関係だからだろうか、夫婦間より性交痛は少なく、程度も強くないことが分かる。

表 41 痛みを相手に伝えるか (SD11-2 対象:性交痛がある女性)  
%

|         | 40代<br>N=16 | 50代<br>N=17 | 60代<br>N=7 | 70代<br>N=2 | 全体<br>N=42 |
|---------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 伝える     | 44          | 65          | 71         | 0          | 55         |
| ある程度伝える | 31          | 24          | 0          | 0          | 21         |
| あまり伝えない | 19          | 6           | 14         | 50         | 14         |
| 伝えない    | 0           | 0           | 0          | 0          | 0          |
| 無回答     | 6           | 6           | 14         | 50         | 10         |
| 計       | 100         | 100         | 100        | 100        | 100        |

表 42 HRTやゼリーの使用についての考え (SD11-3 対象:性交痛がある女性)  
%

|                     | 40代<br>N=16 | 50代<br>N=17 | 60代<br>N=7 | 70代<br>N=2 | 全体<br>N=42 |
|---------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|
| 使用の必要がない            | 50          | 29          | 14         | 0          | 33         |
| 使用してみたい             | 25          | 35          | 57         | 50         | 36         |
| 使用したくない             | 19          | 18          | 14         | 0          | 17         |
| 使用しており<br>楽になった     | 0           | 6           | 0          | 0          | 2          |
| 使用しているが<br>あまり変わらない | 0           | 0           | 0          | 0          | 0          |
| その他                 | 0           | 6           | 0          | 0          | 2          |
| 無回答                 | 6           | 6           | 14         | 50         | 10         |
| 計                   | 100         | 100         | 100        | 100        | 100        |

また、痛みについては76%が言葉や態度で相手に「伝える／ある程度伝える」と回答しており、「あまり伝えない」のは、14%に過ぎない。

痛みを和らげるためのホルモン補充療法、ゼリーの使用については、「現在使用している」人こそ1人に過ぎないが、「使用してみたい」人が「使用したくない」人より多く、よりよい性交渉をもちたいという積極性が感じ取れる。

#### 9) 性機能について (表 43, 44, 45, 46)

男性に現在自分の性機能について不安があるかと聞いた。「不安がある」は17%、「と



表 43 性機能についての不安 (D12 対象：男性)  
%

|        | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 不安がある  | 13  | 15  | 16  | 22  | 17  |
| ときどきある | 29  | 15  | 19  | 22  | 21  |
| あまりない  | 29  | 24  | 27  | 19  | 25  |
| 不安はない  | 21  | 39  | 35  | 30  | 31  |
| 無回答    | 8   | 6   | 3   | 8   | 6   |
| 計      | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 44 性交困難の経験 (D13 対象：男性)  
%

|          | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経験がない    | 76  | 58  | 43  | 49  | 57  |
| 過去になった   | 13  | 27  | 43  | 16  | 25  |
| 現在になっている | 5   | 12  | 8   | 22  | 12  |
| 無回答      | 5   | 3   | 5   | 14  | 7   |
| 計        | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 45 性交困難の理由 (複数回答 SD13 対象：性交困難経験男性)  
%

|          | 40代<br>N=7 | 50代<br>N=13 | 60代<br>N=19 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=53 |
|----------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 加齢       | 14         | 46          | 47          | 79          | 51         |
| 身体の疲労    | 43         | 39          | 16          | 21          | 26         |
| 病気       | 0          | 15          | 21          | 29          | 19         |
| 酒の飲み過ぎ   | 14         | 31          | 26          | 7           | 21         |
| 仕事上のストレス | 57         | 39          | 32          | 7           | 30         |
| その他のストレス | 14         | 39          | 21          | 7           | 21         |
| 相手との関係   | 0          | 15          | 32          | 21          | 21         |
| その他      | 43         | 15          | 11          | 7           | 15         |

きどきある」が21%で、「あまりない／不安はない」は56%である。年代による差異は乏しく、40代で「不安がある／ときどきある」を合わせて42%と多いのが気になる。

しかし、40代は「あるていど継続した性交困難の経験」はない人が多く、「性交困難に過去になった／現在になっている」人は年代ごとに増加傾向を示している。

性交困難の理由は「加齢」51%が最も多

表 46 バイアグラや補助器具の使用についての考え (D14 対象：男性)  
%

|           | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 使用の必要がない  | 34  | 33  | 35  | 35  | 35  |
| 使用してみたい   | 16  | 18  | 19  | 14  | 17  |
| 使用したくない   | 18  | 18  | 16  | 24  | 19  |
| 使用中、効果がある | 5   | 9   | 8   | 8   | 8   |
| 使用中、変わらない | 0   | 3   | 3   | 0   | 1   |
| その他       | 8   | 6   | 3   | 0   | 4   |
| 無回答       | 18  | 12  | 16  | 19  | 17  |
| 計         | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

く、当然のことながら年代が高いほど多い。次いで「仕事上のストレス」30%、「身体の疲労」26%となっている。「仕事上のストレス」,「身体の疲労」の割合は40代に多い。

バイアグラや補助器具の使用については年代による相違はわずかで、「現在使用している」人は9%だが、「使用してみたい」人が17%いる。

## 6. 性交渉と、相手との関係性

最近1年間に性交渉があった人に、相手との関係について聞いた。複数の対象がある場合は一番親密な相手との関係について回答を求めた。

### 1) 性的コミュニケーションと相手による理解 (表 47, 48)

性交渉の相手と性的感情や欲求について、互いに伝えたり話し合うことがあるか、聞いた。男女とも大多数(男性70%, 女性84%)が互いに伝え合うとしている。「伝え合わない」のは、男性12%, 女性5%に過ぎない。男性の40代は「伝え合わない」が25%と他に比べ多い。「自分のみ／相手のみ



表 47 性的コミュニケーション (D15 対象：性交渉があった人)

%

|         | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|         | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 互いに伝え合う | 60          | 67          | 75          | 79          | 70         | 84          | 85          | 77          | 100        | 84         |
| 自分のみ伝える | 5           | 0           | 13          | 0           | 6          | 5           | 3           | 8           | 0          | 5          |
| 相手のみ伝える | 5           | 7           | 0           | 0           | 3          | 3           | 9           | 8           | 0          | 6          |
| 伝え合わない  | 25          | 7           | 8           | 7           | 12         | 5           | 3           | 8           | 0          | 5          |
| 無回答     | 5           | 20          | 4           | 14          | 10         | 3           | 0           | 0           | 0          | 1          |
| 計       | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 48 相手のあなたへの理解 (D16 対象：性交渉があった人)

%

|            | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|            | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 分かっている     | 25          | 33          | 29          | 71          | 37         | 26          | 39          | 54          | 100        | 39         |
| だいたい分かっている | 40          | 33          | 42          | 14          | 34         | 50          | 49          | 23          | 0          | 43         |
| あまり分かっていない | 15          | 20          | 25          | 0           | 16         | 21          | 12          | 23          | 0          | 17         |
| 分かっていない    | 15          | 0           | 0           | 7           | 6          | 0           | 0           | 0           | 0          | 0          |
| 無回答        | 5           | 13          | 4           | 7           | 7          | 3           | 0           | 0           | 0          | 1          |
| 計          | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

伝える」についても男女でほとんど差異がない。夫婦間の調査と比較してはるかに性的コミュニケーションが豊かだが、生活を共にする夫婦と違い、性のもつ比重が大きいことを示しているとも言えよう。

性的コミュニケーションが豊かなためと思

われるが、「相手はあなたの性に対する欲求や身体の状態について、分かってくれているか」では「分かっている／だいたい分かっている」が男性では71%、女性では82%を占めた。「分かっていない」は女性では皆無だったが、男性で7%あった。

表 49 どちらから性交渉を求めるか (D17 対象：性交渉があった人)

%

|          | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|          | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 自分から     | 40          | 33          | 50          | 57          | 45         | 3           | 0           | 15          | 0          | 3          |
| だいたい自分から | 50          | 47          | 46          | 14          | 41         | 5           | 15          | 8           | 0          | 9          |
| だいたい相手から | 0           | 7           | 0           | 14          | 4          | 50          | 39          | 23          | 60         | 43         |
| 相手から     | 10          | 0           | 0           | 7           | 4          | 34          | 46          | 46          | 40         | 40         |
| 無回答      | 0           | 13          | 4           | 7           | 6          | 8           | 0           | 8           | 0          | 5          |
| 計        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

2) どちらから性交渉を求めるか (表 49)

性交渉を求めるのはやはり男性からが多い。男性は「自分から」45%、「だいたい自分からだが、相手から求めることもある」41%であり、女性は「相手から」40%、「だいたい相手から」43%と回答している。「だいたい」も含め、女性から求めるのは10%前後である。

3) 前戯、性交渉に要する時間、肉体的・精神的満足感 (表 50, 51, 52, 53, 54)

前戯は男女とも67%が「いつもする」という。さらに男性26%、女性21%は「することが多い」と回答しており、「しないことが多い／しない」は男性4%、女性8%と少ない。

よく行う前戯として乳房への愛撫、性器への愛撫、口唇へのキス、乳房へのキスがいずれも高い割合で上げられている。性器へのキスも男性53%、女性61%があげている。「よく行う前戯」として聞いたので、男性の回答が「男性から女性へ」で、女性の回答が「女性から男性へ」を意味しているわけではない。

前戯から終了まで、1回の性交渉に要する時間は男女とも「30分～1時間未満」が最も多く、男性の44%、女性の36%を占める。次いで「20分程度」であり、「1時間以上」も男性14%、女性18%あった。「5分以内／10分程度」は男性14%、女性9%に過ぎない。

性交渉による十分な肉体的満足感 (オーガ

表 50 前戯の有無 (D18 対象：性交渉があった人)

|          | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|          | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| いつもする    | 65          | 60          | 67          | 79          | 67         | 61          | 82          | 54          | 60         | 67         |
| することが多い  | 35          | 33          | 25          | 7           | 26         | 32          | 12          | 15          | 20         | 21         |
| しないことが多い | 0           | 0           | 4           | 14          | 4          | 3           | 6           | 8           | 20         | 6          |
| しない      | 0           | 0           | 0           | 0           | 0          | 0           | 0           | 15          | 0          | 2          |
| 無回答      | 0           | 7           | 4           | 0           | 3          | 5           | 0           | 8           | 0          | 3          |
| 計        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 51 前戯の種類 (複数回答 D19 対象：性交渉があった人)

|            | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|            | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 口唇へのキス     | 90          | 73          | 67          | 36          | 69         | 82          | 88          | 54          | 60         | 79         |
| 乳房への愛撫     | 80          | 87          | 83          | 57          | 78         | 82          | 88          | 62          | 80         | 81         |
| 乳房へのキス     | 80          | 73          | 79          | 50          | 73         | 71          | 73          | 54          | 80         | 70         |
| 性器への愛撫     | 65          | 73          | 75          | 71          | 71         | 79          | 91          | 62          | 80         | 81         |
| 性器へのキス     | 60          | 60          | 50          | 43          | 53         | 58          | 73          | 31          | 80         | 61         |
| その他へのキス・愛撫 | 45          | 47          | 33          | 29          | 38         | 55          | 52          | 15          | 0          | 45         |
| その他        | 5           | 13          | 4           | 0           | 6          | 3           | 6           | 0           | 0          | 3          |

表 52 性交渉に要する時間 (D20 対象：性交渉があった人)

%

|           | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|           | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 5分以内      | 0           | 0           | 0           | 0           | 0          | 3           | 0           | 0           | 0          | 1          |
| 10分程度     | 15          | 0           | 13          | 29          | 14         | 5           | 9           | 15          | 0          | 8          |
| 20分程度     | 15          | 27          | 38          | 21          | 26         | 34          | 24          | 39          | 80         | 34         |
| 30分～1時間未満 | 50          | 53          | 33          | 43          | 44         | 34          | 39          | 39          | 20         | 36         |
| 1時間以上     | 20          | 13          | 13          | 7           | 14         | 21          | 24          | 0           | 0          | 18         |
| 無回答       | 0           | 7           | 4           | 0           | 3          | 3           | 3           | 8           | 0          | 3          |
| 計         | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 53 性交渉による肉体的満足感の有無 (D21 対象：性交渉があった人)

%

|          | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|          | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| いつも得られる  | 25          | 33          | 29          | 29          | 29         | 24          | 27          | 15          | 40         | 25         |
| だいたい得られる | 70          | 60          | 54          | 64          | 62         | 53          | 58          | 77          | 0          | 55         |
| あまり得られない | 5           | 0           | 8           | 7           | 6          | 13          | 15          | 0           | 60         | 15         |
| 得られない    | 0           | 0           | 4           | 0           | 1          | 5           | 0           | 0           | 0          | 2          |
| 無回答      | 0           | 7           | 4           | 0           | 3          | 5           | 0           | 8           | 0          | 3          |
| 計        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 54 性交渉による精神的満足感の有無 (D22 対象：性交渉があった人)

%

|          | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|          | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| いつも得られる  | 15          | 20          | 21          | 29          | 21         | 42          | 36          | 39          | 40         | 39         |
| だいたい得られる | 75          | 73          | 54          | 64          | 66         | 50          | 61          | 31          | 40         | 51         |
| あまり得られない | 5           | 0           | 17          | 0           | 7          | 3           | 0           | 15          | 20         | 5          |
| 得られない    | 0           | 0           | 4           | 0           | 1          | 0           | 0           | 8           | 0          | 1          |
| 無回答      | 5           | 7           | 4           | 7           | 6          | 5           | 3           | 8           | 0          | 5          |
| 計        | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

ズム・射精) が得られるか、を聞いた。男性は「いつも得られる」29%、「だいたい得られる」62%で、「あまり得られない／得られない」は7%に過ぎない。女性も同じ順序で25%、55%、17%であり、夫婦間の調査に比べ、満足度は高い。

性交渉による精神的満足感も似たような結果であるが、女性は精神的満足感の方がより大きいようである。女性は「いつも得られる」が39%に上り、「あまり得られない／得られない」は6%に減少している。

表 55 相手の満足感 (D23 対象：性交渉があった人)

%

|            | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|            | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 満足している     | 25          | 27          | 17          | 43          | 26         | 18          | 58          | 31          | 40         | 36         |
| だいたい満足している | 50          | 60          | 54          | 36          | 51         | 71          | 42          | 39          | 60         | 55         |
| あまり満足していない | 10          | 7           | 8           | 0           | 7          | 0           | 0           | 0           | 0          | 0          |
| 満足していない    | 0           | 0           | 4           | 7           | 3          | 0           | 0           | 0           | 0          | 0          |
| 分からない      | 15          | 0           | 13          | 14          | 11         | 5           | 0           | 23          | 0          | 6          |
| 無回答        | 0           | 7           | 4           | 0           | 3          | 5           | 0           | 8           | 0          | 3          |
| 計          | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 56 相手の満足感の重要度 (D24 対象：性交渉があった人)

%

|           | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|           | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 重要である     | 60          | 60          | 75          | 79          | 69         | 68          | 61          | 39          | 40         | 60         |
| あるていど重要   | 25          | 33          | 21          | 21          | 25         | 26          | 39          | 46          | 60         | 36         |
| あまり重要ではない | 10          | 0           | 0           | 0           | 3          | 0           | 0           | 8           | 0          | 1          |
| 重要ではない    | 5           | 0           | 0           | 0           | 1          | 0           | 0           | 0           | 0          | 0          |
| 無回答       | 0           | 7           | 4           | 0           | 3          | 5           | 0           | 8           | 0          | 3          |
| 計         | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

## 4) 性交渉による相手の満足 (表 55, 56)

「相手はあなたとの性交渉で満足していると思うか」と聞いた。「満足している／だいたい満足している」が男性 77%, 女性 91% で大半を占める。しかし, 男性は 10% が「あまり満足していない／満足していない」と回答し, 女性が満足感を得られていないことに気がついている。

また, 「相手が満足感を感じることは, あなたにとって重要か」については, 男性の 69%, 女性の 60% が「重要である」と答え, 「あるていど重要である」は男性 25%, 女性 36% である。40 代の男性に「あまり重要ではない／重要ではない」とする人が 15% いるのは気になるところである。

## 5) 性生活に関して相手に望むこと (表 57)

複数回答で, 望むことにはいくつでも○を付けてもらった。男性で最多は「相手の満足を大切にする」53% であり, 女性で最多は「日常的に愛情を示す」65% だった。次いで, 女性の半数以上が望むこととして, 「雰囲気作りをする」, 「性交の後, 余韻を楽しむ」, 「性交以外の愛撫を楽しむ」が上がり, 「相手の満足を大切にする」も 46% だった。男性も「日常的に愛情を示す」, 「雰囲気作りをする」, 「性交以外の愛撫を楽しむ」は半数近くが求めており, 「性交に変化をつける」も 37% と多かった。夫婦間の性調査よりも男女ともに「性交そのものに関して望むこと」の割合が高く, 性交渉を積極的



表 57 性生活で相手に望むこと（複数回答 D25 対象：性交渉があった人）

%

|              | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|              | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 日常的に愛情を示す    | 40          | 53          | 63          | 36          | 49         | 68          | 64          | 69          | 40         | 65         |
| 雰囲気作りをする     | 40          | 60          | 54          | 43          | 49         | 61          | 61          | 46          | 80         | 60         |
| 性交以外の愛撫を楽しむ  | 40          | 47          | 63          | 36          | 48         | 47          | 61          | 39          | 80         | 53         |
| 性交に変化をつける    | 25          | 47          | 50          | 21          | 37         | 16          | 24          | 0           | 20         | 17         |
| 性交の後、余韻を楽しむ  | 15          | 33          | 33          | 29          | 27         | 50          | 55          | 69          | 40         | 54         |
| 相手の満足を大切にする  | 40          | 47          | 67          | 57          | 53         | 53          | 52          | 15          | 40         | 46         |
| 性交の時間を短くする   | 0           | 0           | 0           | 0           | 0          | 3           | 0           | 8           | 0          | 2          |
| 性交にもっと時間をかける | 0           | 13          | 29          | 14          | 15         | 5           | 9           | 8           | 0          | 7          |
| 性交回数を減らす     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0          | 0           | 3           | 8           | 0          | 2          |
| 性交回数を増やす     | 5           | 13          | 21          | 14          | 14         | 8           | 3           | 0           | 0          | 5          |
| 性交をやめる       | 0           | 0           | 0           | 0           | 0          | 0           | 0           | 0           | 0          | 0          |
| 望むことは別がない    | 15          | 20          | 0           | 14          | 11         | 3           | 9           | 8           | 0          | 6          |
| その他          | 5           | 0           | 4           | 0           | 3          | 3           | 0           | 0           | 0          | 1          |

表 58 避妊の有無（D26 対象：性交渉があった人）

%

|           | 男性          |             |             |             |            | 女性          |             |             |            |            |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
|           | 40代<br>N=20 | 50代<br>N=15 | 60代<br>N=24 | 70代<br>N=14 | 全体<br>N=73 | 40代<br>N=38 | 50代<br>N=33 | 60代<br>N=13 | 70代<br>N=5 | 全体<br>N=89 |
| 妊娠の心配がない  | 5           | 27          | 67          | 57          | 40         | 11          | 64          | 77          | 100        | 45         |
| 避妊している    | 70          | 27          | 25          | 21          | 37         | 66          | 12          | 0           | 0          | 33         |
| 時により避妊しない | 10          | 33          | 8           | 0           | 12         | 8           | 6           | 0           | 0          | 6          |
| 避妊していない   | 15          | 7           | 0           | 7           | 7          | 13          | 18          | 15          | 0          | 15         |
| 無回答       | 0           | 7           | 0           | 14          | 4          | 3           | 0           | 8           | 0          | 2          |
| 計         | 100         | 100         | 100         | 100         | 100        | 100         | 100         | 100         | 100        | 100        |

表 59 避妊方法（SD26 対象：避妊する・時にする人）

%

|            | 男性<br>N=36 | 女性<br>N=34 |
|------------|------------|------------|
| コンドーム      | 81         | 65         |
| オギノ式／基礎体温法 | 14         | 6          |
| リング／IUD    | 6          | 6          |
| ゼリー／フィルム   | 6          | 0          |
| ピル         | 11         | 6          |
| パイプカット     | 3          | 0          |
| 卵管を結ぶ手術    | 0          | 0          |
| 膣外射精       | 31         | 44         |
| その他        | 0          | 6          |

に楽しもうとする姿勢が感じ取れる。

## 6) 避妊について（表 58, 59）

「避妊の心配がない」人も男性 40%, 女性 45% いるが、「避妊している」のは男性 37%, 女性 33% で、「時により避妊しないことがある／避妊していない」人が男性 19%, 女性 21% もいることが気になった。「時により避妊しないことがある／避妊していない」人は 40 代より 50 代にその比率が高いが、50 代ということで油断があるのだ

ろうか。

「時により」も含め、避妊をする人に、避妊方法を複数回答で聞いた。

「コンドーム」が男性 81%、女性 65% と圧倒的に多いが、次いで「膣外射精」も男性 31%、女性 44% と多いのは気になるところである。ピルの使用は男性 11%、女性 6% とまだ少ない。

#### Ⅳ まとめ

1. 対象者はほぼ半数が一人暮らしだが、両親との同居も多い。同棲は男性 4%、女性 2% である。中高年の平均像と比較すると、学歴が高く、職業は専門的・技術的職業従事者が多い。また、ほとんどが経済的には自立しており、持病はあっても良好な健康感をもっている。結婚歴は女性の場合、年代が若いほど、未婚、離婚が多く、死別が少ないが、男性の場合、40代は未婚者が際だって多く、その分離婚者が少ない。また、70代は未婚者がいない。

2. 性についての考え方をみると、「性は快楽／楽しい」という考えは男性の方に多い。性的関係をもつ条件については男性の方に許容的な考えが多く、女性は40代で男性と同様だが、年代が高くなるほど条件が厳しくなる。売買春の肯定は男性の場合 37% に上るが、女性は 10% である。「性は男性がリード」、「性は夫婦の約束事」とする考え方は、いずれも女性より男性に多い。

不倫についての考え、性規範は、男性より女性の方が厳しい傾向がある。また、一般論ではなく自己規範になると女性はより厳しくなるが、男性は変わらない。

女性より男性の方が性を重視し、肯定的で、容認する傾向があるといえよう。

性の意味では「愛情表現・愛情の確認」が多いが、性差が目立ったのは「肉体的充足・快楽」、「生き甲斐・活力剤」でいずれも男性が多かった。

3. 結婚に関しては、男性は女性の2倍以上の人が結婚願望を持っている。結婚を望む最大の理由は「精神的な安定」で、望まない最大の理由は「自由の束縛」である。しかし、したい理由、したくない理由をみると、男性が女性に身の世話を求め、女性が男性に経済力を求める保守的な性役割意識が結婚を躊躇う一因になっていることが分かる。

4. 現在、交際相手がいるのは男性 42%、女性 38% で、男性の場合、女性とは逆に若い年代に交際相手が少ないのが特徴的である。

現在いないが交際相手を欲しいという人は女性より男性に多い。しかし、求める関係は必ずしも性行為を伴う関係ではなく、特に女性の場合は半数以上が精神的な愛情関係としている。

交際相手が複数の人もいるが、最も親密な相手との関係は5年以上と長い人が多く、経済的には7割前後が「援助してもされてもいい」対等な関係である。交際相手に配偶者がいる人も男性 21%、女性 53% と多い。交際相手と愛撫／性交渉を伴う関係があるのは男女とも 80% 弱である。日常的な身体的触れ合いは豊かで、ほとんどないのは 10% 前後に過ぎない。

愛撫／性交渉を伴う交際相手がいるのは男

性 33%, 女性 30% ということになるが, 3 ~ 4 人に 1 人の男女が比較的長く維持した交際相手を持っているのが分かる。

5. 女性は男性より多岐な愛情・関心の対象をもっており, 男性の方がより多く単身の淋しさを感じている。寂しさの解消法は男女差が顕著で, 人と会話するほかに, 男性は酒・タバコ, 風俗・ポルノ等で, 女性は買い物, 食べることで紛らわす傾向がある。

6. 性的欲求をみると, 女性は年代ごとの減少が顕著であるのに対し, 男性の方がはるかに維持している。また, 男性は多くが性生活を重要と見なしているのに対し, 女性は肯定と否定が拮抗している。

現在の性生活について, 男性は半数以上が欲求不満をもっているが, 女性は少ない。欲求不満の解消方法として男女ともに半数がマスターベーションを上げている。風俗の利用／売買春も男性 24%, 女性 3% に上がっていた。

7. 性交渉についてみると, 過去 1 年間に性交渉があった（年数回も含む）のは男性 48%, 女性 35% である。女性は年代ごとに減少しているのに対し, 男性は 60 代が最も活発だった。相手は一人で, 交際相手という場合が多いが, 男性は性交渉があった人の 3 人に 1 人強は複数の相手で, 売買春も含まれていた。性交していない人の性交停止理由では相手との離死別が際立っていた。

マスターベーションをする（「まれに」も含む）という回答は男性 68%, 女性 41%。男性は性的欲求等には年代差が乏しいのに対

し, マスターベーションは年代ごとの減少を示しており, 肉体的欲求は減少していると推察できる。

8. 性交渉がある女性で性交痛がある（「時々」を含む）人は 60 代でも半数余に過ぎず, 満足感より痛みが強いという人はほとんどいない。女性が望まない, 気乗りのしない性交渉が少ないのでないかと推測出来る。HRT やゼリーを使用している人は 2% にすぎないが, 3 人に 1 人強は使用してみたいと積極的である。

9. 男性は 40% 近くが性機能の不安をもっており, また, 実際に性交困難になった経験もある。

理由は加齢が多いが, 40 代では「仕事上のストレス」「身体の疲労」が多い。バイアグラや補助器具の使用も 9% あり, 17% は使用してみたいという気持ちをもっている。

10. 性交渉がある相手とのコミュニケーションは豊かで, 性交渉の内容も夫婦間の性調査と比較すると, はるかに濃密であることが推察出来る。

性的コミュニケーションでは大半が互いに伝え合っており, コミュニケーションがある分, 相手が自分の性的欲求や身体の状態を分かっていると感じている。

性交を求めるのは圧倒的に男性からだが, 前戯は 70% 近くがいつもしており, 性交渉にかかる時間も 30 分～1 時間が最多である。性交渉による肉体的満足感には男女で差がなく女性も 80% は「いつも／だいたい」満足感が得られるとしており, 精神的満足感に

なると女性の方が男性より満足度が高い。また、性交渉による相手の満足を重視し、実際に満足が得られていると考えている人が多い。

11. 性生活で相手に望むことでは、性交の持ち方に関する要望が高い割合で上げられており、性交渉に対する積極的な姿勢が感じられる。性差が顕著で女性に多かったのは「性交の後、余韻を楽しむ」、男性に多かったのは性交に変化をつける」であり、興味深い。

約20%の男女が避妊をきちんとしていない、また、避妊もかなりの割合で膣外射精に頼っているのは気になるところであった。

中高年期の単身男性、中年期の単身女性は絶対数が少なく、また、セクシュアリティについての踏み込んだ調査内容であるため協力者を得ることに苦慮し、調査には時間がかかった。その意味で、回答者は性について比較的開かれた感覚の持ち主に偏った嫌いはまぬがれない。確かに「交際相手」の有無等、一般単身者の平均値とはいえないのではないかと推測される。しかし、男女差、年代差等検討してみると、興味深い納得のいく知見も多々得られ、調査として有意義であったと考えている。



# 中高年独身者のセクシュアリティ 結婚歴別の差についての検討

独立行政法人国立病院機構千葉医療センター

産婦人科 大川 玲子

## はじめに

中高年で現在配偶者のいない人のセクシュアリティについてアンケート調査を行い、いくつかの側面を分担して検討した。筆者はそのうち、結婚歴（未婚、死別、離婚）により一定の傾向が見られるかどうかを検討した。

若者の結婚率が急速に低下している現在、結婚と言う、性を含む安定的な人間関係を持つこと無く生涯を過ごす人々は増えていくであろう。また離婚率も上昇している。また、結婚した者の約半数は死別によって配偶者の居ない人生を、少なくとも一時期は過ごすのである。中高年独身者のセクシュアリティの実態は、多くの人にとって他人事では無い。

しかし実際の調査は困難であった。2002年NHKのランダム・サンプルによる「日本人の性行動・性意識調査」<sup>1)</sup>によれば、全体でおよそ81%に、中高年（40～60代）では男性89%、女性86%に配偶者がいる。種々の集まりでも単身者は当然少数であり、単身者の集まりというのもそう多くはない。施設入所者は除外したため、サンプル収集は共同研究者の個人的繋がりで依頼したものが多かった。そのため回答者に偏りがあることは否めない。有効回答数が408名と少数であり、中高年と言っても40～79才と幅広い。さらには個々の調査票を見ていくと多様性に富んだ内容で、層別検討が適当かどうかとも疑われる。しかし同じ単身者でも、結婚を

経験した者としらないもの、死別、離婚、ではそれなりの違いには興味深いものがある。あえて少数サンプルを比較検討するため、過度に数値にこだわる危険をさけて、有意差検定に頼らず、大まかな傾向に言及するにとどめた。

## I 研究目的

現在配偶者がいない中高年男女の性意識、セクシュアリティの現状について多面的に知ることを目的とする。このうち本研究では結婚歴別の特性に注目して検討する。

## II 研究方法

1. 調査時期：2002年9月から2003年12月にかけてアンケート調査を実施した。
2. 研究対象：主に関東在住で40から70歳代までの配偶者のいない男女。同棲も含めた。
3. 調査方法：共同研究者の友人・知人、講演会・研修会、老人クラブ、老人大学、関係諸団体、メディアを通じた回答者募集、などで行った。調査票は切手を貼った返信用封筒とともに、直接または人を介して渡すか郵送した。調査回収は439人（回収率23.9%）、有効回答は男性145、女性263、計408人（有効回答回収率22.2%）であった。
4. 調査票の構成：基本的属性、性に関する

考え、付き合いの状況、過去1年の性生活などに関する設問55問、副次的設問14、自由筆記で構成される。

5. 分析とデータ提示：結婚歴によるアンケート回答の比較検討にあたって、年齢を加味する場合は、40・50代（若年群）と60・70代（高年群）に分けた。「女性・未婚」または「高年・男性・死別」などを層と表現した。各層のパーセント表示の母数は表1を参照されたい。「性交渉のある者」といった一部の回答者が対象の場合は各層の実数も示した。また回答の全容を示す場合は無回答数も示したが、一部を示す場合は省略した。

### Ⅲ 結果と考察

#### 1. 男女別、結婚歴別、年代別回答数（表1）

男女とも（特に男性）死別は高年齢に多い。男性では未婚の年齢が若く、高年未婚は3名のみである。この偏りはある程度人口構成を反映していると思われるが、層別比較では配慮すべきである。

#### 2. 同居について

女性では未婚に独居（63%）が多く、他は肉親と同居が半数を超え、次いで独居が多い。男性では離婚（71%）、死別（52%）で独居が多く、未婚では肉親と同居が52%である。同居肉親の内容を尋ねていないが、未婚では親が多いであろうし、離死別者には子供も多いと思われる。同棲は女性全体で1.9%、男性5.5%と極めて少ない。

#### 3. 職歴について

女性（表2）の多くは職歴あり、あるいは現在就労しているが、死別の10%（高年では13%）に仕事経験が無い。また未婚、離婚では専門技術職が多く、管理職も見られるが、死別ではそれらが少なく、事務、サービス業が多い。その傾向は高年群では著しい。男性のほとんどは有職または職業経験があるが、若年未婚で他より管理職が少ないのは、年齢によるものと思われる。

#### 3. 離死別後の歴年

男性若年群では、単身歴7年以内が死別後

表1 結婚歴別・年代別回答者数・平均年齢

|    |     | 40・50代<br>数 (%) | 60・70代<br>数 (%) | 全体<br>数 (%) | 平均年齢 ± SD   |
|----|-----|-----------------|-----------------|-------------|-------------|
| 女性 | 未婚  | 71 (47)         | 18 (16)         | 89 (34)     | 53.1 ± 8.5  |
|    | 死別  | 23 (15)         | 70 (63)         | 93 (35)     | 66.3 ± 9.4  |
|    | 離婚  | 55 (36)         | 22 (20)         | 77 (29)     | 54.8 ± 9.4  |
|    | 無回答 | 2 (1)           | 2 (2)           | 4 (2)       |             |
|    | 計   | 151 (100)       | 112 (100)       | 263 (100)   |             |
| 男性 | 未婚  | 43 (61)         | 3 (4)           | 46 (32)     | 48.2 ± 6.2  |
|    | 死別  | 7 (10)          | 49 (66)         | 56 (39)     | 68.5 ± 7.7  |
|    | 離婚  | 21 (30)         | 20 (27)         | 41 (28)     | 59.5 ± 10.1 |
|    | 無回答 | 0 (0)           | 2 (3)           | 2 (1)       |             |
|    | 計   | 71 (100)        | 74 (100)        | 145 (100)   |             |

表2 職種別（女性、職業経験のある247名について）

%

| 結婚歴（数） | 専門技術 | 管理的 | 事務 | 販売・サービス | 他  | 無回答 |
|--------|------|-----|----|---------|----|-----|
| 未婚（88） | 44   | 13  | 23 | 10      | 5  | 6   |
| 死別（84） | 35   | 5   | 23 | 20      | 16 | 1   |
| 離婚（75） | 52   | 5   | 21 | 15      | 5  | 1   |

86%，離婚後74%で，高年群では65%，45%である。18年以上は死別ではなく，高年離婚の30%を占める。女性若年群では7年以内が死別の83%，離婚の53%を占める。高年死別の19%，離婚の87%が18年以上である。高年女性，特に離婚者の単身歴が長い。

#### 4. 同棲経験

現在を含めた同棲経験は未婚に少なく（男性17%，女性16%），離婚に多い（男性37%，女性25%）。

#### 5. 性体験

未婚者の性体験「あり」は，女性の81%，男性の87%，「キス・あいぶのみの体験」は未婚女性の7%である。女性離婚の1%は「性体験なし」であった。

#### 6. 女性の出産・妊娠中絶

出産は未婚で1名（1%），死別91%，離婚81%が体験している。妊娠中絶はそれぞれ，27%，53%，58%で，未婚より離死別（結婚経験者）で明らかに多い。

#### 7. 閉経

若年群において未婚，死別，離婚それぞれ42%，65%，36%であるが，その差は年齢構成にあると思われる。

#### 8. 性についての考え方

若年に比べて高年が，また男性に比べて女性が，性には否定的で厳しい規範を持つ傾向が見られる。しかし結婚歴別の相違はみられない。

#### 9. あなたにとって性とはなにか

男女差が明らかである。女性は性に愛情や触れあい，精神的満足を求めるが，一方で不快，義務など否定項目も選択している。男性も「愛情」は多いが女性よりは少なく，肉体的充足，生き甲斐，が上位である。また男女とも高年群では「肉体的充足」がより上位となる。結婚歴別の相違は見られない。

#### 10. 結婚願望

表3に結婚歴別，年代別に結婚したい人の割合を示した。結婚願望はどの層も男性は女性より多く，また若年群が高年群より多い傾向である。しかし女性の死別は全体に低いが，高年がわずかに若年を上回っている。

#### 11. 結婚したい理由

男女，年代を問わず，精神的安定が突出している。特に若年死別（男女とも100%），高年離婚で顕著である。2位以下は層によりばらつきがあり，男女差がみられる。

#### 12. 結婚したく無い理由

結婚したい理由より多様な選択である。し

表3 結婚したい人の割合

%

|    | 40・50代 |    |    | 60・70代 |    |    |
|----|--------|----|----|--------|----|----|
|    | 未婚     | 死別 | 離婚 | 未婚     | 死別 | 離婚 |
| 女性 | 45     | 4  | 36 | 6      | 10 | 14 |
| 男性 | 79     | 71 | 57 | 33     | 41 | 50 |

かし全ての層で「自由の束縛」が1位である。特に男性で顕著ななかで、若年未婚は33%と少ない。女性では「家事負担」がそれに次ぎ、高年では「性生活負担」が入ってくるが、結婚歴別の差はみられない。

## 13. おつきあいしている人はいますか

(表4)

女性は若年に多く、全体に死別で少ない傾向が見られる。男性は層によるばらつきが大きく傾向を認めにくい、女性と異なり高年の死別、離婚に多く見られる。

## 14. おつきあいする人が欲しいですか

(表5)

女性と高年男性では、相手を欲しい人の割合は、相手のいる人の割合(表4)と同傾向である。若年男性ではこれが逆転している。相手を得にくく、それ故に欲しいということであろうか。

15. おつきあいの内容(表4の各層の人数を母数とする)

1) 相手の人数;女性ほとんど1人だが、2人以上は未婚(3%)に比べて、離死別はやや多い。男性の2人以上は未婚(10%)、死別(18%)、離婚(35%)である。

2) おつきあいの期間;選択肢で最も長い5年以上という回答は、女性では未婚70%、死別38%、離婚46%、男性では未婚50%、死別29%、離婚44%である。全体に女性、なかでも未婚は長期の関係が多い。

3) 相手との同居;同居の項でも触れたが、同棲者は少なく、結婚歴別の差もない。

4) 相手に配偶者がいるか;男性の21%、女性の53%の相手に配偶者がいる。結婚歴別の差はない。

5) その人との関係は;性交渉を伴う関係は女性で未婚65%、死別81%、離婚82%、男性では未婚60%、死別67%、離婚65%と女性の方が多い。また男女とも未婚では少

表4 「現在おつきあいしている人がいる」人の割合

数(%)

|    | 40・50代  |         |         | 60・70代 |         |         |
|----|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
|    | 未婚      | 死別      | 離婚      | 未婚     | 死別      | 離婚      |
| 女性 | 33 (47) | 10 (44) | 33 (60) | 7 (39) | 11 (16) | 6 (27)  |
| 男性 | 10 (23) | 1 (14)  | 10 (48) | 0 (0)  | 27 (55) | 13 (65) |

表5 おつきあいしている人がなく、欲しいと思う人

数(%)

|    | 40・50代  |         |         | 60・70代 |         |         |
|----|---------|---------|---------|--------|---------|---------|
|    | 未婚      | 死別      | 離婚      | 未婚     | 死別      | 離婚      |
| 女性 | 24 (63) | 8 (62)  | 13 (62) | 3 (30) | 10 (17) | 10 (63) |
| 男性 | 26 (84) | 6 (100) | 9 (82)  | 1 (33) | 14 (64) | 5 (83)  |



表6 経済的關係

%

|           | 女性 |    |    | 男性 |    |    |
|-----------|----|----|----|----|----|----|
|           | 未婚 | 死別 | 離婚 | 未婚 | 死別 | 離婚 |
| 部分的に援助する  | 10 | 0  | 8  | 10 | 36 | 17 |
| 援助なし      | 80 | 71 | 72 | 90 | 57 | 70 |
| 部分的に援助される | 5  | 19 | 10 | 0  | 4  | 0  |
| 全面的に援助される | 3  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0  |
| 無回答       | 2  | 10 | 7  | 0  | 3  | 13 |

ない傾向が見られる。

6) 日常する身体的触れ合いでは、結婚歴別の差は見られない。

7) 経済的關係(表6)：全体的に男女とも自立性が高く、女性が男性を援助する例もある。結婚歴別に見ると未婚では独立性が高く、死別では男性が女性を援助する傾向がやや強い。死別が古い男女関係を踏襲している傾向は、全体に高年齢のためかと推測される。

#### 16. 最近の性生活について

1) 愛情や関心を抱いているもの；表7に8種の選択肢から3位までをあげた。女性のすべての層と男性未婚では、趣味、肉親、友人の順が入れ代わっているだけであるが、女性未婚では3位同順で仕事がある。死別、離婚男性では、交際者が上位に入っている。

表7 愛情・関心の対象(1～3位まで)

|    |    | 1位  | 2位  | 3位     |
|----|----|-----|-----|--------|
| 女性 | 未婚 | 趣味  | 友人  | 仕事(肉親) |
|    | 死別 | 趣味  | 肉親  | 友人     |
|    | 離婚 | 肉親  | 趣味  | 友人     |
| 男性 | 未婚 | 趣味  | 肉親  | 友人     |
|    | 死別 | 交際者 | 趣味  | 肉親     |
|    | 離婚 | 趣味  | 交際者 | 肉親     |

2) 単身の淋しさ、もの足り無さを感じる  
ことがありますか；男性では72～80%が

「はい」と回答しているが、女性では39～58%と男女差が大きい。結婚歴別では、男性では死別者(80%)が多いのに対して、女性の死別者(39%)は逆に少ない。

3) 淋しさの解消法；男女差はあるが、結婚歴差はない。性的媒体は、男性の未婚39%、死別24%、離婚13%と、女性離婚1名が選択している。

4) 性的欲求；若いころと比べて男女とも死別では性欲低下し、特に女性は顕著である。未婚、離婚では男女とも減少程度は軽く、増えた・不変の合計が25～30%である。「増えた」が最も多いのは離婚女性(14%)である。

5) 性生活はどの程度重要か；結婚歴別に「重要」と「どちらかと言えば重要」の合計を示すと、女性は未婚38%、死別39%、離婚59%、男性は未婚63%、死別79%、離婚81%と、男性は女性よりも重要と考えている。女性では離婚が多く、男性では未婚が少ない。

6) 現在の性生活に満足していますか；男女差が大きく、男性は不満足が多い。しかし結婚歴別の差は見られない。

7) 性的欲求不満の解消法；男女差はあるが、結婚歴別の差はみられない。

8) 過去1年間の性交頻度(表8)；性交渉

表 8 過去 1 年間の性交頻度

%

|              | 女性 |    |    | 男性 |    |    |
|--------------|----|----|----|----|----|----|
|              | 未婚 | 死別 | 離婚 | 未婚 | 死別 | 離婚 |
| 週 1 回以上      | 7  | 3  | 17 | 7  | 9  | 17 |
| 月 1 回～2, 3 回 | 21 | 13 | 26 | 20 | 36 | 27 |
| 年数回          | 9  | 3  | 7  | 17 | 5  | 10 |
| この 1 年なし     | 61 | 68 | 46 | 48 | 48 | 44 |
| 無回答          | 2  | 13 | 4  | 8  | 2  | 2  |

のある人に限ってみれば、性交頻度に男女差は見られない。女性では、他の設問を参照してみると、性交渉を伴うパートナーのある人（未婚、離婚に多い）では月 1 回以上の性交渉がある。また未婚、離婚では不特定の相手との性交渉を年 1 回以上持つ者が少数見られる。男性では、特定のパートナーがあれば月 1 回以上の性交渉があることは女性と同じで、したがって未婚者の性交頻度は少ない。不特定相手と性交渉を持つ者は女性より多く、未婚者では特に多い。若年男性のなかでは、死別の性交頻度が最も低くなっている。

9) 過去 1 年の性交渉相手の人数；二人以上の相手がある人は、女性では少ないものの離婚（5%）でやや多く、男性では未婚（20%）、離婚（29%）が死別（13%）より多い。

10) 過去 1 年間の性交渉相手；大部分が恋人である。その他の項目のみ表 9 に示した。恋人以外の相手との性交渉は男性、なかでも未婚でその割合が高い。

11) 性交渉がこの 1 年ない人に、無くなっ

た理由を複数回答で尋ねた。（表 10）離死別者では、相手との離死別が主たる理由であり、特に死別では相手の病気もそれに続いて多い。離婚の 2 位は女性では自分の関心喪失であり、男性は相手の関心喪失である。配偶者のある場合 2) と類似しているが、これは離婚した相手とのことか、その後、あるいは現在のパートナーとのことかは不明である。未婚では男女差が大きい。女性には相手との離死別が 1 位であるが、男性ではその選択肢は無く、自分の関心喪失が 1 位、次いで自分の病気と金銭的余裕が無い、などさまざまな理由である。

12) マスターベーション（表 11）；男女とも死別はマスターベーションをする人が少ない。女性では離婚がやや多い傾向である。男性では未・離婚が活発に行っており、相手がいない、性行動全体が活発、若年、などの要因が考えられる。

13) マスターベーションの意味；男女とも理由の 1 位は「性欲解消」である（女性離婚 34%～男性死別 70%）。男性では特に多い

表 9 性交渉の相手（なし・恋人を除く）（複数回答）

%

|         | 女性 |    |    | 男性 |    |    |
|---------|----|----|----|----|----|----|
|         | 未婚 | 死別 | 離婚 | 未婚 | 死別 | 離婚 |
| 買売春     | 0  | 0  | 1  | 11 | 4  | 7  |
| 行きずりの相手 | 0  | 0  | 0  | 2  | 2  | 7  |
| 他       | 2  | 1  | 1  | 4  | 9  | 7  |

表 10 性交渉が無くなった理由（複数回答）

%

|         | 女性   |      |      | 男性   |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|
|         | 未婚   | 死別   | 離婚   | 未婚   | 死別   | 離婚   |
|         | N=54 | N=63 | N=35 | N=22 | N=27 | N=18 |
| 自分の病気   | 6    | 3    | 3    | 18   | 7    | 11   |
| 自分の関心喪失 | 20   | 5    | 34   | 23   | 0    | 11   |
| 自分の性交痛  | 9    | 2    | 3    | 0    | 4    | 0    |
| 自分の性交不能 | 2    | 0    | 0    | 9    | 0    | 6    |
| 相手の病気   | 4    | 22   | 0    | 5    | 33   | 0    |
| 相手の関心喪失 | 2    | 2    | 3    | 14   | 0    | 17   |
| 相手の性交痛  | 0    | 0    | 3    | 0    | 4    | 6    |
| 相手の性交不能 | 2    | 5    | 9    | 0    | 0    | 6    |
| 相手との離死別 | 33   | 81   | 49   | 0    | 63   | 61   |
| 金銭的余裕なし | 2    | 0    | 0    | 18   | 4    | 6    |
| 時間的余裕なし | 7    | 0    | 9    | 14   | 4    | 0    |
| その他     | 9    | 5    | 6    | 18   | 4    | 11   |

表 11 マスターベーションをしますか

%

|       | 女性 |    |    | 男性 |    |    |
|-------|----|----|----|----|----|----|
|       | 未婚 | 死別 | 離婚 | 未婚 | 死別 | 離婚 |
| しない   | 42 | 48 | 27 | 11 | 40 | 17 |
| まれにする | 33 | 19 | 36 | 24 | 28 | 24 |
| ときどき  | 15 | 7  | 17 | 28 | 16 | 32 |
| よくする  | 1  | 0  | 0  | 30 | 9  | 12 |
| 無回答   | 9  | 26 | 20 | 7  | 7  | 15 |

が、女性では「快楽」「やすらぎ」も比較的多い。

17. 女性の性生活（この1年に性交渉があった人の場合）

- 1) 性交痛：未婚64%，死別50%，離婚33%に性交痛あり。年令以外の要素が考えられる。
- 2) 性交痛と満足感との関係：性交痛のある人への設問である。満足感が強い、どちらかと言えば満足感が強いという回答が、未婚91%，死別78%，離婚92%である。
- 3) 痛みの伝達：多くは相手に伝えているが、未婚の24%が「あまり伝えない」と回

答。

- 4) 性交痛対策としてのホルモン補充療法やゼリー使用：未婚38%，死別33%，離婚25%が「必要無い」と回答，「使用希望」はそれぞれ43%，22%，33%である。「実際に使用して良かった」のは離婚の1名のみである。結婚歴差は明らかでないが，死別がやや消極的である。

18. 男性の性生活

- 1) 性機能についての不安：「ある」「ときどきある」の合計は，未婚41%，死別34%，離婚41%である。

b. 性交困難の経験：ある程度継続した性交

困難について、未婚 65%，死別 57%，離婚 49% が「経験なし」。

2) 性交困難の経験者に、その理由（複数回答）；未婚は「疲労」に続いて「ストレス」「加齢」を挙げ、死別は「加齢」が突出し、次いで「相手との関係」、離婚では「加齢」と「仕事のストレス」がともに 1 位である。

3) バイアグラなどの使用について；未婚 35%，死別 39%，離婚 29% は「必要無い」と回答、「使用希望」はそれぞれ、20%，13%，20% である。「使用し有効だった」者は、同順で 4%，7%，12%，未婚、離婚各 1 名は「使用したが無効」としている。全体に性交痛における女性の対応より積極的であるが、結婚歴別の差は認められない。

#### 19. この 1 年の性交渉について

1) 性的感情や欲求を伝え合うか（表 12）；男女とも良く伝えあっているなかで、女性死

別に「相手のみ伝える」が多いのは、従来型の性役割であろうか。男性未婚は「伝えあわない」が多く、特定の相手ではないことが多いと思われる。

2) 相手はあなたの性的欲求などをわかってくれるか；女性の離婚は「わかっている」が 53% と最も多い。男性、未婚は 14% と少ない。

3) 性交渉を求めるのはどちらか；女性は相手から、男性は自分から、と役割が分かれているが、他の報告と比べて逆も少なく無い。結婚歴別の差は見られない。

4) 前戯をしますか（表 13）；男女とも比較的良好に前戯をしており、女性離婚は最も活発である。女性死別では「しない」もあり、他の層より少ない傾向である。男性の結婚歴差は明らかではない。

5) よく行う前戯；キス、乳房愛撫、乳房へのキス、性器愛撫、性器へのキス、の 5 項

表 12 性的感情を伝えたり話し合いますか

%

|         | 女性   |      |      | 男性   |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|------|
|         | 未婚   | 死別   | 離婚   | 未婚   | 死別   | 離婚   |
|         | N=33 | N=18 | N=38 | N=21 | N=28 | N=22 |
| 互いに伝えあう | 88   | 72   | 87   | 62   | 82   | 68   |
| 自分のみ伝える | 9    | 0    | 3    | 0    | 7    | 9    |
| 相手のみ伝える | 0    | 17   | 5    | 5    | 0    | 5    |
| 伝えあわない  | 3    | 6    | 5    | 28   | 4    | 9    |
| 無回答     | 0    | 5    | 0    | 5    | 7    | 9    |

表 13 性交渉のとき前戯をしますか

%

|          | 女性 |    |    | 男性 |    |    |
|----------|----|----|----|----|----|----|
|          | 未婚 | 死別 | 離婚 | 未婚 | 死別 | 離婚 |
| いつもする    | 58 | 50 | 84 | 62 | 68 | 73 |
| することが多い  | 27 | 28 | 13 | 38 | 21 | 23 |
| しないことが多い | 9  | 6  | 3  | 0  | 7  | 4  |
| しない      | 0  | 11 | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 無回答      | 6  | 5  | 0  | 0  | 4  | 0  |



目から複数選択とした。男性死別はどの前戯も少なく、一般的と思われるキスも、未婚・離婚の半数でしか行っていない。女性では結婚歴別の差は見られない。

6) 性交渉の時間；どの層でも最多は30～60分で、半数以上は30分以上かける。男女とも離婚群は他より長時間の傾向である。

7) 性交渉での肉体的満足；オーガズム・射精が「いつも得られる」「だいたい得られる」の合計は、女性の未婚73%，死別67%，離婚92%，男性未婚95%，死別86%，離婚96%である。女性では離婚の満足率は他より高い。男性では死別がやや低いが、年齢が高いことによるのであろうか。

8) 性交渉での精神的満足；精神的満足が「いつも得られる」「だいたい得られる」の合計は、女性の未婚88%，死別72%，離婚100%，男性の未婚95%，死別88%，離婚82%である。女性で精神的満足は肉体的満足を上回るが、男性では同じか、離婚では下回っている。

9) 相手の満足；相手が満足していると思うか、という設問で、「満足」「だいたい満足」の合計は、女性で、未婚85%，死別83%，離婚100%，男性未婚67%，死別79%，離婚87%である。男女とも離婚者は「相手は満足」とする人が多い。

10) 相手の満足は重要か；相手が満足を感じることは重要ですか、という問について、「重要」との回答は、女性で、未婚52%，死別39%，離婚76%，男性未婚52%，死別75%，離婚77%である。「ある程度重要」をプラスした場合、この順位は変わらず、男女とも離婚で100%を示した。

11) 性生活中相手にのぞむこと；男女と

も、日常の愛情表現や雰囲気作り、性交以外の愛撫などを求めており、性交の回数や時間の要望は少ない。結婚歴別の差は見られない。

12) 避妊；きちんと避妊していない割合を層別にみると、女性で、未婚18%，死別22%，離婚21%，男性未婚28%，死別8%，離婚28%である。

13) 避妊方法；対象者は女性34名、男性36名。男女ともコンドームが圧倒的に多いなかで、オギノ式、リング、ビルも数名見られる。不妊手術は男性にのみ見られた。

## まとめ

結婚歴別の傾向をこのデータで述べることはやや乱暴かもしれないが、数値から各層のセクシュアリティをイメージしてみる。

離婚女性：離婚後年数が長く、肉親同居が多いが、経済的自立性が高い。他の層と比べて、同棲経験も含め性的活動性が高く、内容も豊富である。

未婚女性：半数近くに相手がいるが、性的活動性は離婚女性ほど高く無い。パートナーとは長いつきあいが多いため、やや夫婦に近く、女性がかまんするような古典的な関係性も伺える。一方、独居が多く、経済的自立性は高く、仕事に関心の対象に選ばれている。

死別女性：ある程度以上の年令で死別した結果、経済的自立性は他より低く、年齢が高いせいか、性についての構えは保守的で、性的活動性は最も低い層である。個人的には性的にも活発な人も混じっており、性以外の面では全体に満足が伺える。

未婚男性：最も若いグループである。結婚願望、おつきあい願望が高いが、実際にパー

トナーのいる人は少ない。その結果性的活動性は男性のなかでは低く、買春、マスターベーションなどの占める割合が高い。現状への不満が感じられる。

死別男性：女性同様、全体に高年齢である。性的活動性は高年では他の層より高く、関心の対象の1位は交際相手である。若年は対象者が少なく本来論評すべきで無いが、日常の余裕が無いためか性活動性は最も低い。

離婚男性：全体に性活動性が高い。特に若年ではその傾向が顕著である。相手も特定、不特定、両方向性が見られ、結婚願望も若年男性では低いなど、現状肯定的である。

回答数が少なく、回答内容が多様であることは、配偶者のない中高年は現代でも少数派であり、それだけに各人が独自の生き方をしていることを物語っている。性規範はゆるやかであるが、性的活動性は配偶者のある中高年<sup>2)</sup>と比べると不活発である。配偶者や同居パートナーがいなければ活発な性行動は難しいという現実が示された。しかし単身者としては「おつきあい」や性交渉も多く、内容も豊かと見るべきかもしれない。さびしい、とも相手が欲しいとも思うが、自由の束縛を考えると必ずしも結婚したくはない、という構えが単身者の回答全体から感じられる。同じ単身者でも、高年死別にみられるように、必ずしも性行動をのぞんでいない場合もあるが、望んだ場合に、よりそれが容易にできるように、中高年のセクシュアリティの現実が認識されれば幸いである。

## 文献

- 1) NHK「日本人の性」プロジェクト編：データブック NHK 日本人の性行動・性意識 日本放送出版

会、2002

- 2) 荒木乳根子他：中高年のセクシュアリティ―男女のパートナーシップの現状について―、日本=性研究会議会報12(1)2-18, 2000

# 中高年単身者のセクシュアリティ ～交際している人の有無による性意識の差

日本赤十字社医療センター

金子 和子

## I 緒言

性意識を形成に影響する要因は多数ある。受けた教育、結婚歴、恋愛歴、等々はもちろん、さまざまな人との出会いや経験が複雑に絡み合っその人の性意識を形作る。どれか一つをとって安直に論ずることはできないが、付き合っている人の有無は中高年単身者の生活を大きく左右するだろう。そこで、「交際している人がいるか、いないか」によって、性意識にどのような差があるか、あるいはないかを調べた。

## II 方法と対象者

2002年9月から、2003年12月にかけて、自己記入方式によるアンケート調査を行い、得た有効回答を、男女、交際している交際相手の有無によって、性意識がどう異なるかを分析した。性意識を知る方法としては、アンケート用紙（末尾に掲載）の、「属性」（質問A）の項と、「性に関する考え方」（同B1）「配偶者のいる異性との交際の可否」（同B2-4）「あなたにとっての性の意味」（同

B5）「性の重要さ」（同D4）「性生活の満足度」（同B5）を用いた。調査全体の結果に関しては、荒木論文を参照されたい。

## III 結果と考察

荒木論文に述べられているように、アンケートの回答者に関しては、かなり偏りがあると言わざるを得ない。また、様々な面で多様性に富んでいるが、その多様性にあわせて、グルーピングして統計を取れるほどの回答数を得ていない。その点を了解した上での統計処理と理解する必要がある。

なお、「交際している相手がいる人・いない人」という言い方は煩雑なので、以後、「いる人」、「いない人」と表す。

### 1. 女性に関して

#### 1) 交際している人のいる割合

女性で交際相手の有無がわかるのは女性有効回答数263名のうち260人であった。統計処理のため40代（65名）と50代（85名）、60代（52名）と70代（58名）をそ

表1 交際相手の有無 C2

%

|    | 女性    |       | 男性    |       |
|----|-------|-------|-------|-------|
|    | 4・50代 | 6・70代 | 4・50代 | 6・70代 |
| あり | 51    | 22    | 30    | 55    |
| なし | 49    | 78    | 70    | 45    |
| 計  | 100   | 100   | 100   | 100   |
|    | N=150 | N=110 | N=69  | N=73  |

れぞれまとめ、150人と110人のグループにした。以後4・50代、6・70代と表す。

それぞれの年代の交際相手のいる人の比率は荒木の表18であるが、4・50代、6・70代のグループ別の人数は表1のとおりであり、「いる人」は、51%と22%である。

## 2) 属性の差

属性に関しては、4・50代、6・70代で、方向や程度は違っても、「いる人」・「いない人」で差がある項目は同じであった。学歴、収入の得方等に関しては差がみられず、差が見られるのは、性体験歴、結婚歴、人工中絶率、更年期障害歴等である。結婚歴以下を表2、3、4に示した。性体験に関しては、「いない人」のほうが低い、「いない人」でも、4・50代では82%、6・70代では86%の人が性交渉を体験している。健康状態に関しては表5に示したが、4・50代、6・70代と分けると有意差が出なかったが、合計すると有意差が出た。

結婚歴（表2）で注目すべきは、4・50代の「いる人」は、「いない人」に比して未婚、死別の率が低く、離婚経験者の率が高いことと、6・70代の「いる人」は未婚の比率

が高いことである。4・50代の「いる人」で、未婚の率が低いことはパートナーを求める気持ちが強く、離婚の率が高いことは、より良いカップリングへの熱意が高いと取れるだろう。当然ながら、離婚経験者に交際相手がいる率が高い。

「いる人」のほうが、「いない人」より離婚した人の率が高いことは、6・70代でもいえるが、6・70代の特徴は、4・50代とは逆に未婚の人の率が、「いる人」のほうが高いことであり、約2.5倍になっている。この世代では、結婚するのが当たり前であり、単身である理由としては未婚は16%しかない（4・50代では47%である）。「いる人」のほうが未婚の人の率が高いことは、単身である原因として付き合っている人の存在があるということを示しているのではないだろうか。または、この世代では未婚でいることは交際相手を持ちやすい、あるいは、結婚歴があることは交際相手を持つことを躊躇させたり、交際相手を求める傾向を弱める力があるのであろうか。

人工中絶率は表3のとおりであるが、中絶歴と出産歴をあわせてみると大変興味深い。

6・70代で、「いる人」は「いない人」よ

表2 結婚歴 A7

%

|     | 女性     |     |        |     | 男性     |     |        |     |
|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|     | 4・50代  |     | 6・70代  |     | 4・50代  |     | 6・70代  |     |
|     | いる     | いない | いる     | いない | いる     | いない | いる     | いない |
| 未婚  | 43     | 51  | 29     | 12  | 48     | 65  | 0      | 9   |
| 死別  | 13     | 18  | 46     | 67  | 5      | 13  | 68     | 67  |
| 離婚  | 43     | 28  | 25     | 19  | 48     | 23  | 33     | 18  |
| 無回答 | 0      | 3   | 0      | 2   | 0      | 0   | 0      | 6   |
| 計   | 100    | 100 | 100    | 100 | 100    | 100 | 100    | 100 |
|     | P<0.05 |     | P<0.05 |     | P<0.15 |     | P<0.15 |     |

■小数点以下を四捨五入したので、表の数値を足しても100にならないことがある。以下の表でも同様。



表3 人工中絶体験と出産体験 A13, A12

%

|     | 人工中絶体験 |     |       |     | 出産体験  |     |       |     |
|-----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|     | 4・50代  |     | 6・70代 |     | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|     | いる     | いない | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない |
| ある  | 53     | 27  | 71    | 47  | 46    | 41  | 54    | 84  |
| ない  | 46     | 69  | 21    | 51  | 53    | 57  | 42    | 16  |
| 無回答 | 1      | 4   | 8     | 2   | 1     | 3   | 4     | 0   |
| 計   | 100    | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 |

P&lt;0.05

P&lt;0.05

有意差・傾向なし

有意差・傾向なし

表4 更年期障害歴・女性 A15

%

|            | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|------------|-------|-----|-------|-----|
|            | いる    | いない | いる    | いない |
| 経験なし       | 62    | 42  | 38    | 31  |
| 現在、更年期障害あり | 20    | 42  | 4     | 7   |
| 過去に更年期障害あり | 15    | 15  | 54    | 62  |
| 無回答        | 4     | 1   | 4     | 0   |
| 計          | 100   | 100 | 100   | 100 |

P&lt;0.05

有意差・傾向なし

り出産歴率が低くて中絶歴率が高いのは、婚外性交による等などの中絶せざるを得ない妊娠が多かったことをうかがわせる。

一方、4・50代では全体に中絶体験は下がっており、かつ、出産歴は「いる人」と「いない人」で差がないのに、中絶率は「いる人」のほうが高い。この、4・50代の「いる人」たちの中絶歴の高さをどう理解するかであるが、いくつかの仮説が考えられるだろう。一つは6・70代と同様、婚外妊娠等により、人工中絶せざるを得ない妊娠が多かったという説である。また、交際相手がいる人は妊娠に対して用心深くない傾向が強い、あるいは、避妊を実行しにくい場面が多いという見方もある。筆者としては、出産歴が同じことを考えると、後者の説に傾く。

更年期障害歴は表4に示した。4・50代では、更年期を体験している人の率に大きな差が見られる。「いる人」のほうが「経験なし、

が高く、「現在、更年期障害」が低くなっている。交際する相手がいるから更年期障害がなくてすむのか、更年期障害がないから、交際できるのか、興味のあるところである。6・70代では当然、「現在、更年期障害」が全体に少ないわけであるが、更年期障害歴は「いる人」「いない人」で統計的に有意な差はない。ただ、やはり、いる人は「過去の更年期障害」が若干少なく、もう少し大きな数が集まれば、有意差が出るのであろうか。

なお健康に関して言えば、先に述べたとおり、4・50代、6・70代のグループに分けると統計的には有意差が見られないのであるが、双方とも「いる人」のほうが健康感が一段階高い。そこで、これを全体でみると、明確に有意差がでる（表5）。これは大変興味深いことである。いる人もいない人も、「健康」「大体健康」をあわせると、90%以上になり、付き合う相手を持てるレベルにあると

表5 健康状態 A10

%

|          | 4・70代・女性 |     | 4・50代男性 |     | 6・70代男性 |     |
|----------|----------|-----|---------|-----|---------|-----|
|          | いる       | いない | いる      | いない | いる      | いない |
| 健康       | 49       | 40  | 57      | 44  | 38      | 49  |
| だいたい健康   | 47       | 50  | 38      | 35  | 48      | 42  |
| あまり健康でない | 3        | 8   | 5       | 13  | 15      | 6   |
| 健康でない    | 1        | 1   | 0       | 8   | 0       | 3   |
| 無回答      | 0        | 2   | 0       | 0   | 0       | 0   |
| 計        | 100      | 100 | 100     | 100 | 100     | 100 |

P&lt;0.05

P&lt;0.05

有意差・傾向なし

考えられる。したがって、健康度が低いから、つき合う人がいない率が高いとはいえないだろう。「いる人」たちは付き合う人がいるから健康感が高いのだと単純に言うわけにはいかないが、「いる人」たちの方が、より活力がある、あるいは、健康に対して楽観的である人が多いといえよう。この、健康感はい上の更年期障害歴とあわせて読むと一層意義深い。

### 3) 性意識の差

性意識では、4・50代と6・70代では「いる人」と「いない人」とで有意差のある項目が異なった。そこで、4・50代で有意差があ

るものをまず述べ、次に4・50代で傾向が見られるものを述べる。表6と表7に男女をあわせて示した。

#### ①4・50代で有意差があるもの

4・50代で「いる人」と「いない人」とで有意差が見られるものは「性の目的は子供を産むこと」「愛情があれば性関係をもってよい」「配偶者のいる異性との親密な交際」の3項目であった。

表6, 7でわかるように、「いる人」のほうが「性の目的は子供を産むこと」の否定や「愛があれば性関係をもってよい」の肯定が高く、開放的である。

配偶者のいる異性との交際に関して、社会

表6 配偶者がいる男性との親密な交際 B3 (女性)・配偶者がいる女性との親密な交際 (B2男性) %

|                         | 女性    |     |       |     | 男性    |     |       |     |
|-------------------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|                         | 4・50代 |     | 6・70代 |     | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|                         | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない |
| つきあうべきではない              | 24    | 37  | 29    | 48  | 19    | 35  | 18    | 27  |
| 性関係なければかまわない            | 17    | 19  | 8     | 27  | 14    | 27  | 20    | 24  |
| 性関係があっても家庭に迷惑がなければかまわない | 32    | 11  | 21    | 4   | 38    | 23  | 25    | 12  |
| 家庭に迷惑がかかっても仕方ない         | 0     | 0   | 0     | 0   | 0     | 0   | 0     | 0   |
| 好きになったら付き合うのが自然         | 18    | 15  | 21    | 8   | 24    | 4   | 13    | 6   |
| その他                     | 0     | 7   | 13    | 4   | 0     | 6   | 18    | 9   |
| 無回答                     | 9     | 12  | 8     | 11  | 5     | 4   | 8     | 21  |
| 計                       | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 |

P&lt;0.05

P&lt;0.05

P&lt;0.15

P&lt;0.05

表7 性意識で差および差の傾向が見られるもの

%

|                              | 女性    |     |        |     | 男性    |     |        |     |
|------------------------------|-------|-----|--------|-----|-------|-----|--------|-----|
|                              | 4・50代 |     | 6・70代  |     | 4・50代 |     | 6・70代  |     |
|                              | いる    | いない | いる     | いない | いる    | いない | いる     | いない |
| 性の目的は子供を産むこと (いいえ)           | ◎ 86  | 72  | ◎ 92   | 58  | 81    | 77  | ◎ 78   | 55  |
| 愛情があれば性的関係を持ってよい (はい)        | ◎ 83  | 68  | ◎ 71   | 36  | 86    | 85  | ◎ 93   | 67  |
| 性は不潔で汚らしい (いいえ)              | ○ 92  | 84  | ◎ 92   | 72  | 100   | 94  | ◎ 98   | 67  |
| 結婚や婚約なしには性的関係を持つのはよくない (いいえ) | ○☆ 82 | 72  | ◎ 83   | 29  | ○ 95  | 79  | ◎ 80   | 52  |
| 老年になったら男性は性欲がなくなる (いいえ)      | ○ 87  | 77  | ◎ 71   | 47  | 71    | 75  | ◎ 95   | 70  |
| 互いの合意があれば性的関係をもってよい (はい)     | 83    | 74  | ◎ 79   | 48  | 91    | 92  | ◎ 98   | 76  |
| 性は楽しいものだ (はい)                | 76    | 68  | ◎ 83   | 55  | 95    | 85  | ◎ 100  | 79  |
| 老年になったら女性は性欲がなくなる (いいえ)      | 70    | 66  | ◎ 71   | 40  | 57    | 71  | ◎ 75   | 49  |
| 性について口にしてはならない (いいえ)         | 86    | 84  | ◎ 75   | 51  | 100   | 85  | ◎ 93   | 67  |
| 性はふれあい・コミュニケーション (はい)        | 55    | 54  | ◎ 67   | 41  | 76    | 60  | 38     | 30  |
| 性は男性がリードするものだ (いいえ)          | 70    | 68  | ○ 54   | 33  | 76    | 65  | ◎ 56   | 36  |
| 性はやすらぎ・安心 (はい)               | 58    | 54  | ○ 58   | 37  | ○ 57  | 35  | 50     | 49  |
| 閉経以後は性生活をやめるのが自然 (いいえ)       | 90    | 82  | ○ 92   | 77  | 100   | 90  | ◎ 95   | 64  |
| 夫の性的求めに応じるのは妻の心得 (いいえ)       | 70    | 74  | ○ 63   | 45  | 67    | 63  | ◎ 55   | 30  |
| 妻の性的求めに応じるのは夫の心得 (はい)        | ○ 26  | 16  | 29     | 34  | 43    | 42  | ○ 58   | 52  |
| 女性から求めるのは恥ずかしいことだ (いいえ)      | 83    | 80  | ○ 75   | 57  | 100   | 94  | ◎ 95   | 67  |
| 性は生きがい・活力剤 (はい)              | 5     | 1   | ○ 25   | 9   | 10    | 10  | ○ 53   | 67  |
| 性は快楽 (はい)                    | 76    | 68  | 63     | 48  | 95    | 90  | ○ 90   | 70  |
| 性は肉体的充足 (はい)                 | 32    | 28  | 33     | 23  | 52    | 52  | ○ 63   | 46  |
| 性は子供づくり (いいえ)                | 87    | 82  | ◎ 100  | 77  | 86    | 79  | ◎☆ 98  | 76  |
| 性は義務 (いいえ)                   | 91    | 92  | ○☆ 100 | 88  | 100   | 100 | ○☆ 100 | 85  |
| 売買春は悪いことだ (いいえ)              | 9     | 12  | 13     | 9   | 52    | 38  | ◎ 45   | 21  |

アンケートは、「はい」、「いいえ」、「無回答」で集計した。

◎:p&lt;0.05 ○:p&lt;0.15:「はい」、「いいえ」、「無回答」を含めた場合

○☆:「はい、その他」あるいは、「いいえ、その他」でくくった場合

規範としてどう考えるかは、表6のとおりであった。4・50代では「いる人」は、「性関係があっても、家庭に迷惑がかからなければかまわない」とするのが第一位であり、50%の人が性関係を認めている。一方「いない人」は「つきあうべきではない」とするのが第一位であり、性関係を認めている人は、26%に過ぎない。6・70代では「いる人」も、「いない人」も「付き合うべきではない」が一位を占めているが、「いる人」は、「性関係があっても家庭に迷惑がかからなければ良い」「好きなら自然」が一位に近い2位であり、6・70代の「いない人」とも、4・50代の人たちとも大きく異なる。表6は配偶者のいる男性との交際を問うているが、配偶者のいる女性との交際に関する結果も、4・50代ではその数字は殆ど変わらなかった。なお、6・70代では、男性が有配偶女性と交際することに関しての方が、女性が有配偶男性と交際するよりもわずかであるが、規範が緩やかであった。これは統計的には有意差はないが、同一回答者に対する問いで、答えが変わっていることは、その回答者の心のゆれを示していて興味深い。

#### ②4・50代で差の傾向が見られるもの

今回は数が少ないので、有意差は見られなかったが、危険率が15%以下で、数を多くすれば有意差が出ると予想されるものをあげる。それは「性是不潔でけがらわしい」「結婚や婚約なしに性的関係もつのは良くない」「合意があれば性的関係をもっても良い」「老年男性は性欲がなくなる」等である。なお、これらは4・50代では傾向しか見られないが、6・70代ではすべて5%水準で有意差があり、年代による意識の違いが顕著であっ

た。

#### ③6・70代にのみ有意差や差の傾向が見られるもの

4・50代では、「いる人」「いない人」で差が見られなかったが、6・70代では有意差や、差の傾向が見られるものがあった。有意差があったのものは次の6項目である。すなわち「合意があれば性交渉をもってよい」「性は楽しい」「老年女性は性欲がなくなる」「性は口にしてはならない」「性はふれあい・コミュニケーション」「性は子供づくり」である。

また差の傾向があったものは「性は男性がリードすべき」「性の意味はやすらぎ・安心感」「閉経以後性生活はやめるべき」「夫の性的な求めに応じるのは妻の心得」「女性から求めるのは恥ずかしいこと」「性は生きがい」等である。

#### ④交際相手のいる人といない人の違いと年代の差

交際相手がいる人といない人とで有意差あるいは、差の傾向があるものはすべて、「いる人」が、「いない人」に比して制約がない方向である。つまり「いる人」のほうが性的に開放的である可能性が高いのだ。それが、交際相手がいるためであるのか、逆に、開放的であるから交際相手がいるのか不明であるし、その両方が絡み合っている可能性も十分にある。

表8に、性意識の違いがあるものを一覧表にした。これは男性も含んでいるが、年代差と男女差が明確に表示されている。ここでは女性についてみるが、4・50代よりもはるかに6・70代の方が「いる人」と「いない人」で差や差の傾向がある項目が多い事がわか



る。逆にいえば、4・50代は6・70代に見られた差がなくなっている項目が多い。どのような項目で、年代による差が大きいかを見るために、項目を4つに分類した。すなわち、婚前交渉や配偶者のある異性との付き合いの可否などの「交際と性」、老年になると性欲が低下するかどうか等の「知識」、性は口外してはいけない等の「性のありよう」、「性は不潔」等の性に対する「受け止め方」である。

このように分けると、項目によって4・50代と6・70代の違い方が同じではないことがわかる。「交際と性」では、4・50代と6・70代では、差に程度はあれ、項目そのものに差がない。一方「性のありよう」に関しては、6・70代では、差や、差の傾向があるものが多いが、4・50代では、「妻の性的求めに応じるのは夫の心得」以外では、有意差や差の傾向があるものはなかった。項目を見ると、「性について口にしてはいけない」「男性がリードすべき」等の、性に対して抑圧的で性役割が明確なものである。こうしたものが4・50代ですっかり消えていることは年代を考えると大変興味深い。6・70代の「いない人」は、おそらくその時代の一般的な性意識を身につけており、それが、抑圧的で、性役割が明確なものなのであろう。「いる人」はかなり開放的になっており、いない人との間に有意差が出ている。しかし4・50代では、全体的に開放的で「いない人」も6・70代の「いる人」よりも開放的であり差が出ないのである。興味深いのは、「性のありよう」で、4・50代で唯一差の傾向があるのが「妻の性的求めに応じるのは夫の心得」という項目であることである。性に解放的な女性たち

がこれに肯く率が高いのはなぜだろうか。一般に「夫の性的要求に応じるのは妻の心得」と「妻の性的要求に応じるのは夫の心得」は対になって等価と考えられる。事実、開放的である6・70代の交際相手のいる男性はこの双方の問いに「否」と答える率が高い。しかし、性に開放的な女性が「妻の心得」は、否定しながら、「妻の性的要求にこたえるのは夫の心得」にうなずく率が高いのは、彼女たちにとってこの二つの意味が違うからだろう。「夫の性的求めに応じるのは妻の心得」という場合、妻の役割というニュアンスが強く、彼女たちは否定するが、「妻の求めに応じるのは夫の心得」という場合、「妻が性的気分になってアプローチしたときは、妻と一緒に性的なことを楽しんで欲しい」という、性的な事柄を共有したいと言う気持ちから、賛成するのではないだろうか。

「知識」に関していえば、老年男性に関しては、年代を問わず「いる人」と「いない人」で差が見られるが、老年女性が性欲があるかについての知識は、4・50代では差がない。老年男性に関しては、交際相手が老年であつたりして、想像がつくが、女性、すなわち自分に関しては、まだわからない、という面が多いのだろうか。

6・70代の人考える老年男性の性欲喪失よりも、4・50代の人考える老年男性の性欲喪失の方が低いことは、男性は老年になっても性欲を喪失しないというイメージが、老年にならない人たち(4・50代)に強いことを示し、現実には老年になっている人たちは(6・70代)、交際相手等から、喪失することもあることを学んでいるということだろうか。

表8 優位さと差の傾向のあるもの

|        |    | ◎有意差あり ○差の傾向あり               |          |
|--------|----|------------------------------|----------|
| 4・50代  |    | 6・70代                        |          |
| 女性     | 男性 | 女性                           | 男性       |
| 交際と性   |    |                              |          |
| ◎      |    | 愛情があれば性的関係を持ってよい             | ◎ ◎      |
| ○      |    | 互いの合意があれば性的関係を持ってよい          | ◎ ◎      |
| ○※     | ○  | 結婚や婚約なしには性的な関係を持つのはよくない      | ◎ ◎      |
| ◎      | ○  | 配偶者のいる女性との親密な交際              | ◎ ◎      |
| ◎      |    | 配偶者のいる男性との親密な交際              | ◎        |
| ◎      | ○  | 配偶者のいる異性と自分との親密な交際、売買春は悪いことだ | ◎ ◎      |
| 知識     |    |                              |          |
| ○      |    | 老年になったら男性は性欲がなくなる            | ◎ ◎      |
|        |    | 老年になったら女性は性欲がなくなる            | ◎ ◎      |
| 性のありよう |    |                              |          |
|        | ○※ | 性について口にしてはいけない               | ◎ ◎      |
|        |    | 性は男性がリードするものだ                | ○ ◎      |
|        |    | 女性から求めるのは恥ずかしいことだ            | ○※ ◎     |
|        |    | 夫の性的な求めに応じるのは妻の心得だ           | ○※ ◎     |
| ○(はい)  |    | 妻の性的な求めに応じるのは夫の心得だ           |          |
|        |    | 閉経以後は性生活をやめるのが自然だ            | ○ ◎(はいえ) |
| 受け止め方  |    |                              |          |
| ◎      |    | 性の目的は子供を産むことである              | ◎ ◎      |
| ○      |    | 性は不潔で汚らしい                    | ◎ ◎      |
|        |    | 性は楽しいものだ                     | ◎ ◎      |
|        |    | 性はふれあい(コミュニケーション)            | ◎        |
|        |    | 性は子供づくり                      | ◎ ◎      |
|        | ○  | 性やすらぎ・安心                     | ○        |
|        |    | 性は生きがい・活力剤                   | ○ ◎      |
|        |    | 性は義務                         | ○※ ◎     |
|        |    | 性は肉体的充足                      | ○        |
|        |    | 性は快楽                         | ◎        |

○※は、「はいえ」と「その他」でくくった場合に傾向が見られるもの

受け止め方で見ると、「性の目的は子供を産むこと」という項目では、4・50代でも有意差があることが興味深い。「女性にとって性は生殖」というクラシックな感覚がいまだに残っており、「性のありよう」の項で見た、抑圧的なものが消えたのと対照的である。そして、非常に感覚的な「性は不潔」のように、自分の感覚や受け止め方で差の傾向

があることは性に関するどのような側面が変わりやすく、どの面が変わりにくいかを教えてください。すなわち、一般的な知識やありように関するものは変わりやすいが、道徳観や、受け止め方は変わりにくい面があるといえよう。

## 2. 男性に関して

### 1) 交際相手がいる割合

男性では、有効回答145のうち交際相手の有無がわかるのは、4・50代では、69名、6・70代では、73名であり、「いる人」はそれぞれ、30%、55%であった。6・70代のほうが交際相手がいる率が高く、しかも、50%を超えることは、荒木も書いているように、こうしたアンケートに答えてくれた高齢者の偏りを考えに入れなければならないだろう。

### 2) 属性の差

性体験では、女性と同様、結果全体での性交渉のない人は、「いない人」に重なりと考えられるが、いない人でも、4・50代では、90%、6・70代では、94%が性交渉を体験している。結婚歴（表2）では、「いる人」の離婚経験率が高い。女性と同様、離婚者に交際相手がいる傾向が見られ、離婚をする人は、より良いパートナーをもとめる傾向が強いといえよう。

健康感（表8）に関していえば、女性と違って、4・50代と6・70代は違った傾向が見られる。6・70代では「いる人」「いない人」で健康に差がないのであるが、4・50代では、健康であるかどうかを二つのグループ、すなわち「健康」+「だいたい健康」と「健康でない」+「健康でない」という二つのグループに分けると、いる人の方が有意に高い健康率を示している。4・50代の男性で「いない人」は健康でない（「あまり健康でない」+「健康でない」）人が20%以上もいることを考えると、この世代のストレスが高く、交際相手がいないことはより健康感が持ちにくいということであろうか。

### 3) 性意識の差

#### ① 4・50代で有意差のある項目

ここでも、4・50代と6・70代とでは大きな差を見せている。表6、7でわかるように、6・70代の人たちのほうが、交際相手の有無で性意識に差が見られる項目が多いのだ。もっと明確に言えば、4・50代男性で、危険率5%で、「いる人」と「いない人」で有意差のある項目はなかった。

#### ② 4・50代で差の傾向があるもの

危険率15%以内を、差の傾向ありとしたが、男性4・50代でそれにあたるのは、「結婚や婚約なしに性的関係もつのは良くない」「男性と有配偶者の女性との親密な交際について」「自分と有配偶者であるの異性との親密な交際について」「性については口にしてはいけない」のみである。この項目を6・70代でみると、「自分と有配偶者の異性との交際」以外では、5%水準で有意差があり、「自分と有配偶者の異性との交際」は差の傾向もない。

有配偶者との交際に関して、6・70代で、男性と有配偶者の女性との交際については、「いる人」と「いない人」の間では優位さがあるのに、女性と有配偶者の男性との交際については「いる人」で否定的な人が増え有意差がなくなるのは興味深い。

「結婚や婚約なしに性的関係もつのは良くない」を始め、「いる人」と「いない人」の差はいずれも、「いる人」のほうが、性に対して開放的であることは女性の場合と同様である。

#### ③ 6・70代にのみ傾向や有意差が見られるもの

4・50代男性で、「いる人」と「いない人」



で有意差のあるものはなく、傾向のあるものも少なかった。一方、6・70代では有意差のあるものが多く見られた。有意差があったものは、以下にあげると、「愛情があれば、性的関係をもってよい」「合意があれば性的関係をもってよい」「売買春は悪い」「老年になったら男性は性欲がなくなる」「性生活は男性がリードすべき」「女性から求めるのはよくない」「夫の性的求めに応じるのは妻の心得」「妻の性的求めに応じるのは夫の心得」「性の目的は子供を産むこと」「性は不潔」「性は楽しい」「性は快楽」「性は子供づくり」「性は義務」である。ここで、注意すべきは、「妻の性的求めに応じるのは夫の心得」で有意差が見られたが、その方向は、女性の項で述べたように、4・50代女性と逆であり、「妻の性的求めに応じるのは夫の心得ではない」と言う形であり、「夫の性的求めに応じるのは、妻の心得ではない」という項目と対を成している。

差の傾向があったものは、「性は生きがい」「性は肉体的充足」「老年になると女性は性欲がなくなる」であった。

いずれも、「いる人」のほうが、性に対して、開放的、肯定的であることは、女性と同様であった。

#### ④交際相手のいる人といない人の違いと年代の差

先に述べたように、女性の場合と同様、交際相手のいる人と居ない人の差は、すべて、交際相手が居る人の方が、性に対して肯定的で、積極的であった。そして、全体的に見て4・50代の人たちは、6・70代の交際相手のいる人と同じ程度に、性的制約や、性役割から、開放されている。

表8で見ると、女性と同様に「交際と性」に差の傾向があるものが見られるが、他部門では、「性について口にしてはならない」「性はやすらぎ・安心感」と言う項目のみであった。「交際と性」については、男女ともに、差が見られるが、ここでのグルーピングの基準が「交際している人の有無」なので、きわめて当然の結果とも言えよう。

興味深いことは、「性はふれあい」と言う項目である。各年代とも、「いる人」と「いない人」で差は見られなかったが、年代間では5%水準で差が見られた。こうしたことは他の項目でも多いが、ここで注目すべきは、差の方向である。4・50代では、性はふれあいとする人たちが60－70%であるに対し、6・70代では、ふれあいではないとする人たちが60%以上なのである。一方、6・70代の女性を見ると、「いる人」は、「いない人」に対して優位に「ふれあい」とする人が多く、70%近い。生殖年齢が過ぎ、コミュニケーションとしての意義が大きくなるときに、交際相手がいてもいなくても、性はふれあいでないとする男性の方が多く、女性とずれていることは、今後の課題と言えよう。

### 3. 性生活の重要度と満足感

性意識の基本にある性生活の重要度(表9)と満足感(表10)について述べる。性の重要性に関していえば、一般的には「いる人」のほうが、重要に感じているだろうと思われるし、事実、男性の4・50代以外ではそうである。しかし、4・50代では、交際相手の有無に関係なく、重要であると考えている。男性にとっての性の意味と女性にとっての意味の違いが示唆される。また、性生活の満足



度に関しては、集団で見ると、「いる人」のほうが満足度が高い。しかし、同じ満足でも、交際相手がいても、[性があって満足]の人も[なくて満足の人]もあり、内容が不満の人も多いが、女性では、減らしたい人が居るに対し、男性ではいないことを考えると、その内容に関する不満も様々な種類があることが予想される。(ここに、自由記述やインタビューの意味があろう。)つまり、単に、交際相手が居るかどうか、その交際相手と性行為があるかどうかではなく、どのよう

な日常生活を送り、どのような性行為があるかによってその満足度は左右される。パートナーが求めるものを理解しようとする態度の重要性が浮かび上がってくる。

#### 4. 寂寞感に関して

孤独の問題は人間につきものであるが、高齢になると、身近な問題でもあろう。配偶者がいない場合、交際している人のあるなしがどのように影響しているのだろうか。表11に「単身の淋しさ、物足りなさを感じるか」

表9 性生活の重要さ D4 %

|            | 女性    |     |       |     | 男性    |     |       |     |
|------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|            | 4・50代 |     | 6・70代 |     | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|            | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない |
| 重要         | 36    | 4   | 29    | 9   | 48    | 50  | 48    | 24  |
| どちらかといえば重要 | 29    | 24  | 42    | 23  | 33    | 27  | 38    | 33  |
| あまり重要でない   | 29    | 47  | 21    | 16  | 14    | 10  | 15    | 24  |
| 重要でない      | 1     | 12  | 8     | 29  | 5     | 8   | 0     | 12  |
| 無回答        | 5     | 12  | 0     | 22  | 0     | 4   | 0     | 6   |
| 計          | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 |

P<0.05 P<0.05 有意差・傾向なし P<0.05

表10 性生活の満足度 D5 %

|             | 女性    |     |       |     | 男性    |     |       |     |
|-------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|             | 4・50代 |     | 6・70代 |     | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|             | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない |
| 望む性生活で満足    | 51    | 0   | 63    | 1   | 38    | 8   | 40    | 3   |
| 性生活が無いので満足  | 8     | 28  | 8     | 36  | 5     | 15  | 3     | 18  |
| 全く得られず欲求不満  | 4     | 11  | 0     | 5   | 5     | 27  | 13    | 33  |
| 不十分で不満      | 8     | 8   | 4     | 0   | 29    | 29  | 28    | 21  |
| 頻度はいい、内容に不満 | 11    | 0   | 4     | 0   | 19    | 2   | 10    | 6   |
| もっと減らしたい    | 3     | 0   | 4     | 0   | 0     | 0   | 0     | 0   |
| その他         | 7     | 28  | 8     | 14  | 5     | 13  | 3     | 3   |
| 無回答         | 9     | 24  | 8     | 44  | 0     | 6   | 5     | 15  |
| 計           | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 |

P<0.05 P<0.05 P<0.05 P<0.05

どうかの答えを示した。

女性では表に見られるように、4・50代では「いる人」「いない人」で差はなかったが、6・70代では「いる人」と「いない人」とでは有意差があった。その内容は、「いる人」のほうが「いない人」よりも、淋しさ、物足りなさを感じる人が高かったのだ。淋しさを感じる事が強いから、交際するとも考えられるが、4・50代の「いる人」「いない人」および6・70代の「いる人」は同じくらの率で「淋しさ」を感じており、6・70代の「いない人」が淋しさを感じるのが低いのである。これをどう解釈すればよいのか。

女性の交際相手はその半分が「有配偶者」(4・50代は53%, 6・70代は54%)であることと関係が深くないだろうか。寂寞感と、交際相手が、有配偶者であるかどうかのクロスは回答者の数の関係から出来ないが知りたいところである。6・70代では、「いない人」のほうがひとり暮らしが少なく、死別の率、出産率が高く、中絶率が低い。かなり大胆な推測であるが、結婚をし、良い結婚生活を送り、死別して配偶者はいないし、交際している人もいないが、肉親と同居しているという、クラシックな高齢者が、単身の物足りなさや、寂しさを感じないですんでいるのだら

うか。この点については、今後の調査、検討、が必要であるが、高齢者の精神的充足を考えると、単に、交際する人がいる、いないという単純な一つの物差しで計ることができないことを示している。

男性では6・70代で、「いない人」のほうが「いる人」よりも寂寞感を感じている人が多い。男性の交際相手は女性の場合と違って有配偶者でないことが多い。(6・70代で、20%) 交際相手が寂寞感を減少していると考えられる。しかし、それでも、女性と比較すると、女性の一番寂寞感の高い、6・70代の交際相手のいるグループよりも、寂寞感はかなり高い。どのグループを見ても男性の方が寂寞感が高い。一人暮らしの率は、男女で差がない。女性が孤独に対して耐性が高いのか、耐性を高める要素(親しい人や、趣味等々)を獲得しているのか。いづれにしても、高年者の孤独感の問題は、重要な問題であるので、更なる研究が必要である。

#### Ⅳ 結語

男女いづれも、交際相手のいるほうが、性に対して肯定的である。しかし、その差は、4・50代に比べて、6・70代のほうがはるかに大きい。性意識を4つの分野に分けて見る

表 11 単身の淋しさ、もの足りなさを感じることもあるか D2 %

|     | 女性    |     |       |     | 男性    |     |       |     |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|     | 4・50代 |     | 6・70代 |     | 4・50代 |     | 6・70代 |     |
|     | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない | いる    | いない |
| はい  | 53    | 57  | 59    | 36  | 81    | 75  | 73    | 82  |
| いいえ | 47    | 42  | 33    | 56  | 14    | 21  | 28    | 15  |
| 無回答 | 0     | 1   | 8     | 8   | 5     | 4   | 0     | 3   |
| 計   | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 | 100   | 100 |

有意差・傾向なし

P<0.05

有意差・傾向なし

有意差・傾向なし

と、女性の場合、世代による性意識の変化が起りやすい分野と起りにくい分野がある。

性生活を重要と考えたり、性生活への満足度は、交際相手がいる人の方が高いが、その内容は、さまざまなことが含まれており、交際相手や性生活の有無のみが決定因ではないことが示唆された。

寂寞感は総じて男性のほうが女性より強いが、高齢男性では、交際相手のいることが寂寞感を薄めていると考えられるが、高齢女性では、交際相手のいるグループのほうが寂寞感が強い。交際相手が有配偶者であるか、同居者はいるか等複数の要素を考える必要がある。

# 中高年単身者のセクシュアリティ ～配偶者がいる中高年との比較検討

医療法人社団光生会・介護老人保健施設  
ハートランドぐらんばぐらんま施設長

石 田 雅 巳  
田園調布学園大学  
荒 木 乳根子

## I はじめに

前回の配偶者がいる40～70代男女のセクシュアリティ調査に続き、今回は同世代の現在配偶者がいない男女を対象にアンケート調査を行った。序文にあるように、中高年の性意識、セクシュアリティをさまざまな見地から検討し、その実態を明らかにし、さらに高齢化の進む社会を男として女として、いかに「よく生きる」か、を考える一助となれどと願ったものである。

本論ではこの両調査結果の比較検討を試みる。

しかし、戦後60年を経て性に対する価値観はかなり変化しており、年代によって回答に込められた意味にも、それなりの相違はあるものと思われること、未婚、離婚、死別、また、それに遭遇した年齢等により、考え方はかなりの違いがあると推定されることから、有配偶者と単身者のセクシュアリティの比較は有意義であるものの、考察には困難あるいは偏りを伴うことも否めない。さらに、回答を寄せた人と、アンケートそのものを拒否した人では、その姿勢に極端に言えば対極的な観念を持つことも想定され、この結果が中高年の全体像を示すとは言えないだろう。

とはいえ、両者を比較すると、年代による差はもちろん、性生活における日常と非日常

の落差は大きく、興味ある結果を得たので報告したい。

## II 研究目的

本論文では有配偶者と単身者のセクシュアリティ調査結果から、比較出来る内容を抽出し、セクシュアリティのありようの違いを明らかにすることを目的とする。

## III 研究方法

### 1. 有配偶者のセクシュアリティ調査

#### 1) 調査時期

1999年10月から2000年3月

#### 2) 調査対象

関東在住で40代から70代までの配偶者のいる男女。

#### 3) 調査方法

共同研究者9名の友人、知人、研修会・講演会の聴衆、老人クラブ、老人大学、あるいは様々な機関、団体、会社に依頼した。調査票は切手を貼った返信用封筒とともに対象者に直接、あるいは、人を介して渡した。

#### 4) 調査票回収数

調査票回収は1083人（回収率35.8%）、有効回答は男性412人、女性601人、計1020人（有効回答回収率33.7%）だった。年代別対象者数は表1の通りである。



表 1 年代別対象者数

人 (%)

|      | 有配偶者      |           | 単身者       |           |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|      | 男性        | 女性        | 男性        | 女性        |
| 40代  | 91 (22)   | 222 (37)  | 38 (26)   | 65 (25)   |
| 50代  | 121 (29)  | 231 (39)  | 33 (23)   | 86 (33)   |
| 60代  | 112 (27)  | 100 (17)  | 37 (26)   | 52 (20)   |
| 70代  | 95 (23)   | 48 (8)    | 37 (26)   | 60 (23)   |
| 計    | 419 (100) | 601 (100) | 145 (100) | 263 (100) |
| 平均年齢 | 59.5 歳    | 53.6 歳    | 59.4 歳    | 58.4 歳    |

■小数点以下は四捨五入したので、表の数値を足しても 100 にならないことがある。以下の表も同様。

## 2. 単身者のセクシュアリティ調査

### 1) 調査時期

2002 年 9 月から 2003 年 12 月

### 2) 調査対象

主に関東在住で 40 代から 70 代までの配偶者がいない男女で、同棲者も含めた。

### 3) 調査方法

有配偶者の調査と同様であるが、さらにメディアを通じた回答者募集を行い、応募者には郵送で依頼した。

### 4) 調査票回収数

調査票回収は 439 人（回収率 23.9%）、有効回答は男性 145 人、女性 263 人、計 408 人（有効回答回収率 22.2%）だった。年代別対象者数は表 1 の通りである。

## 3. 結果の分析、提示

両調査の調査内容は同じ項目と異なる項目があるため、比較可能な同じ項目について検討した。年代による相違が顕著なものについては年代別の表を提示し、その他は男女別に全体的傾向の相違を図で示した。

なお、%の数値は小数点以下を四捨五入し、整数で示した。そのため合計は 100 になっていても表の数値を足すと 100 になら

ない場合がある。

## IV 結果および考察

### 1. 背景要因（表 2）

対象者の平均年齢は、男性はほぼ同じだが、女性は有配偶者の 40 代、50 代の割合が多く、単身者に比べ 4.8 歳若くなった。統計結果を全体としてみる場合、この点も考慮に入れる必要があろう。

就労状況では男性の場合、現在就労しているのは、有配偶者 70%、単身者 52% で、単身者の方にリタイア組が多い。女性の場合、現在就労しているのは、有配偶者 52%、単身者 61% で、男性と逆である。単身者は、男性は年金で生活出来るが、女性は難しいといったことがあるのだろうか。職業内容は男性の場合、有配偶者は管理的職業従事者、専門的・技術的職業の順で、単身者は専門的・技術的職業、管理的職業従事者の順で多く、女性の場合は両者とも専門的・技術的職業、事務従業者の順で多かった。

学歴は、男性は若干単身者の方が高いが、女性は違いがない。

健康の自覚は男女とも有配偶者の方が良好であり、その差は男性の方がやや大きい。単身男性の有病率は有配偶者より少ないが、

表2 基本的属性

%

| 項目             | 有配偶者 |    | 単身者 |    |
|----------------|------|----|-----|----|
|                | 男性   | 女性 | 男性  | 女性 |
| 就労の有無          |      |    |     |    |
| 就労経験あり         | 30   | 40 | 47  | 34 |
| 現在, 就労している     | 70   | 55 | 52  | 61 |
| 就労経験なし         | 0    | 5  | 1   | 4  |
| 無回答            | 0    | 0  | 1   | 0  |
| 最終学歴           |      |    |     |    |
| 中学校・尋常小学校等     | 14   | 7  | 7   | 8  |
| 高校・旧制中学校等      | 28   | 35 | 30  | 35 |
| 短大, 専門学校・旧制高校等 | 13   | 35 | 12  | 34 |
| 大学・大学院         | 45   | 22 | 50  | 22 |
| その他            | 0    | 0  |     |    |
| 無回答            | 0    | 1  | 1   |    |
| 健康の自覚          |      |    |     |    |
| 健康である          | 55   | 51 | 45  | 43 |
| だいたい健康である      | 38   | 41 | 41  | 49 |
| あまり健康ではない      | 6    | 7  | 10  | 6  |
| 健康ではない         | 1    | 1  | 4   | 1  |
| 無回答            | 0    | 0  | 0   | 1  |
| 通院治療中の病気       |      |    |     |    |
| 病気がある          | 51   | 38 | 44  | 38 |
| 病気はない          | 49   | 62 | 53  | 56 |
| 無回答            | 0    | 0  | 3   | 7  |

「あまり健康ではない／健康ではない」人が14%いた。

## 2. 性についての考え

### 1) 性についての考え方

各々の考え方に対して「はい」、「いいえ」で回答を求めたが、表3は「はい」と肯定した人の割合である。なお、無回答は平均で有配偶男性11%、単身男性10%、有配偶女性9%、単身女性15%であり、単身女性に無回答が多かった。

「性はコミュニケーションである」、「快楽である」、「楽しい」という考えについてみると、男女ともに60代、70代で有配偶者と

単身者の差が目立ち、有配偶者は肯定が単身者以上に減少する。性機能が低下する時期、配偶者との関係で性に直面せざるを得ないものの、性生活がうまく行かなくなったり、停止したりするからだろうか。特に有配偶者女性の場合、「快楽である」、「楽しい」について「いいえ」と否定する人が50代には36%、32%と目立って多くなっており、この年代で性生活上の問題が生じてくるのが伺える。

「性について口にしてはいけない」、「性は不潔で汚らしい」、「性の目的は子どもを生むことである」、「閉経後は性生活をやめるのが自然だ」の肯定は全体に少なく、有配

表 3-1 性についての考え方：男性

%

|                    | 有配偶者 |     |     |     |    | 単身者 |     |     |     |    |
|--------------------|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|                    | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 性はコミュニケーションである     | 88   | 88  | 76  | 65  | 80 | 84  | 91  | 84  | 81  | 85 |
| 性は快楽である            | 89   | 88  | 72  | 62  | 78 | 84  | 94  | 84  | 78  | 85 |
| 性は楽しいものだ           | 91   | 93  | 86  | 75  | 86 | 79  | 94  | 89  | 92  | 88 |
| 性について口にしてはいけない     | 9    | 10  | 9   | 23  | 12 | 11  | 3   | 0   | 14  | 7  |
| 性は不潔で汚らしい          | 1    | 2   | 0   | 1   | 1  | 3   | 0   | 5   | 0   | 2  |
| 性の目的は子供を産むことである    | 13   | 11  | 11  | 16  | 12 | 24  | 12  | 9   | 16  | 18 |
| 閉経以後は性生活をやめるのが自然だ  | 4    | 7   | 5   | 6   | 6  | 8   | 0   | 8   | 3   | 5  |
| 老年になったら男性は性欲がなくなる  | 12   | 21  | 28  | 30  | 23 | 26  | 21  | 3   | 16  | 17 |
| 老年になったら女性は性欲がなくなる  | 15   | 24  | 28  | 34  | 25 | 32  | 24  | 16  | 19  | 23 |
| 性は男性がリードするものだ      | 28   | 31  | 40  | 60  | 39 | 29  | 27  | 30  | 57  | 36 |
| 夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ | 29   | 32  | 36  | 38  | 34 | 24  | 36  | 43  | 43  | 37 |
| 女性から求めるのは恥ずかしいことだ  | 4    | 2   | 6   | 11  | 6  | 5   | 0   | 5   | 5   | 4  |

偶者と単身者で目立った違いは認められない。ただ「性の目的は子どもを生むことである」は、単身者の40代男性で24%と他と比較して多く、「結婚して子どもを作らねばならない」というプレッシャーがあるのではないかと推測される。40代の単身男性は「性が楽しい」という考えも同世代の有配偶男性に比べて低かった。

「老年になったら男性は性欲がなくなる」、「老年になったら女性は性欲がなくなる」という考えは、男性は40代では単身者に多いが、60代、70代は有配偶者に多くなっている。女性の場合はどの年代でも有配偶者の方が多い。有配偶者は夫、妻との性生活の中で、倦怠感を抱いているのか、性欲の

減少を認識しているようである。単身男性の60代は「男性は性欲がなくなる」が3%と極端に少ない。データが少ない故もあろうが、単身男性の性的活力と男の見栄が伺われる。

「性は男性がリードするものだ」、「夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ」、「女性から求めるのは恥ずかしいことだ」については特に顕著な差は見られない。ただし、40代単身女性は「男性がリードするものだ」、「女性から求めるのは恥ずかしいことだ」という考えが他より少なく、「口にしてはいけない」という考えは皆無、「女性は性欲がなくなる」も少なかった。40代の単身女性は性についてのタブー意識、保守的な考えが少

表 3-2 性についての考え方：女性

%

|                    | 有配偶者 |     |     |     |    | 単身者 |     |     |     |    |
|--------------------|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|                    | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体 |
| 性はコミュニケーションである     | 87   | 84  | 68  | 56  | 80 | 86  | 84  | 85  | 65  | 80 |
| 性は快楽である            | 73   | 58  | 48  | 33  | 60 | 74  | 69  | 60  | 43  | 62 |
| 性は楽しいものだ           | 73   | 62  | 54  | 48  | 64 | 75  | 70  | 65  | 57  | 67 |
| 性について口にしてはいけない     | 9    | 10  | 19  | 29  | 13 | 0   | 9   | 19  | 35  | 15 |
| 性は不潔で汚らわしい         | 1    | 2   | 4   | 2   | 2  | 2   | 4   | 4   | 3   | 3  |
| 性の目的は子供を産むことである    | 10   | 6   | 8   | 15  | 9  | 12  | 11  | 19  | 18  | 14 |
| 閉経以後は性生活をやめるのが自然だ  | 5    | 4   | 10  | 13  | 6  | 2   | 7   | 6   | 8   | 6  |
| 老年になったら男性は性欲がなくなる  | 11   | 16  | 26  | 31  | 17 | 2   | 9   | 17  | 20  | 11 |
| 老年になったら女性は性欲がなくなる  | 27   | 33  | 50  | 46  | 35 | 11  | 29  | 42  | 40  | 30 |
| 性は男性がリードするものだ      | 25   | 24  | 41  | 42  | 29 | 14  | 23  | 39  | 47  | 29 |
| 夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ | 14   | 26  | 31  | 42  | 23 | 17  | 15  | 27  | 40  | 24 |
| 女性から求めるのは恥ずかしいことだ  | 14   | 15  | 19  | 31  | 17 | 5   | 13  | 23  | 25  | 16 |

ないことが伺われる。

## 2) 「配偶者以外の異性」・「配偶者のいる異性」との交際についての考え

有配偶者の調査では「自分が配偶者以外の異性と」、単身者の調査では「自分が配偶者のいる異性と」親密な付き合いをすることについてどう思うかを聞いた。従って、単純に比較はできないがえて比べてみた。

結果は図 1-1、図 1-2 の通りで、男女ともに有配偶者の方が「付き合うべきではない」という考えが多かった。その分単身者には「家庭に迷惑がかからなければよい」、「好きなら付き合うのが自然だ」という考えが多い。

年代別に見ると、有配偶男性はどの年代でも「付き合うべきではない」が最多なのに対し、単身の 50 代男性は「性的関係がないならかまわない」、「家庭に迷惑がかからなければよい」の方が多く、60 代男性は「家庭に迷惑がかからなければよい」が最多である。単身の 70 代男性は「好きなら付き合うのが自然だ」が 22% と他の年代に比して多いのが興味深い。女性は単身者も「付き合うべきではない」が最多ではあるが、有配偶者は次に「性的関係がないならかまわない」が多いのに比べ、単身の 40 代、50 代は「家庭に迷惑がかからなければよい」が多くなっていく。50 代は「好きなら付き合うのが自然だ」も同様に多い。



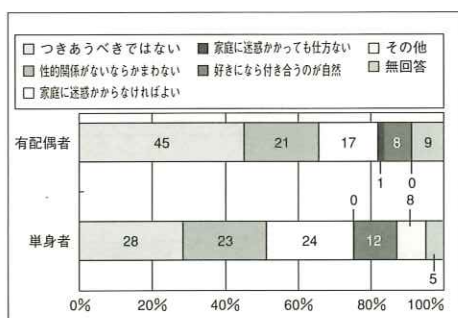


図 1-1 配偶者以外の異性／配偶者のいる異性との付き合い：男性

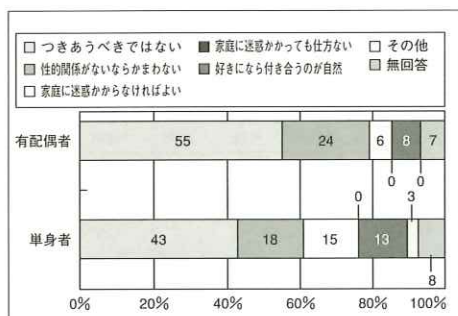


図1-2 配偶者以外の異性／配偶者のいる異性との付き合い：女性

単身者は有配偶者と異なり、自分のパートナーへの裏切りという側面を含まないだけに「配偶者のいる異性」との交際についてのタブー意識が弱いようである。あるいは、現在の交際や交際願望を合理化しようとしているとも考えられる。

現実には配偶者で配偶者以外の異性と親密な付き合い（性交渉を伴うとは限らない）がある割合は男性11%、女性5%であった。単身者は交際相手がいる人に限ると、相手に配偶者がいる割合が男性21%、女性53%であったが、交際相手がいない人も含めると、配偶者がいる異性との交際は男性9%、女性20%である。

## 3. 最近1年ほどの生活／性生活について

1) パートナーとの身体的触れ合いの有無

有配偶者は全対象に、単身者は交際相手がいる人対象に「よくする身体的触れ合い」について聞いた。図2-1、図2-2のように有配偶男女に比べて、単身男女はどの身体的触れ合いも多い。特に「手をつなぐ」「身体に触る」「キスをする」「抱擁する」など多く、単身者は有配偶者よりパートナー間での身体的な愛情表現が豊かであることが分かる。「ほとんどない」は10～13%に過ぎない。有配偶者からは結婚前は身体的触れ合いが多かったが、結婚後はしなくなったとの声が多い。今回の結果を見ると、結婚前は若かったから身体的触れ合いがあった、というより、中高年になっても交際相手という関係性であれば身体的触れ合いがあることが分かる。

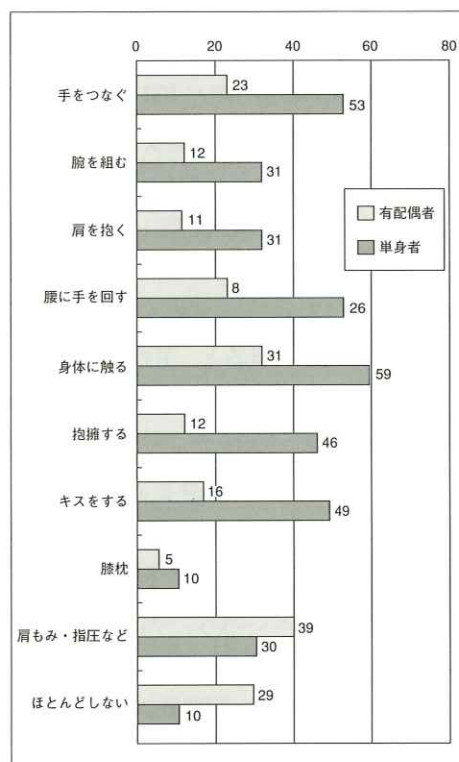


図 2-1 身体的な触れ合い：男性（複数回答）

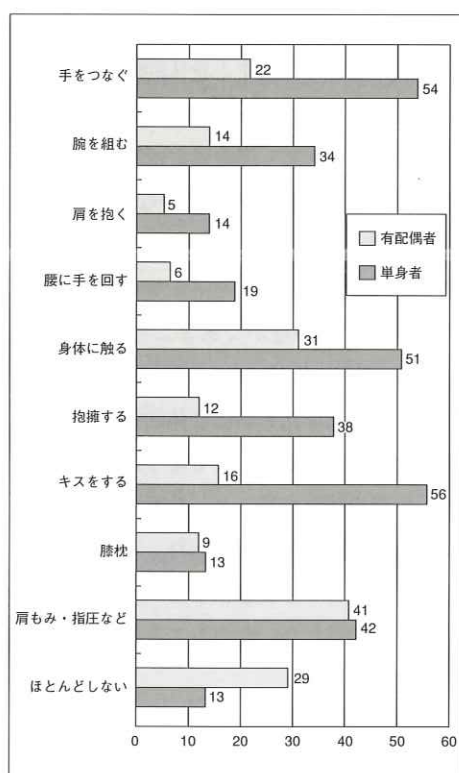


図2-2 身体的な触れ合い：女性（複数回答）

## 2) 性的欲求と性生活の重要度

若い頃に比べた性的欲求を図3-1、図3-2に示した。男性は有配偶者にくらべ単身者の方が性的欲求を保持しており、女性も性欲を保持している人は単身者の方に多いといえそうだ。年代別に見ると、男性は単身者の50代～70代が有配偶者より欲求が強い。50代では「若い頃より増えた／同じくらい」が有配偶者15%に対し、単身者36%である。60代、70代では有配偶者は「大いに減少」が最多なのに対し、単身者は「少し減少」が最多である。女性では特に40代単身者の欲求の強さが目立っている。「若い頃より増えた／同じくらい」が有配偶者20%なのに対し、単身者は51%だった。

性生活がどのくらい重要が聞いたのが、図

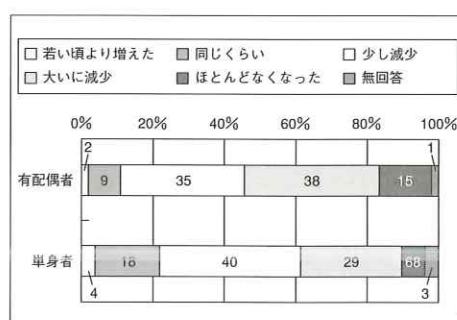


図3-1 若い頃と比べた性的欲求：男性

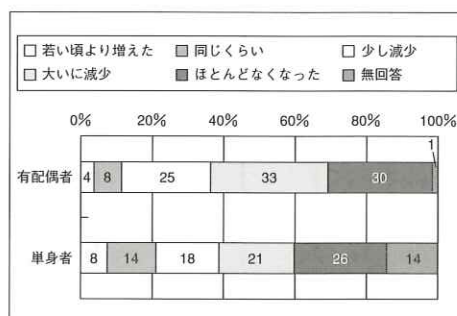


図3-2 若い頃と比べた性的欲求：女性

4-1、図4-2である。男性は単身者の方が重要と考えている人が多いが、女性は有配偶者の方重視している人が多い。

単身男性の場合、56%は交際相手のいないことを考慮すると、より強く性的欲求を意識し、重要視することが考えられる。特に単身男性の50代、60代は性生活を重視している。単身女性は61%に交際相手がいないが、そのことは男性のような形では影響していないようだ。女性は特に50代以降、配偶者がいると性生活を重視せざるを得ないが、パートナーがいなければ特に重要ではない、ということかもしれない。

## 3) 性交頻度およびマスターベーション頻度

過去1年間の性交頻度を聞いた。表4-1、

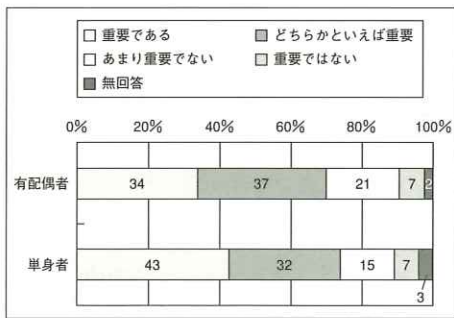


図 4-1 性生活の重要度：男性

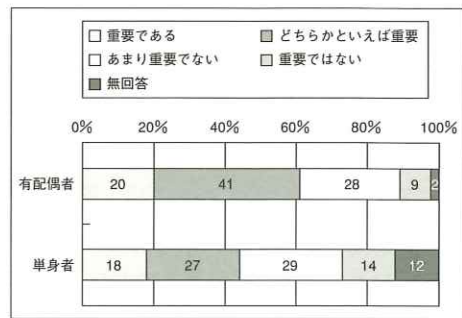


図 4-2 性生活の重要度：女性

表 4-1 性交頻度：男性

%

|        | 有配偶者 |     |     |     |     | 単身者 |     |     |     |     |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 週2回以上  | 6    | 3   | 4   | 0   | 3   | 8   | 3   | 3   | 0   | 3   |
| 週1回    | 17   | 18  | 12  | 3   | 13  | 5   | 6   | 8   | 8   | 7   |
| 月2～3回  | 29   | 26  | 17  | 10  | 21  | 8   | 21  | 22  | 14  | 16  |
| 月1回    | 22   | 18  | 16  | 11  | 17  | 13  | 3   | 19  | 14  | 12  |
| 年数回    | 18   | 17  | 20  | 19  | 18  | 16  | 12  | 11  | 3   | 10  |
| 1年全くない | 7    | 16  | 30  | 47  | 25  | 40  | 52  | 35  | 59  | 46  |
| 無回答    | 3    | 3   | 2   | 11  | 4   | 11  | 3   | 3   | 3   | 5   |
| 計      | 100  | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表 4-2 性交頻度：女性

%

|        | 有配偶者 |     |     |     |     | 単身者 |     |     |     |     |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| 週2回以上  | 5    | 2   | 1   | 0   | 3   | 3   | 6   | 0   | 0   | 3   |
| 週1回    | 19   | 13  | 4   | 0   | 13  | 12  | 4   | 8   | 0   | 6   |
| 月2～3回  | 25   | 24  | 19  | 10  | 23  | 17  | 11  | 4   | 2   | 9   |
| 月1回    | 18   | 16  | 11  | 8   | 15  | 17  | 12  | 10  | 3   | 11  |
| 年数回    | 20   | 17  | 19  | 10  | 18  | 9   | 7   | 4   | 3   | 6   |
| 1年全くない | 10   | 23  | 36  | 48  | 23  | 42  | 58  | 69  | 70  | 59  |
| 無回答    | 4    | 5   | 10  | 23  | 7   | 0   | 4   | 6   | 22  | 7   |
| 計      | 100  | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表4-2のように「この1年全くない」のは男女ともに単身者に多い。男性は配偶者25%に対し単身者46%、女性は配偶者23%に対し単身者59%である。前述したように単身者は男性56%、女性61%に交際相手が

いないので（これは「現在」であり、過去1年に「いた」可能性もあるが）、当然の事ともいえよう。

性交渉があった部分のみ比較すると、男性は有配偶者、単身者とも月2～3回が最多で

あるが、有配偶者は60代70代になると年数回が最多なのに対し、単身者は月2～3回が多い。女性は有配偶者が月2～3回が最多なのに対し、単身者は月1回が多い。

マスターベーションについては、表5-1、表5-2の通りである。全体としてみると男女ともに有配偶者より単身者の方が「する」人が多い。特に男性は「よく／ときどきする」が有配偶者は21%なのに対し、単身者は42%と多い。有配偶者、単身者とも年代が高くなるに従い減少しているが、男女ともどの年代でも単身者の方が多く「する」と回答している。

設問に少し違いがあるので一概に言えないが、何らかの性的欲求不満があると回答しているのは男性の場合、有配偶者51%、単身者55%と大差ないが、女性は有配偶者31%、単身者15%と差があった。有配偶女

性は常にパートナーがいるだけに、性生活上の不満を意識させられるのかもしれない。

欲求不満の解消方法としてマスターベーションを上げているのは単身者の方に多く、男女とも半数が上げていた。

#### 4) 性的コミュニケーションと相手からの理解

性的感情や欲求について互いに伝え合うか、性的コミュニケーションを聞いた。有配偶者は全員に、単身者は過去1年間に性交渉があった人にその相手との関係で聞いたので、一概に比べられないが、図5-1、図5-2のように、単身者の方が遙かに伝え合う人が多いことが分かる。有配偶者は男性33%、女性35%が「伝え合う」のに対し、単身者は男性70%、女性84%が「伝え合う」としている。また、有配偶者の場合は「男性のみ

表5-1 マスターベーション頻度：男性

%

|        | 有配偶者 |     |     |     |     | 単身者 |     |     |     |     |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| よくする   | 15   | 4   | 4   | 1   | 6   | 32  | 18  | 11  | 5   | 17  |
| ときどきする | 18   | 20  | 12  | 8   | 15  | 32  | 27  | 24  | 16  | 25  |
| まれにする  | 39   | 39  | 26  | 23  | 32  | 16  | 33  | 27  | 27  | 26  |
| しない    | 24   | 36  | 50  | 57  | 42  | 11  | 12  | 30  | 41  | 23  |
| 無回答    | 4    | 2   | 9   | 11  | 6   | 11  | 9   | 8   | 11  | 10  |
| 計      | 100  | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

表5-2 マスターベーション頻度：女性

%

|        | 有配偶者 |     |     |     |     | 単身者 |     |     |     |     |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 40代  | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 全体  |
| よくする   | 0    | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
| ときどきする | 15   | 5   | 2   | 0   | 8   | 28  | 14  | 2   | 2   | 12  |
| まれにする  | 33   | 27  | 14  | 8   | 26  | 39  | 31  | 25  | 18  | 29  |
| しない    | 48   | 63  | 70  | 69  | 59  | 19  | 42  | 52  | 48  | 40  |
| 無回答    | 4    | 5   | 14  | 23  | 8   | 15  | 12  | 21  | 32  | 19  |
| 計      | 100  | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |



伝える」が、比較的多いが単身者ではわずかなである。

そのため、「相手はあなたの性に対する欲求や身体の状態について、分かってくれているか」を聞いた相手からの理解も、有配偶者より単身者の方が「分かっている」という回答が多い（図6-1、図6-2）。特に女性では有配偶者と単身者の差が顕著で、有配偶者の場合、41%が「あまり分かっていない／分かっていない」としているのに対し、単身者は「あまり分かっていない」の17%のみである。男性より女性の方が性交渉で満足を得るのは難しい。女性にとって、相手の理解を得るために性的コミュニケーションがいかに大切か、が示されている。

## 5) 性交渉の有り様

表6は過去1年間に性交渉があった人にそ

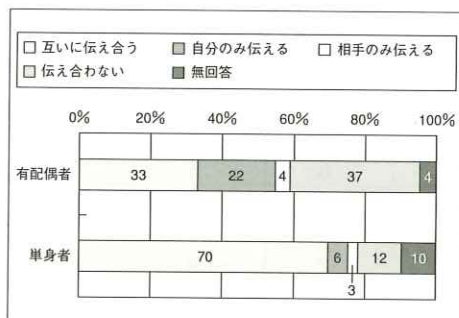


図5-1 性的コミュニケーション：男性

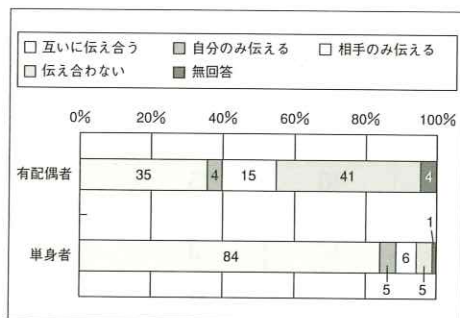


図5-2 性的コミュニケーション：女性

の有り様について、さまざまな点から聞いた結果をまとめたものである。

まず、「性交渉をどちらから求めるか」を見ると、有配偶者、単身者とも圧倒的に男性からが多いが、有配偶者に比べ、単身者の方が「男性から」が少なく、その分「だいたい男性から」が多くなっているのが分かる。「女性から」も単身者はやや多く、有配偶女性に比べ、単身女性の方が主体的に求める人が多いことが分かる。

「前戯」は、有配偶者に比べ単身者は「いつもする」人の増加が目立つ。また、有配偶者の場合は男性の53%が「いつもする」と回答しているのに、女性は38%と男女での差が大きく、男性は「しているつもり」でも女性の評価は異なるのではないかと、興味深いところだったが、単身者の場合は男女ともに67%が「いつもする」と回答しておりズ

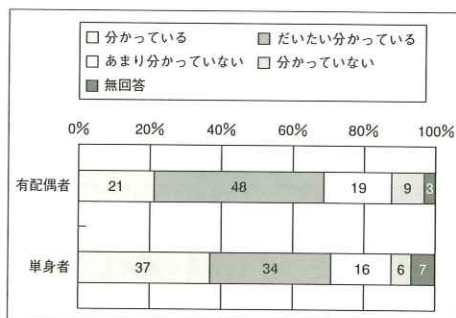


図6-1 相手のあなたへの理解：男性

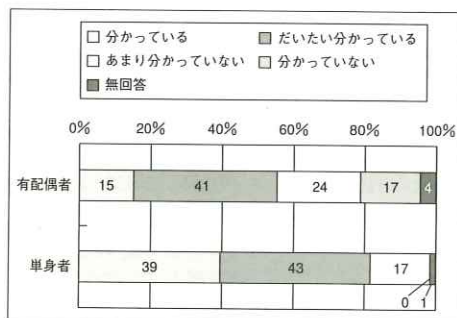


図6-2 相手のあなたへの理解：女性

表6 性交渉の有り様

| 項目         |            | 男性   |     | 女性   |     |
|------------|------------|------|-----|------|-----|
|            |            | 有配偶者 | 単身者 | 有配偶者 | 単身者 |
| どちらから求めるか  | 自分から       | 60   | 45  | 3    | 3   |
|            | だいたい自分から   | 29   | 41  | 6    | 9   |
|            | だいたい相手から   | 4    | 4   | 34   | 43  |
|            | 相手から       | 0    | 4   | 52   | 40  |
|            | 無回答        | 7    | 6   | 6    | 5   |
| 前戯の有無      | いつもする      | 53   | 67  | 38   | 67  |
|            | することが多い    | 32   | 26  | 38   | 21  |
|            | しないことが多い   | 7    | 4   | 12   | 6   |
|            | しない        | 3    | 0   | 3    | 2   |
|            | 無回答        | 5    | 3   | 9    | 3   |
| 性交時間       | 5分以内       | 4    | 0   | 5    | 1   |
|            | 10分程度      | 26   | 14  | 23   | 8   |
|            | 20分程度      | 40   | 26  | 41   | 34  |
|            | 30～60分     | 22   | 44  | 23   | 36  |
|            | 1時間以上      | 1    | 14  | 1    | 18  |
|            | 無回答        | 7    | 3   | 8    | 3   |
| 肉体的満足感     | いつも得られる    | 34   | 29  | 13   | 25  |
|            | だいたい得られる   | 53   | 62  | 51   | 55  |
|            | あまり得られない   | 7    | 6   | 25   | 15  |
|            | 得られない      | 1    | 1   | 5    | 2   |
|            | 無回答        | 6    | 3   | 6    | 3   |
| 精神的満足感     | いつも得られる    | 26   | 21  | 12   | 39  |
|            | だいたい得られる   | 62   | 66  | 58   | 51  |
|            | あまり得られない   | 6    | 7   | 20   | 5   |
|            | 得られない      | 1    | 1   | 4    | 1   |
|            | 無回答        | 5    | 6   | 6    | 5   |
| 相手の満足感     | 満足している     | 16   | 26  | 19   | 36  |
|            | だいたい満足している | 58   | 51  | 61   | 55  |
|            | あまり満足していない | 17   | 7   | 8    | 0   |
|            | 満足していない    | 0    | 3   | 2    | 0   |
|            | わからない      | 4    | 11  | 4    | 6   |
|            | 無回答        | 5    | 3   | 5    | 3   |
| 相手の満足感の重要度 | 重要である      | 55   | 69  | 40   | 60  |
|            | あるていど重要    | 39   | 25  | 48   | 36  |
|            | あまり重要ではない  | 1    | 3   | 6    | 1   |
|            | 重要ではない     | 0    | 1   | 1    | 0   |
|            | 無回答        | 5    | 3   | 5    | 3   |
| 避妊の有無      | 妊娠の心配がない   | 42   | 40  | 35   | 45  |
|            | 避妊している     | 29   | 37  | 39   | 33  |
|            | 時により避妊しない  | 3    | 12  | 3    | 6   |
|            | 避妊していない    | 15   | 7   | 15   | 15  |
|            | 無回答        | 11   | 4   | 8    | 2   |

レがない。前戯の種類をみると、どの前戯も単身者の方がより多く「する」と回答しているが、特に「口唇へのキス」、「性器へのキス」は差が開き、単身者に多い。

前戯の有無とも関係するが、「前戯から終了まで性交渉に要する時間」をみると、有配偶者に比べ、単身者の方が時間をかけている。有配偶者は「5分以内／10分程度」が28～30%あり、「20分程度」が最多なのに対し、単身者は「5分以内／10分程度」が9～14%で、「30～60分」が最多である。

「十分な肉体的満足感（オーガズム・射精）が得られるか」については、男性の場合、有配偶者の方に「いつも得られる」がやや多いが、女性は両者の差が拡大し、単身者の方が満足感を得ている人が多い。「あまり得られない／得られない」が有配偶者は30%いるが、単身者では17%に減少する。

性交渉のとき「十分な精神的満足感が得られるか」も肉体的満足感と同様の傾向を示し、男性は有配偶者の方がやや満足度が高く、女性は単身者の満足度が高い。男性とは逆に女性は肉体的満足感より精神的満足感の方が良好だが、特に単身女性は36%が精神的満足感を「いつも得られる」としており、「あまり得られない／得られない」は6%に過ぎない。男性は肉体的にも精神的にも有配偶者に比べ、単身者の方がやや満足度が低くなるのは興味あるところである。配偶者という安定した関係の中での方が満足感を得やすいのだろうか。または単身男性の場合、交際相手以外に売買春や行きずりの相手との性交渉も含まれてくるためかも知れない。

「相手が性交渉で満足していると思うか」聞いた。男女ともに有配偶者より、単身者の

方が相手は「満足している」と思っている。特に単身女性の91%は相手が満足していると思っており、「あまり満足していない／満足していない」は皆無だが、単身女性の性交渉の相手はほとんど交際相手であることとも関係していよう。

「相手が満足を感じることがあなたにとって重要か」も聞いたが、男女ともに有配偶者より、単身者の方が相手の満足感を重視していた。また、男女比では有配偶者、単身者とも男性の方が相手の満足感を重要だと思っていた。

「避妊」についてみると、有配偶者も単身者も20%前後が「時により避妊しない／避妊しない」と回答しているが、男性は単身者の方が「避妊している」割合が高く、女性は有配偶者の方がやや避妊している割合が高い。

## 6) 性生活で望むこと

「性生活に関して相手に望むこと」は過去1年間に性交渉があった人を対象に複数回答で聞いた（表7）。性生活への積極的な要望はすべて、男女ともに有配偶者より単身者の方がより多く望んでいた。特に女性の場合、単身者が有配偶者より20ポイント以上高い項目として、「雰囲気作りをする」、「性交以外の愛撫を楽しむ」、「性交の後、余韻を楽しむ」が上がっており、単身女性の性交渉自体に対する積極的な姿勢が感じられた。

## 4. 性障害について

### 1) 性交痛に関連して（過去1年間に性交渉があった女性対象）

性交痛があるのは有配偶女性57%、単身

表7 性生活で相手に望むこと

%

|              | 男性   |     | 女性   |     |
|--------------|------|-----|------|-----|
|              | 有配偶者 | 単身者 | 有配偶者 | 単身者 |
| 日常的に愛情を示す    | 46   | 49  | 55   | 65  |
| 雰囲気作りをする     | 37   | 49  | 31   | 60  |
| 性交以外の愛撫を楽しむ  | 25   | 48  | 32   | 53  |
| 性交に変化をつける    | 23   | 37  | 9    | 17  |
| 性交の後、余韻を楽しむ  | 13   | 27  | 20   | 54  |
| 性交の満足を大切にす   | 38   | 53  | 38   | 46  |
| 性交の時間を短くする   | 1    | 0   | 3    | 2   |
| 性交にもっと時間をかける | 6    | 15  | 5    | 7   |
| 性交回数を減らす     | 1    | 0   | 6    | 2   |
| 性交回数を増やす     | 13   | 14  | 5    | 5   |
| 性交をやめる       | 0    | 0   | 2    | 0   |
| 望むことは別でない    | 10   | 11  | 16   | 7   |
| その他          | 1    | 3   | 1    | 1   |

者47%で、有配偶女性の方がやや性交痛がある人が多く、その頻度も高いようである(表8)。また、有配偶女性は「どちらかといえば痛みが強い／痛みが強い」という人が25%いるのに対し、単身者は2%に過ぎず、単身女性は多少の痛みがあっても満足感の方が強いことが分かる。

性的コミュニケーションは単身者の方が良好だったこととも関連すると思われるが、痛みを「伝える」のは単身者に多い。

HRTやゼリーの使用についての考えは有配偶者が若干積極的だが、大差ない。

## 2) 性交困難に関連して(男性対象)

性機能への不安は40代男性では単身者にやや強く、50代男性では有配偶者にやや強い(表9)。ある程度継続した性交困難に「現在なっている」人はどの年代でも有配偶者に多い。これは単身者には交際相手がいらない人も多いので、直面していないということでもあろう。単身の60代男性には「過去になっ

た」という人が43%と多い。

バイアグラや補助器具の使用はわずかだが、「使用中」が有配偶者は1%に過ぎないのに単身者は9%で興味深い。

## V まとめ

以上、様々な視点から、男女の性行動について有配偶者、単身者を比較検討してきたが、次のようなことがいえよう。

1. 性についての考え方では、性を「コミュニケーション／快楽／楽しい」とする肯定が、有配偶者では年代が高くなるにつれ目立って減少した。特に有配偶女性は「快楽／楽しい」の否定が50代に多くなり気になるところである。これと関連すると思われるが、有配偶者は「老年になったら性欲はなくなる」という認識が多い。

「配偶者以外の異性」・「配偶者のいる異性」との交際については、有配偶者の方にタブー意識が強かった。単身者と異なり、自分の



表 8 性交痛に関連して

|                               |                 | 有配偶者 | 単身者 |
|-------------------------------|-----------------|------|-----|
| 性交痛の有無<br>(過去1年間に性交渉があつた女性対象) | いつもある           | 5    | 1   |
|                               | だいたいある          | 8    | 6   |
|                               | ときどきある          | 44   | 40  |
|                               | ない              | 38   | 52  |
|                               | 無回答             | 5    | 1   |
| 満足感との比較<br>(性交痛がある女性対象)       | 満足感が強い          | 20   | 31  |
|                               | どちらかといえば満足感     | 41   | 57  |
|                               | どちらかといえば痛み      | 20   | 0   |
|                               | 痛みが強い           | 5    | 2   |
|                               | 無回答             | 15   | 10  |
| 痛みを相手に伝えるか<br>(性交痛がある女性対象)    | 伝える             | 41   | 55  |
|                               | ある程度伝える         | 35   | 21  |
|                               | あまり伝えない         | 10   | 14  |
|                               | 伝えない            | 4    | 0   |
|                               | 無回答             | 10   | 10  |
|                               | 使用の必要がない        | 33   | 33  |
| HRT やゼリーの使用<br>(性交痛がある女性対象)   | 使用してみたい         | 39   | 36  |
|                               | 使用したくない         | 11   | 17  |
|                               | 使用しており楽になった     | 1    | 2   |
|                               | 使用しているがあまり変わらない | 0    | 0   |
|                               | その他             | 0    | 2   |
|                               | 無回答             | 16   | 10  |

表 9 性交困難に関連して

|          |           | 有配偶者 | 単身者 |
|----------|-----------|------|-----|
| 性機能への不安  | 不安がある     | 14   | 17  |
|          | ときどきある    | 26   | 21  |
|          | あまりない     | 27   | 25  |
|          | 不安はない     | 28   | 31  |
|          | 無回答       | 4    | 6   |
| 性交困難の経験  | 経験がない     | 50   | 57  |
|          | 過去になった    | 22   | 25  |
|          | 現在なっている   | 20   | 12  |
|          | 無回答       | 8    | 7   |
| バイアグラの使用 | 使用の必要がない  | 43   | 35  |
|          | 使用してみたい   | 18   | 17  |
|          | 使用したくない   | 19   | 19  |
|          | 使用中、効果がある | 1    | 8   |
|          | 使用中、変わらない | 0    | 1   |
|          | その他       | 2    | 4   |
|          | 無回答       | 16   | 17  |

パートナーへの裏切りという側面があるので、当然とも言えるかも知れない。

2. 性的欲求は単身の方が保持していたが、過去1年間に性交渉をもった割合は安定したパートナーのいる有配偶者の方が多かった。ただし、単身男性の60代、70代は活発で、月1回以上の性交渉が有配偶者より多かった。マスターベーションは単身の方が活発で、欲求不満解消の方法としていた。

3. パートナーとの身体的触れ合いは単身者の方が多く、有配偶者より身体的な愛情表現が豊かであることが分かった。また、性的コミュニケーションも有配偶者より単身の方が遙かに多かった。そのため、単身者の方が性的欲求や身体状況についてパートナーからの理解が得られていた。この点では特に女性において差が際だっていた。

4. 性交渉の有り様をみると、有配偶者より単身者の方がやや女性から求める割合が多い。また、単身者の方が前戯をいつもする人が多く、その内容は豊かであり、性交渉に要する時間の長い。そのため、有配偶女性に比べ単身女性は肉体的満足感も精神的満足感も得ている人が多い。単身者の方が相手の満足感を重視していることとも関係していよう。全体に単身者の方が特に女性にとっては良好な性交渉になっているようだ。

5. 性生活で相手に望むことをみると、単身者の方が性生活への積極的な要望が多い。特に女性の差は大きく、単身女性の性交渉に対する積極的な姿勢が感じられた。

6. 女性の性交痛は、有配偶女性の方によく、また、痛みが強い人が多かった。性交渉の有り様や性的コミュニケーションが影響していよう。

有配偶者は日常生活の中で、さまざまな要素を含む制約、夫婦間の肉体的、精神的齟齬、生活の惰性、生活の一種の安定感などにより新鮮な情念を次第に低下させていくようである。それに対し、単身者は心身共に性活動は活発かつ多彩であった。刹那的であるかも知れないが、非日常性であるが故に、相手に対する思いやり、感情移入が強いのであろう。

言われつくしていることだが、男女の心身の差を知り、理解することが「よりよい男と女の関係」を生むことである。男女を人間的関係性としてとらえていける場合は、肉体的老化をありのままに受け止めて、「全人的な性」に昇華し得るであろうが、その努力を怠れば自分のみでなく、多くの社会的不幸につながることになる。

研究目的に述べたように、今回の調査、報告が高齢社会の「Well-beingな人間関係」の形成に役立てば幸いである。

# 中高年単身者のセクシュアリティ ～男性の事例・自由記述を通して

医療法人中林病院産婦人科

堀 口 貞 夫

## I はじめに

現在の男性の中高年世代は、性的欲望を満たすのは「結婚した男女の間か、そうでなければ買売春の場で」という性的規範の中にあった時代から、「婚前交渉もごく普通の事」という時代への移り変わりの時代に生きてきたと言えるのではないだろうか。

性についての考え方、行動、反応はもともと一人一人違うと言えるくらい違うものであらうと思われるが、特に社会的規範が無くなってしまったような現在の状態のもとでは、「日本人のセクシュアリティについて」をまとめる事は不可能な事かも知れない。

中高年単身者を戦後生を受けた世代（40～50才）と、それ以前に公教育を受け始めていた世代（60～70才）の二つに分けて、アンケートの統計では現わしきれない部分を自由記述欄に書いて頂いた事や直接のインタビューを中心に、明らかにしてみようと思う。以下本文の「」内は自由記述された言葉である。

此の年代の男性単身者がどのようなセクシュアリティの中にいるかについて、自由記述を書いて下さった方々についての概略を併記した。既に荒木、石田によって詳述されているが、その数字とは多少異なる事を御承知頂きたい。

## II 40～50才代の独身男性（29名）

### 1. 自由記述を書いた方の背景

結婚経験のない人は18名で此の中には同棲経験のある人が2名含まれている。結婚経験のある人は11名で、内訳は離婚が8名であり、死別の人は3名である。

此の中で結婚したいと思っている人は、未婚者では16名、離別者では5名、死別では1名、全体では76%（22/29）ある。

その結婚したい理由として、殆どすべての人82%（18/22）が「精神的安定と充足が欲しい」ことを挙げており、その他に「病気の時などに助け合える」ことが6名、「性生活を安定させたい」人が5名、「家事や身の回りの世話をする人が欲しい」人が4名、「経済的基盤を分かち合いたい」、「自分の家庭・家族を持ちたい」、「現在の交際相手を満足させたいと思っている」が夫々1名ずつである。

結婚を望んでいない人は7名24%、未婚2名・離婚3名・死別2名で、その理由は、「自由を束縛されたくない」が5名、「経済的な問題（年金や遺産相続など）」2名で、一人で居る事に寂しさや不便を感じないという人1名である。

結婚したい人が必ずしも性が人生にとって重要と思っている訳ではないことは「私にとって性生活は重要である」と答えている人は55%（12/22）程度であり、また結婚したい理由の中に「性生活を安定させたい」人

が5名に過ぎない四分の一弱（5/22）であることから見ても判る事である。

自分にとって性生活はどのくらい重要かについては、15名が重要としている。ある程度の重要性を認める人は6名、あまり重要ではないとしている人も4名のうち一名は交際相手がある。重要ではないとする人が3名で、記入無しが一名である。

この一年間性交経験のない人は17名であるが、そのうち15人はマスターベーションを行っている。性交経験のある人（12名）も全員マスターベーションをしている。マスターベーションをする27人の内訳は、よくする9、時々11、稀に7である。性行動の全くない人（この一年間性交もマスターベーションも経験していない人）は二人だけである。

一方、性交経験のある12人のうちの8人は交際相手があり、4人は買売春を年に数回あるいは風俗を月2～3回利用している。

## 2. 自由記述を通して読み取れること

40～50歳代（壮年期）の独身者ということから、既婚者よりも性の意味について、あるいはセクシュアリティについて考える事が多い様であり、様々な思いを書かれ、また訴えておられる。

### 1) 未婚男性の問題

男性独身者も40歳代では未婚者が多い（11/14）が、50歳台では、未婚者が50%を割る（7/15）。そしてその経験がアンケートの自由記述欄に色濃く現れる。

私自身が30歳代半ばに掛かろうとする今から三十数年くらい前にも、40才前後の独

身男性は、“変わり者”とか、“何か病気を持っているのでは？”あるいは、“同性愛者か？”などという目で見られていた記憶がある。そして今回の未婚者18人の中にも、両親の面倒を見ながら生きてこられた方が、「人格さえも疑われあるいは社会的常識から外れた片端者と言われる辛さを感じた」事を訴えている。

そのような社会から受ける重荷の上に、歳を重ねるに従って切実に感じられる「精神的にも肉体的にも安らぎ癒される明朗で円満な男と女の生活を希求する心」が強くなる。満たされていないだけに性は理想化され、より自分を苦しめる事になる。

しかし「10歳代、や80歳代のように年代別の性とは、一体なにを意味しているのだろうか？」と一律に年代区分する考え方に疑問を呈された方もある。たしかに40～50歳代は結婚経験の無い人が多い、年代が進むにつれて死別の人が多くなるという母集団の差があり、結婚経験があるにしても40～50歳代と60～70歳代とは同じ離死別でも抱える問題が違ふであろう。しかし今回の調査で、40～50歳代29名中27名（93%）そして、60～70歳代の40名中36名（90%）では此の一年間にマスターベーションを含む性行動が認められている。調査全体（145名；表13、14）を見ても此の一年間の性交ありは40～65%、マスターベーションをした人は59～89%で、加齢による変化が多少はあるものの、個人的な差の問題であることが判る。

「最近、AVのレンタル店で中高年の客をよく見るようになっており、ミスタードーナツ店やモスバーガー店の中高年の客が確



実に増加していることから見ても老人を対象とした性ビジネスが展開されてくるのではないか」と見ている人もいる。「熟年性革命報告(2000)」<sup>1)</sup>を書いた小林照幸はこれに続く著書「熟年恋愛講座(2004)」<sup>2)</sup>で既に“40歳未満、お断り”の風俗店が誕生している事を書いている。

## 2) 婚姻関係の中での問題

「40歳を越える頃から性交を拒否される事が多くなり話合いをして行くと『もともとセックスをしたくはなかった』といわれ、勃起障害となり寂寞とした感じを持ち、やがて家庭内別居から離婚にいたった。その後何人かの女性と付き合い、女性にも性への関心と欲求のある人がいるのを知ったが、一方自分の周りにも、性交を拒否されている男性が増えている。」

男が結婚すればそこに性交が存在するのが当然と思い、妻が性についてどう思っているかを考える事もなく、結婚を“自分の性欲の処理の場”と考えている限り此の行き違いは繰り返されて行くのではないか。そして倫理的に見える「結婚無しにセックスをする、ふしだらな世の中」という考え方の基礎には此の“性交は男の性欲の処理の場”とする考え方が故と感じてしまうのは考えすぎだろうか。

その一方で、愛し合って結婚したとしても、いつでもセックスができるという思いが性欲の高まりを弱いものとし、一方満たされるのが難しいと思うと余計セックスをしたくなるという事は、あり得る事であろう。しかし次のように言う人もいる。「男は愛情とは別に性欲がある」と、妻と死別して半年の方

は訴える。「愛があれば性的欲求はさほど生じてこないが、愛がないと性的欲求がでてくる。」

傍にいただけでよい、あるいは愛している愛されているという強い結びつきがあれば性交は必要としないというのは、新皮質の発達した人類の極限の姿なのかも知れない。

セックスレス夫婦の夫が「余りにも身近な存在となり、妹のように思えるので性欲がわからない」と言う事がある。自分の性的アクティビティの低い事をこのような言葉でカモフラージュする事も多いのではないかと考えていたが、一部には、いつでもできるという事で、もともと低い性的アクティビティが限り無く零に近づいてしまう事もあるのかも知れないと思わせる。

## 3) 婚姻関係にあってもなくても、関係性の構築は大切

一方、50歳で離婚した55歳の男性が「勃起はするがなかなか射精に到らない為に絶頂感を得られないが、パートナーの強いエクスタシーを見る事で満足している」と週二回のセックスを楽しんでいるという。すべての性行動は二人で作り上げて行くものを実感させる話である。

「現在の日本では、性の開放は女性の方が進んでいる様に思う。性別に関わりなく性について話し合い、お互いの性について理解を深めて行くべきではないか。」

「ポルノを見ても催さなくなり、性欲も若い時に比べると低下し、また年齢的にもセックスパートナーを求める事に対して諦めの境地である」という人も、将来を見た場合、性交だけに捉らわれていると孤独は避け

られない事になるのではないだろうか。

二人の人間がお互いに愛しい、一緒の時間を過ごしたいと思うのは自然なことであり、性的な交わりの感情が高まることもあるのもまた自然なことであろう。そこに相手の思いを尊重すると言うことが無ければ、己の思いだけを押し付けていく事になる。しかしお互いの思いが本当にわかる事はないのではないか。だから、結局は幻想に過ぎないのではないかと、次のように現在の真情を綴った方もいる。

「最近、恋愛や性欲は幻想によるものだとつくづく思うようになった。そのために、他人の本当の事は分らず、推し量るしか仕様がなから「性」に関するものが多様なのではないか？文化や文明自体が作りごとだし、コミュニケーションそのものが存在するのか疑わしい気がする。」

河野貴代美はその著書「性幻想(1990)」<sup>3)</sup>の中で、“恋愛は美しき誤解である”という昔からよく語られる言葉を引き、イメージを膨らませてファンタジー（幻想）の世界に浸るのは人間だからできることという意味の事を述べ、更に性交の時に或いはマスターベーションの時に、自分の気分を高めるような幻想を持つのは男だけのものではなく、女性が自立することと性についての積極性を取り戻すことによって、女が性の場でファンタジーを持つのだということを言葉にすることができたと論を進めている。それはともあれ、「性は所詮、幻想なのだ」と落ち込むことはないのであって、人間だから幻想を（ファンタジーを）持ちうるのだと捉えても良いのではないだろうか。

「妻と死別して8年、子供達がひとり立ち

して、性欲も戻った。しかし人為的に、制度的に縛る結婚という社会制度への疑問を感じる」と述べ、現代社会においては自明の事とされている結婚制度がいろいろな面で中高年の人達の生き方を寂しいものになっているのではないかと鋭くついている。

離婚後五年目の55才の男性は、射精障害があるが、「ヘビーベッティングでセックスを楽しんでおり、その基になっているのは、生活面でも自立した二人がお互いにパートナーが満足する事を自分の深い満足感とする優しさである」と述べている。

此のスピリチュアルな高さ、深さは小手先では出来ることではないであろう。

### Ⅲ 60～70歳代の独身男性（40例）

#### 1. 自由記述を聞いた方の背景

結婚経験のない人は1名のみであり、結婚したいと思っている。

離別は12名で、その内結婚したい人は7名、理由は「精神的安定、充足」6名と「性生活の安定」5名、「病気の時の支えあい」4名、である。結婚したくない5名は「自由を束縛されたくない」人が4名、「経済的問題（年金、遺産相続など）」を考える人が3名、在宅介護をしている母親を混乱させたくない、「法的な問題が煩わしい」などである。

死別は27名で、結婚したい人は13名である。結婚したいと思っている人は全員が「精神的安定、充足」が欲しい為であり、同時に「性生活を安定させたい」が5名、「病気の時に助け合える」が5名、「家事や身の周りの世話をする人が欲しい」が4名である。

他方、結婚したくない人が14名と多くな



るが、その理由は10名が「自由を束縛されたくない」であり、6名は「経済的問題（年金、遺産相続など）」である。その他、「法律的な問題が煩わしい」3名、「肉親が反対する」2名、「世間体が悪い」1名、今の家族の平和を壊したくないからと考えている人が1名である。

60～70歳代のグループ40名のの性行動を見ると、此の一年間性交経験のなかった人は未婚1名、離別6名、死別10名（計17名）だが、このうち1名は交際相手の性交痛のため一年前から性交経験がない。この人を含めた死別4名以外の13名はマスターベーションで処理している。即ちマスターベーションを含めた性行動のない人は4名10%である。

此の一年間に性交経験のあった22名のうち、交際相手がいる人は17名（約77%）で、買売春・風俗（週～月1回）を利用している人が4名、行きずりのひと年数回が1名である。また、性交経験についての記入無しが1名である。

自分にとって性生活はどのくらい重要かについては、22名（55%）が重要としている。ところが、結婚したい人21名のうち「性生活が人生にとって重要と思っている」人は6名（29%）だけである。結婚したい理由が「性生活の安定」という人は10例（48%）であることから見ても、結婚したいのは性と関係付けてではない。様々な人生経験をしながらと云うべきか、あるいは「高齢だから性は無関係」という社会の規範に影響されてと云うべきか分らないが、結婚に日本人男性が求めるものが見え隠れする。40～50歳台グループでは、前に述べたように結

婚したいと思っている人の中で「性は自分にとって重要」という人は55%（12/22）と高いが、60～70歳台では29%（6/21）半分である。これが年代差なのか、未婚者の割合が関係しているかは判らない。しかし結婚したい理由は「セックスの安定」とする人は40～50歳台では23%（5/22）、60～70歳台では48%と逆転している（10/21）。

そして、どちらかという重要とする人は12名、あまり重要な事ではないとする人も5名であり、記入無しが1名ある。このあまり重要ではないとしている人のうち1名は交際相手との年数回の性交がある。性交なしの4名は「マスターベーションあり」が2名、「マスターベーションなし」が2名である。

60～70歳代40例では交際相手のいる人が25例63%で、40～50歳代の29例中4例14%と比較して明らかに多いが、40～50歳代のグループよりも未婚者が少なかった事と関係があるのかもしれない。しかし、本調査で未婚としたのは単に制度上の事であり、現在は未婚とは云っても非婚或いは事実婚が増加しつつあると言われており、今から30～40年経って現在の非婚者（或いは事実婚者）が高齢になった時の性行動はこのような分類では現わし切れないものとなるだろう。

性行動の一面を示すマスターベーションについてみると、「しない」人は13名（他に記入無しが3名）、「まれにする」が11名、「時々する」が8名、「よくする」が5名で少ないようにも思われるが、この一年間に性交経験のある独身男性が22名（55%）いる事と合わせて考えると、60～70歳代の性行動が活発か否かの判断は難しい所である。

先に述べたように離別者12名のうち半分

弱の人は結婚したくないといい、その理由として、“結婚”という法律的な制度上発生する煩わしさ・遺産相続の問題・在宅介護している歳老いた母親を混乱させたくない、そして何よりも自由を束縛されたくないという事が結婚したくない第一の理由として挙げられていた。

また離婚した人は“結婚”という制度に守られた男と女の関係も、人としてのかわりであるが故にそれを良いものに育てる努力がなければ、社会的な縛りだけでは維持しきれないという現実を経験している人達である。その煩わしさの上に、更に世間の中高年齢者の性への理解の不足を思っ、其処には戻れないという事であろうか。

それらを乗り越えたいと言うべきか、あるいは“もう遅い”ではなく“やり直しができる”から、もう一度結婚したいと思っている21名（五割強）の人達であろうが、その理由は「病気になる時の不安の解消」（10名）や「交際相手が居ても安定した性生活を望む」（10名）、更にそれよりも多くの人が「精神的な安定、充足」をのぞんで（19名）いる。

死別された27名のうち13名の方が結婚したいと思っているが、全員「精神的安定、充足」を求めており、その他に「安定した性生活」が3名、「家事や身の回りの世話を望む」3名、「病気になる時助け合える」3名である。一方結婚したくない人は全員が「自由を束縛されたくない」のがその理由であり、その他「経済的問題（年金、遺産相続など）」2名、「肉親が反対する」、「法律問題の煩わしさ」、「世間体が悪い」などが各1名である。

「精神的な安定、充足」は女性も求めている事であるから、共に生活するにはお互いに支え合うことが必要である事や、「安定した性生活」についても、年齢から見て“高まる性欲を性交によって解消すること”が何時までも続くという訳ではないという事、更に病気になるのは常に男が先と決まっている事ではないから、男がパートナーの身の回りの世話をしなければならぬ事もあり得る事などを意識できているのだろうか。

此の年代グループの中で、此の一年間性交経験のあった22名のうち相手が「恋人またはおつきあいしている人」であった17例の交際相手との関係性については、「性的感情や欲求についてお互いに伝えあう」という人が82%（14/17）、相手が満足を感じる事が重要と思っている人は82%（14/17）で、（石田・荒木が述べているように）単身者では既婚者よりも若干高いとも言えるが、離別・死別を経験し、気持の行き違ひの大きさに気付いている筈なのに、“性行動に大切な関係性についての理解はこの程度か”という気もする。親密な関係になった時には、自分の考えや気持を相手に伝える事の大切さはむしろ大きくなるのであり、“親密な関係の中では以心伝心”は理想ではなく、誤りであると知るべきだろう。

## 2. 自由記述を通して見えるもの

### 1) 性における関係性を培うことの重要性

前回の調査<sup>4)</sup>において、婚姻関係にある男女の80%が性はコミュニケーションであるとしているにも拘らず、例えば性的感情や欲求についてお互いに伝えあうのは、男女とも30%を僅かに越えるのみであったのは象



微的であった。

そして今回の調査において、60歳代半ばの二人は自分の生きて来た半世紀を振り返っての思いを吐露されている。「二年前に荒木レポート（カラダと気持～ミドル・シニア版：三五館刊）を読んでいれば男と女のすれ違いの修正も可能であったのでは」と考える人は「女性が生む性である時期を過ぎると、性に無関心になる事或はそれ以上に性を嫌悪するようになる事が多いのを知らず」に男のセクシュアリティを押し付けようとし、「迷い」出てしまった事を想起している。「壮年期仕事一途で妻に優しく出来なかった」と語る人は、「今89歳の認知症の母親の面倒を見るのに精一杯で、今ならまだ男として可能であるのに、充実した性生活を実現する余裕がない事を、そして『性愛の喜びの一致』という『生』を実感出来る神さまの最高の贈り物を受け取る事が出来ない」事を嘆く。しかし「もう一度充実した生」を求めながら周囲・社会の壁に立ち止まってしまふ。

「自分の生」を大切にするという気持がその壁を乗り越える、大きな力になる筈である。「自分を捨てる事（捨てることまでは言わないまでも犠牲になる事）がこの社会で生きる上には必要という圧力が強い為に個人の生活もなくなってしまう。」あるいは「老人に性は無いものという偏見が高齢者を引きこもりがちにし、性格も歪み、からだの調子さえ崩してしまう」とうち沈んでいる人も居る。

2) 性をおおらかに、性交だけではなく広く捉えることの重要性

加齢による、身体的情緒的な変化を受け入れることが出来ない、或いは社会も含めた他

者によって欲しいと言う以下のような意見もある。

「女性も60歳を過ぎると膣の締まりがなくて射精できない」、「中高年の性交ビデオを見ながら気分を高めてと思うが女性は嫌がる」、「性に対しての不浄感が高齢の女性に多い」など性に対する教条的な考えやそれに基づく男女のズレに対して相手だけに、あるいは主として相手に問題があると思込んでいる。性交して射精する事がセックスだとすれば、加齢により勃起しなくなればセックスは無いものとなるし、男が楽しむ為につくられた現在の性交ビデオが女性の人間としての存在を否定するものである事を考えなければ、「友達付き合いはするが性交を拒否する女性が多い」、「もっと気楽に付き合える社会になって欲しい」と言われても、女としては受け入れ難いと思う人も多いだろう。

その上に私達が所属する社会が持っているセクシュアリティに対する「口にすべきではない事」とか、“生きる為には些末な事”という規範が二重三重にかぶさって、中高年の生活をモノトーンなものにしている。

大島清の“性は生なり”<sup>5)</sup>はそのような日本の男性高齢者に勇気を与えた。しかし、性とは性交であると誤解していると“性は生なり”を我がものとしようとすれば、性交が出来なければ生を全く出来ないことになる。性交できない人は死んだ事になってしまう。性交を拒否する女性も、加齢のための勃起障害の男性も死者である。そこで、男はバイアグラで生き返ろうとする。しかし女性は“性交できなければ自分が死者である”とは思わない。別に生きる証を持っている。このことは前回の有配偶者調査（中高年のセクシュアリ

ティ<sup>4)</sup>でも読み取れる。

今回のアンケート調査では、離別の原因を尋ねていないため自由記述欄でもそれについては触れておられる方は少ないので、その詳細については判らない。

しかし、現在私達のクリニックや相談室に來られる方の事情を伺っていても、或いは以前仕事をしていた病院で初めての出産を迎える夫婦の“夫立ち会い分娩のための出産準備クラス”を開催している時のクラスを終わっての感想に、『夫婦で一つの事について真剣に話し合ったのは初めてである事に気がついた』という感想が少なくなかった事から見ても、夫婦の関係において双方にとって、子どもを作ることが性交の目的となっていたり、二人にとって性が刺身のつま的な存在になってしまっている様子が見える。“子どもができるまでは”と受け入れるが、妊娠・出産・子育ての間は“忙しい、疲れた、そんな気になれない”を隠れみのにする女性がいったり、“性に関しては口にする事ではない”，あるいは“性欲の高まりは夫婦の間で解消するのが当然”と思う男性がいるという状態では、此の行き違いを修正して、中高年になってからの豊かな夫婦の生活を求めるには可成りのエネルギーを必要とするだろう。死別後十年の67歳の男性が「僕の知人は、ほとんどの人（有配偶者）が性交渉はやっていない」と述べているのに符合する。

男の性欲が衰える事がなければ、それを仕方なく受け入れたとしても、やがて女性の加齢変化は男を拒否する事になる。このような状態では、男の性欲の低下こそが解決策になってしまう。これで夫婦に不満がなければ、それはそれで良い訳であろう。その時も

し性欲の低下がなければ男は外に向かう。

夫婦がセクシュアリティについて口にするという事、それができるという事はコミュニケーションが取れているという事である。一方「性はコミュニケーション」という言葉がある。それは男女の間で気持ちを、意志を伝えあう手段の一つという事であろう。夫婦の諍いをセックスが解決するという“物語”がある。しかし、諍いを解決出来るようなセックスができるという事は、その前に豊かなセックスが存在したという事ではないか。男女のコミュニケーションが取れた上でこそセックスは成り立つという事であると思う。コミュニケーションが取れているという事は、お互いに相手を思いやることのできる状態にあるという事である。

### 3) まず自分を変えることの重要性

人間関係に問題が起きた時「他人を変える事は出来ないが、自分を変える事はできる」と言われる。相手を思い遣る事は、自分を変えようというモチベーションにつながる。

交際相手とのより親密なかかわりは双方にとって望まれることでありながら身体的なふれ合いがすぐに性交に結びつくことに対する女性の忌避が、男にとっては“ここまで許しあいながら何故？”という思いとなる。「手術の傷があること」、「夫を亡くして廿数年になり塞がってしまったと言われた」、「70歳も近くなつての性行動は変態だと肝がんの妻に言われた」、などの理由で性交・ベッティングも拒否されるという嘆きになる。またそのような機会さえ作れない我が国の高齢者のセクシュアリティに対する偏見を嘆く次のような声も多い。「友人以上の関係に進め

ずあるいは付き合ひのチャンスもなく、年齢を重ねても気楽に付き合える風土」を望む。「性交だけではない情緒的な性を望む」声が強い。しかし「74才くらいから勃起不全となったが海綿体内注射で二人の性生活を取り戻した」、あるいは「私は77歳で糖尿病と脳梗塞を患っているが心臓のペースメーカーを入れている妻と死別する直前まで性交は無いがふれあひの性で過ごす事が出来た」という二組の夫婦(11.1%)や「性交は望まずふれあひの性だけを愉しむ」、「自然にふるまう」、「戦争を経験し3年前から勃起障害となったが支えあう生活に入りたい」と語る方々があつた。

人間の性は二人で作り上げて行くものであり、老境に達した男女が一人になつても、求めるものがあれば、それを成就できる環境が出来ることが望まれる。

人のセクシュアリティは幅の広いものである事、お互いに相手を思い遣る心が基本である事を知れば、「性の喜びと感動を素直に感受できる」、「本当に心から愛し合えれば、セックスは大切な愛の表現」、「満足している」「老年の性のタブーには反対で、人間教育としての性教育が必要」と独身の60歳代が心情を吐露し、このような調査研究がなされる事への賛同が示されている。

此れは10歳代の若い男女が、父親・母親になつて行く為には周囲の人達の暖かい目が有用であるのと同様で、“若すぎる”あるいは“そんな歳をとつてまでも”ではなく、自然の感情として受け入れることが、高年者の心を沈み込ませ、内に閉じこもる事を強いて「性格まで歪んでしまう」という訴えへの答になるのではないか。

#### IV おわりに

最近「わたしにふれてください」<sup>6)</sup>という詩の本が刊行された。

生まれて間もない乳児や幼児が親にしっかりと抱きとめられる事が、その子どもの人間関係の発達に大きな影響を与える事は知られている。

しかしどの年代の人でも、意識するか意識しないかは別にして、「触れて欲しい」「抱きとめて欲しい」「抱きしめて欲しい」という気持があり、それが必要である事を、それが心を和ませてくれるものである事をこの詩は歌い上げている。

何才になつても、豊かな気持でハグ出来る人間関係を作れることで、誰にとつても生き易い場になるのではないだろうか。

#### 文献

1. 小林照幸：熟年性革命報告，文春新書，2000
2. 小林照幸：熟年恋愛講座，文春新書，2004
3. 河野喜代美：性幻想，学陽書房，1997
4. 荒木乳根子ほか：中高年のセクシュアリティ～男女のパートナーシップの現状について～，日本＝性研究会議会報第12巻第1号2～18頁，2000
5. 大島清：性は生なり，毎日新聞出版局，1991
6. フィリス K. デヴィス（三砂ちづる訳）：わたしにふれてください，大和出版，2004



## 中高年単身者のセクシュアリティ ～女性の事例・自由記述を通して

日本性科学会カウンセリング室

渡辺 景子

### <はじめに>

セクシュアリティ研究会では中高年単身者のセクシュアリティアンケート調査を行い、配偶者がいない男女の現状について様々な側面から検討した。この中で筆者は、自由記述を中心に女性の事例をまとめてみた。自由記述を論文にのせる理由として、数字や統計だけでは汲みにくい個々人の気持ちや生の感情をよみとってこそ、こうした調査が対象者の全体を把握するものとなりえるのだが、それには、インタビューや自由記述が大きな助けになると考えるからである。事例の取り上げ方としては、現在交際相手が「いない人」・「いる人」に分け、その中でそれぞれ「離婚」・「死別」・「未婚」に分類した。更に年齢層を「40代～50代」・「60代～70代」の2グループに分け、この中からそれぞれ1ケースずつ選び、計12ケースを取り上げた。

### <現在交際相手がいない人>

離婚・50代 <40代で離婚し、シングルマザーとして生きてきた女性>

A子さんは50歳で、大学を卒業してから専門職の仕事につき現在も働いている。夫とは9年前に離婚し、A子さんが子どもを引き取り、現在も子どもと同居している。

A子さんにとって性とは「コミュニケーション・やすらぎ・愛情表現」とのイメージであったが、前夫との性関係においては、A

子さんが37歳頃に「相手の関心の喪失」のために性交渉がなくなった。

離婚後、シングルマザーとして生きてきたA子さんであるが、シングルマザーの恋愛の難しさを感じてきた。これまでA子さんが好印象をもった人の多くは既婚者で、A子さんとしては、相手との関係に一步踏み込むことで相手の家庭を壊すのではないかとの思いがあり、そうはしなかった。また既婚者と、フランクに付き合うにも難しさがあった。一方相手がシングルの場合、シングルマザーとして生きてきたA子さんは「まず子どもが大事」との考え方が強くあり、交際の重要度に双方のズレが生じてきてしまい、相手が既婚者の場合とはまた異なる難しさがあった。

現在のA子さんは、日々の生活が忙しく時間的余裕もないが、できれば、性交渉あり・なしにかかわらず楽しく男性と交際したいとの思いがある。しかし再婚については、「子どもからやっとな手が放れたのに、今さら結婚して人の世話・人の為の家事は嫌」との気持ちが強いことから、A子さんの思い描いているような楽しい交際は難しいかと諦めている。

★★

A子さんの場合、シングルマザーとして、子育て・仕事・そして経済面等、色々と大変な道を乗り越えてきた。今後の性を含めた関



係性を考える際、現実的な問題とともに、これまでのパートナーとの性を含めた関係がどのようなものであり、それをどのように受け止めてきたかということも重要な要素になるだろう。

**離婚・70代** <30代で離婚し、現在元気に活動している女性>

B子さんは79歳で、現在一人暮らしである。専門学校を卒業し事務の仕事等をしてきたが、現在は年金で生活している。

B子さんは、40年前に離婚した。B子さんにとって性の目的とは「子どもを産むこと」であり、「結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない」と思っている。しかし一方で、配偶者のいる異性との親密な付き合いについては、男女とも「好きになったら付き合うのが自然」であり、また性の意味するものは「生き甲斐・活力剤」との思いもある。B子さんは離婚後、60歳頃まで性交渉はあったが、相手との離死別によりそれ以降はなくなった。

現在は、趣味やサークル等で活動し、それらを通じた人との関わりがあるが、単身の淋しさ・もの足りなさを感じる事が少々ある。今後パートナーは「欲しい」との気持ちがあり、相手に望むものは「精神的な愛情関係」である。

今回の性についてのアンケートを書くにあたり、B子さんは、性とは遠い昔のことのような気がして、なかなか自分のこととして思い出せなかった。そのような中で、過去から現在の自分について少しずつ思い出して書いてみると、気分が和らいできたように感じた。

★★

B子さんの場合、人生の様々な体験や年齢的な推移等により、性を含めた関係性に対しての考えや求めるものが次第に変化してきているようである。

**死別・50代** <夫と死別し、日常生活上肌の触れ合うコミュニケーションを羨ましく思う女性>

C子さんは57歳で、大学を卒業後専門的職業につき現在も働いている。7年前に夫と死別し、現在一人暮らしである。

C子さんにとって性の意味とは「愛情表現・コミュニケーション・肉体的充足」との思いがあるが、「結婚や婚約なしに性的関係をもつのはよくない」と考えている。C子さんは、夫との死別により50歳で性交渉がなくなり、7年経って性生活のないことに慣れ、またこの間、相手がいなくて性的欲求も自然と減少し現在はほとんどなくなった。

今後の結婚についてC子さんは、「自由を束縛されたくない」「家事や身の回りの世話が負担」との理由で考えていない。しかし、パートナーが欲しい気持ちはあり、相手に求めるものは「相談相手として、食事をしながら何でも話せるような関係」である。またB子さんは、特定のパートナー・性とは関係なく、「日常生活の中で、肌の触れ合うコミュニケーションがあったらいいなあ」と思っている。C子さんは夫と死別後、日本社会では夫以外の大人とのスキンシップが出来ないことに改めて気が付いて、寂しさを感じている。例えば、アメリカ人であれば、知人が男女を問わず、自然にハグしてくれると気持ちが伝わりうれしさを感じるし、また結婚披露

宴などで母と息子がダンスをしたりするのを見ると、日本社会にはない日常生活上肌の触れ合うコミュニケーションがあり、羨ましさを感じている。

★★

C子さんの場合、今後再婚はしたくないが、パートナーは欲しいとの希望があり、このような人は多いようである。

またパートナーに望むものとして、性交渉にこだわらずもっと広い意味での関係性を求める人が多く、C子さんは更に、日常生活のコミュニケーションのひとつとして肌に触れ合う文化を羨ましいとしている。

死別・60代 <夫と死別後、子ども・孫・友人との関わりを楽しむ女性>

D子さんは64歳で、現在働いており経済的にも自立し、一人暮らしである。17年前、D子さん47歳時に、夫が50歳で病死した。その後のD子さんは、働きながら3人の子どもを育て、生活費や教育費に追われる日々であった。また子どもが成人してからも、子どもの就職・結婚・出産に際しての援助など色々と忙しく過ごしてきて今日に至り、最近になってD子さんは「仕事をしながらよくがんばってきたなー」と自分自身を顧みてつくづく思うことがある。

D子さんにとって、性の意味するところは「身体的コミュニケーション・精神的・肉体的な充足」であるが、夫の死後は他の人との性交渉はなく現在に至っている。D子さん自身に性的欲求はあり、まれにひとりでのマスターベーションを楽しむことがある。将来、結婚したい思いはあり、その理由として「精神的な安定・充足」「経済的基盤を分かち合

いたい」と思っている。しかし現実的に結婚を考えると「自由の束縛・肉親の反対」等を思い、パートナーを積極的に求めるところまでの気持ちはない。現状では、子ども・孫・友人と日々関わり、また旅行・コンサート等幅広い楽しみも見出して元気に過ごしており、D子さんにとって性とは、夫との過去の思い出として心の中に大切にしまわれている。

★★

D子さんの場合、夫と死別後子どもを抱え無我夢中で生きてきたようである。60代になって、そのような自分を顧みる余裕が出てきたということだろうか。個人差もあるだろうが、60代とは、これまでの自分そしてこれからの自分をじっくりと考える年代でもだろうか。

未婚・40代 <結婚願望を抱いている女性>

E子さんは47歳で、大学を卒業し事務の仕事が続けており、生活は自分の収入で賄っている。現在まで未婚で、親と同居している。

好意を抱いた人は20代・30代の頃にはおり、また40代の現在も同じ職場にいますが、いずれも片思いで交際に至ったことはなく、これまで男性との性体験は一度もない。

E子さんは交際相手を求めており、望む関係は、「精神的な愛情関係」である。E子さん自身、性的欲求は若い頃より少し減少したもののがあるが、「性生活はあまり重要ではない」「現在、煩わしい性生活が無いので満足している」と思っている。将来的には、「精神的な安定・充足が欲しい」「社会的な信用

を得たい」との理由で結婚願望がある。E 子さんは、このような自分を「少数派」と思っている。

### ★★

E 子さんの場合、結婚願望はあるが、性的関係の重要性は低く、また E 子さんが未体験でもあることから具体的なイメージはでないようである。今回のアンケートでも、答えられないことが多かった。今後一歩踏み込んだ関係に入っていく中で、性に対する思いや価値観が変わっていくことがあるかもしれない。

### 未婚・60代 <性を含め男性との関係をもつことに否定的な女性>

F 子さんは62歳で、2年前まで事務職についており、また現在は恩給・年金で暮らし経済的に自立している。現在まで未婚で、親と同居している。

現在交際している人はなく、相手が欲しいとの気持ちもない。その理由としては、「自由を束縛されたくない」「倫理的に受け入れられない」ためである。また性的欲求は、若い頃と比べてほとんどなくなったが、F 子さんは性生活の重要性も感じられず、現在煩わしい性生活が無いので満足し、困ることはない。このような F 子さんには、45歳ころまで性交渉を含む交際相手がいたが、相手との離死別によりその後性交渉がなくなった。

上記のような性に対する否定的な姿勢について、F 子さんは男性への元来の不信任感からきていると思っている。その大きな理由として、父親の不倫による家族への裏切りが F 子さんの頭に残っている。F 子さんが小学生の時、父親の不倫により両親が離婚してその

影響で経済的に困窮し、また精神的にも屈折した子ども時代を送った。高校卒業後事務職についたが、F 子さんは人間関係に悩み、苦労の連続であった。人間関係では特に年上の男性とうまくいかず、会社の男性上司とは3回転職しても同様であり、また数少ない男性との性を含む交際においても、相手は性関係ができると横暴になり、その理由が F 子さんには分らず嫌でうまくいかなかった。

F 子さんは「男性・女性をこえて人間として一人で生きていける人同士が、一緒に共同生活を送るのが結婚ではないか」と思っているが、これまでそのような男性との関わりはなかった。

### ★★

F 子さんの場合、男性に対する元来の不信任感が極めて強く、大人になってからもそのことを整理できないままに影響を受け続けているようである。F 子さんのように、その人の抱く性的イメージや性的問題・相手との関係のあり方は、幼少時期からの親子関係に起因していることが多々ある。

### <現在交際相手がいる人>

### 離婚・50代 <20代で夫と離婚し、現在配偶者のいる人と交際している女性>

G 子さんは現在53歳である。25歳時に男子を出産し、出産直後の26歳で離婚した。G 子さんは職業的に自立しており1人で働きながら子どもを育てた。この間子どもにとって、父的な存在が必要な時もあり、その際は複数の異性の友人が手助けをしてくれたが、再婚という運びにはならなかった。G 子さん自身、無いものねだりはしないと決め、色々悩みながらも上記のような単身家庭スタイル



を息子と共に楽しんで生きてきて、息子は現在28歳になった。

現在のG子さんは、仕事・趣味・ボランティア活動と充実した生活をしている。そして5年前に、趣味を通して、現在の相手との交際が始まった。その人には配偶者がおり、G子さんとしては「望むべくは単身者が多い」との思いはあったが、自分の気持ちに正直に行動したところ、お互いにとても大切なことがわかった。現在のG子さんにとって彼はなくてはならない存在で、月1回会って性交渉もある。G子さん自身の性欲は若いころに比べ減少し、また性交の際痛みがあるが、それを含めて伝え合い、大きな満足感が得られている。

このような関係をとる中でG子さんは、単身の淋しさを感じることはない。また結婚については「したくない」と思っており、その理由として、相手が既婚者であることのみならず「自由を束縛されたくない」「家事や身の回りの世話が負担」と思うためである。G子さんは、彼との関係において、今後もお互いに縛り合うことのないように、自分の精神をコントロールしながら、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思っている。

★★

G子さんの場合、悩みや困難を抱えつつも、そのときどきを割り切って楽しんで生きてこられたようである。現在の交際相手は「なくてはならない存在」としつつも、相手が既婚者との理由だけでなく、結婚という形を望まないようである。G子さんのように、パートナーとの関係のあり方・形等は益々多様化してきている。

離婚・60代 <30代で離婚し、5年前より交際している相手がいる女性>

H子さんは66歳、過去職業についていたが現在は年金で生活している。30代で離婚し、現在一人暮らしである。5年前より交際している人がおり、彼とは精神的な愛情関係が現在まで続いている。交際3年目の頃2人で旅行をし、部屋は別室だったが、とても楽しかった。交際が長くなった最近、初めて同室での旅行を計画したが、その直前に彼の身内の不幸があり、旅行はキャンセルになってしまった。H子さんは、同室での旅行に期待を抱いていたが、その一方で、同室になった際性交渉へつながることへの不安が大きかった為ほっとしたのも事実である。その理由として、H子さん自身の身体の変化・体形のくずれ・入れ歯・性交痛（婦人科検診の時痛くて辛かったので、性交時も同様かとの思いがある）が気にかかっていた為かと思っている。心の中では性交渉を含む関係を望みつつも、一方で、この関係が長く続いているのは、精神的な関係故との気持ちもある。H子さんは、今後の旅行での彼との関係について「出来ることなら同室で、性交渉なしだが身体のちょっとした触れ合いはある、というのが正直な気持ちかもしれない」と感じている。若い頃は「結婚しなければセックスをしてはいけない」との考えであったが、最近は「世の中男と女しかいないので、他人を不幸にしない限り、性を含めて自然に関わってあげたいと思うようになった」と変化してきた。

★★

H子さんの場合、交際相手との関係が長続きしている秘訣は精神的な愛情関係に因ると



しながらも、性的な触れ合いをも望んでいるようである。しかし、一歩踏み出せない背景には、ボディイメージの変化・性交渉への不安があるようだ。

年齢を増していく中で、身体の変化は当然あり、性も例外ではない。女性の場合、性交痛が出やすくなるが、痛みの軽減にはゼリーの使用やホルモン補充療法があり、これらにより不安のないセックスを楽しんでいる中高年の人は以前より増えているのではないだろうか。

#### 死別・40代 <夫と死別後、年上の交際相手と同棲中の女性>

I子さんは49歳で、現在職業についている。6年前に夫と死別した。

I子さんには5年前から交際相手があり、彼は20歳年上で、現在自分の子どもと彼と一緒に暮している。Iさんは経済的には主に自分の収入で生活しているが、彼から部分的な援助をうけている。

彼とは愛情関係のもとの性関係が週一回程度あり、満足している。ただしIさんは、性的内容には違いを感じている。Iさんにとって性の意味するところは「愛情表現・ふれあい・やすらぎ」などで、例えばIさんが触れ合いを求めて身体接触をすると、彼はすぐIさんが挿入を求めているという意味に捉えて行動してしまい、ズレを感じること等である。また最近、性交時に少々痛みが出ることもあり、挿入を伴う性交渉がやや苦痛になることもある。しかしIさんは、彼の快感を思うと、これらのことを相手にしっかりと伝えることにはためらいがある。Iさんは彼を愛しているが、結婚し

たいとの気持ちはなく、その理由として「家事や身の回りの世話が負担」「経済的な問題(年金、遺産相続など)」を感じているからである。

#### ★★

I子さんの場合、交際相手との性的内容にズレがあり、また性交時に痛みを伴うこともあるようだが、相手には伝えていないようである。最近、女性の意識や男女の関係等が大きく変化してきたとはいえ、性や家事労働等の面においては従来の域をでていない現状もまだまだあるだろうか。とくに中高年においては。

#### 死別・60代 <空気のような存在になった彼と交際を続けている女性>

J子さんは62歳で、過去には職業についていたが、現在は恩給、年金で生活している。13年前に夫と死別した。現在は肉親と暮している。

J子さんには、5年以上前から交際している74歳の相手がいる。彼とは性交渉があるが、J子さんは2人の中で性的欲求の程度や頻度の相違などを感じている。彼の性的欲求は強く、出来ることなら毎日でも性交渉を希望しているが、J子さんは月1回がやっとというところである。このため性交渉を求めてくるのはいつも相手からで、内容的にもJ子さんの思いとは異なり、前戯なく10分程度で終わってしまう。J子さんは性生活に関して「雰囲気作りをする・性交の後、余韻を楽しむ・日常的に愛情を示す」気持ちはあるが、相手には伝えていない。彼とは、交際が長く会うことに慣れてきた為もあり、胸がときめくということとはなくなった。また趣味も全く

合うものがない。それでも、彼と時々食事をする、近くの温泉に行くなどの関わりをしてきたなかで、J 子さんにとって彼は空気のような存在となり、彼がいないと淋しいと思っている。

★★

J 子さんの場合、交際相手と性的欲求や内容・趣味など色々な面で相違があるようである。相違はどのようなカップルにもあり、そのことが大きな問題になることも多々あるが、J 子さんはあまり問題とは捉えてないようである。彼と一緒に暮してはいないが、日常性の積み重ねによりまさに空気のような存在になってきたのだろうか。

未婚・50代 <配偶者のいる彼と10年間交際している女性>

K 子さんは54歳で、未婚である。管理的な職業に就いて経済的に自立しており、現在一人で暮している。  
K 子さんには10年前から交際している相手がおおり、彼には配偶者がいる。K 子さんが若いころには、結婚を夢見て交際したこともあったが、仕事が面白いこともあり今ひとつ真剣にはなれなかった。そして40代に入りこのまま年をとっていくのかと思い出した頃、現在の交際相手と出会ったのである。彼とは当初から一時の浮気と割り切って付き合い始めたが、これまで月に2～3回の性交渉で肉体的・精神的満足感が得られ、10年間続いている。しかしそれ以上の関係ではなく、将来必ず別れる関係と思っている。しかし、一方でK 子さんは、老後の寂しさを考えると計り知れないものがあると感じている。この10年間の中でK 子さんは、彼以外

の人と結婚を前提に付き合ったこともあったが、セックスの満足感が得られず別れた。今後、現在の交際相手との関係がいつまで続くかは分からないが、K 子さんは、彼との性的関係で日常と違う自分を出せることは仕事の気分転換になり、貴重な時間になっている。

★★

K 子さんの場合、交際相手とは性的関係のみでつながっていることを強調しているが、それだけなのだろうか。

性とは性行為のみでなく色々なものを含んでおり、性とは関係性なりといい続けている筆者であるが、K 子さんの場合も、彼女の意識していないところで様々な感情が動いているように感じられる。

未婚・60代 <交際中の彼と結婚するかどうかとの迷いがある女性>

L 子さんは66歳で、未婚である。過去には職業についていたが、現在は恩給、年金で生活している。

約3年前から交際中の相手がおおり、性交渉を伴う愛情関係でつながっている。L 子さん自身の性的欲求は若い頃より大いに減少したが、彼女にとって性の意味するところは「愛情表現・ふれあい・肉体的充足」等で、性的関係は重要と思っている。彼とはこれまで月2～3回の性交渉をもってきたが、性交時に時々痛みがある。しかしどちらかといえば痛みより満足感を強く感じている。L 子さんは、彼との結婚について「したい」「したくない」との両方の気持ちがあり迷っている。前者の理由として「精神的な安定、充足が欲しい」「社会的な信用を得たい」こと、後者

の理由として「経済的な問題（年金、遺産相続など）」「相手の亡妻の仏壇や墓参りが煩わしい」ことがあるからである。

### ★★

Ｌ子さんの場合、結婚への迷いがあるようだ。結婚に対する迷いやしたくない理由として、これまでのケースでは「自由の束縛」と「家事労働の負担」が多かったと思うが、この他にもＬ子さんのように「経済的な問題」と「相手の身内の事情」も中高年では重大な理由になるだろう。

### <まとめ>

中高年単身者アンケート調査の自由記述を中心に、女性の事例をまとめてみた。女性の単身者は、皆さんが色々な思いや悩みを抱きつつ様々な人生を生きていることを改めて感じた。性的側面から見ているわけだが、そこから、人々のこれまでの人生・人生観・考え等が伝わってきた。まさに「性とは関係性なり」で、その人々の関係のあり方も映し出されているようであった。その中で気づいたことは、以下の通りである。

経済的な自立は、性関係に大きな影響がある。それまでの人生において多様で豊かな人間関係を構築してきたかどうか、中高年の性関係に影響を与える。中高年までの性関係で、性をどのように捉え、どのような関わりをもってきたかが、その後の性関係に大きく影響する。女性は性関係について、挿入重視ではなく、挿入以外のふれあいを楽しみたいと思う人が目立つ。結婚について「相手はほしい」「相手は大事な存在」としながらも、「結婚はしたくない」という人が多く、その理由として「自由を束縛されたくない」「家

事や身の回りの世話が負担」をあげる人が目立つ。交際相手のいる人では交際期間が5年以上と長い人が多く、日常生活の幾つかの側面を重ね合わせ、かつ時間をも積み重ねている。配偶者との関係とは異なるが、単身者女性には極めて親密で身近な関係を作ってきている人が多いか。

☆この文は、自由記述を中心にまとめました。修正を若干加えてあります。

## 二つの中高年セクシュアリティ調査 (有配偶者・単身者) を振り返って

女性成人病クリニック

堀 口 雅 子

医療法人中林病院産婦人科

堀 口 貞 夫

1999年10月から2000年3月にかけて、日本性科学会会員の有志により、40歳以上の中高年世代有配偶者のセクシュアリティについての調査を行なった。

この年は、長い凍結期間の後やっと認可された低用量の経口避妊薬がバイアグラとセットのかたちで発売された年であり、また改正男女雇用機会均等法が施行された年でもある。この年に生まれた子どもの平均余命は男77.10年、女83.99年であり、65歳以上の老年人口は16.7%を占めるに至った時である。

調査の結果は『中高年のセクシュアリティ—男女のパートナーシップの現状について—(日本=性研究会議会報 第12巻 第1号 2～18頁 2000)』としてまとめられた。それを読み易い形にしたものが、「カラダと気持ち—ミドル・シニア版—(三五館) 2002年2月」である。十数年から四十数年の結婚生活を経験している訳であるが、70歳を越えても月1回以上の性交を男女とも約25%が経験しているが、女性は40%以上がよくあるいは時々気乗りのしない性交に応じている。「応じないと不機嫌になる・怒るから」という女性が20%近くも居る。その結果肉体的な満足は男性は90%以上の人が得られるのに、女性では70%をこえる事はない。そし

て40歳台も含めて15%の人はいつもあるいはだいたい性交痛があるとしている。男性の略全員が「性交においては相手の満足が重要あるいはある程度重要」と考えているのに、女性自身は「パートナーが自分の満足を大切と思ってはくれている」と感じている人は78%であり、離婚願望はまったく無いとする人は、男性は65%だが女性では44%で、この食い違いは夫婦の中での性生活に求めるもの(男にとっては性交、女にとっては性交から愛撫、いたわりまで)の差ばかりではなく、これまでに積み重ねて来たものの上にある事は明らかであろう。

とすれば単身で暮らしている人ではどうか。このアンケート結果をまとめる過程で進められた議論の中で、「これから更に増えて行く中高年世代は単身者が多くなって行く筈で、其の人達が抱える問題をセクシュアリティの面から見て行く事」も必要な事が話し合われた。それが具体化した結果が今回の「中高年単身者のセクシュアリティ調査」である。2003年から2004年にかけて実施されたので同時代性という面では、問題が在るかも知れない。時代の背景を見てみる。

2002年に生まれた子どもの平均余命は男78.32年、女85.23年となり三年前より、1.2年ほど延長している。65歳以上の老年人口



は18.5%を占める。

此の年、東京都教育庁は公立学校の男女混合名簿を厳禁するとし、「思春期のためのラブ & ボディ book」が衆議院文部科学委員会でセックスを安易に捉えるような記述が目立つ事が問題となり、回収される事になり、これがきっかけで「過激な性教育、ジェンダーフリー教育」に対するバッシングが激しくなった。大学におけるスクールセクシュアルハラスメントが次々と明るみに出る、DV防止法施行後一年での相談件数が15,826件に達するという中での調査であった。

中高年の単身者を把握する事が難しく、荒木が述べているように、ある条件の基での調査となったが有配偶者調査との差、お互いにパートナーとの関係性を深める事は大切な事で、「其の為に必要な自己肯定感の確立、それにより生まれる他者を認め受け入れる受容感を育てる事が男女の間でも同様に必要で、この基礎の上に男性と女性の何が違うのかを見付ける事」其の総体こそが性教育であり、この二回の調査で明らかになった問題を解決し、年令を重ねた時の男女の生き方をより生き易いものにすると思われる。

また今回の調査の調査項目に入っていないが、臨床の場での経験から中高年単身者の性活動のパートナーは年令の低い若い世代の事も多く、同年代あるいは年上世代とは異なり性感染症罹患のリスクが高い事、全く無知なことを注意する必要がある。また男女とも更年期の身体的精神的障害が起こりうる事も注意しておきたい。



中高年のセクシュアリティに関する  
アンケート調査

〈現在、配偶者がいない方のための調査票〉

《セクシュアリティ研究会》

## 調査ご協力をお願い

人生八十年時代といわれて久しいですが、長くなった中高年期をいかに充実して生きるかは、私たちに  
とって新しい大きな課題です。潤いのある後半生のためには人生のパートナーとの良好な関係も望まれる  
ところですが、そのなかには性的な関係も見過ごしにできない重要な問題と思われます。

「セクシュアリティ研究会」は日本性科学会に所属する産婦人科医師、臨床心理士の研究グループです  
が、1999～2000 年に、配偶者のおられる中高年男女の、性行動、性意識の調査を行いました。その結果、  
歳をとっても性的関係を大切に思い、あるいは実際に性的活動性を保っている方も少なくないこと、しか  
し男女の違いは大きく、一般に夫婦間で性的コミュニケーションが不足していること、などが明らかにな  
りました。これらについては、よりよい男女関係を目指す一助になることを願い、学会、論文や一般向け  
の本として発表してまいりました。

ところで、中高年期にはパートナーを失うことも起こってまいります。結婚というような安定した関係  
を持たずに中高年期を迎える人もいます。さまざまな経過の後、現在単身生活をしておられる方の、性を  
含めたパートナーシップについて知ることは、今は配偶者のいる人を含め、多くの人にとって必要な情報  
だと思いますし、単身者の恋愛や性に関わる要望を実現していく道を模索する上でも大切と考え、今回の  
調査を企画いたしました。

アンケートの内容は大変プライベートな生活に踏み込み、お答えになりにくい質問項目もあることと思  
いますが、調査の主旨をお汲み頂き、率直にお答えくださいますようお願い申し上げます。もし、お  
つき合いしている相手の方にもお願い頂ければ幸いです。その場合はお二人で相談なさらず、各々御記入  
の上、別々の封筒でお送り下さい。本調査は無記名で、データは統計的に処理されますので、個人のお名  
前が出たり、ご迷惑がかかることは一切ありません。

なお、アンケートに関して、ご不明の点やご質問がありましたら、御遠慮なく最終頁裏面に記載した「問  
い合わせ先」にお問い合わせ下さい。

### <セクシュアリティ研究会>

代表 荒木乳根子（田園調布学園大学）

共同研究者（アイウエオ順）

石田 雅巳（老人保健施設ハートランドぐらんばぐらんま）

大川 玲子（国立千葉病院）

金子 和子（日本赤十字医療センター）

早乙女智子（NTT 東関東病院）

堀口 貞夫（中林病院）

堀口 雅子（女性成人病クリニック）

渡辺 景子（日本性科学会カウンセリング室）

後援 日本性科学会



A あなたご自身についてお聞きします

A 1. あなたの性別をお答え下さい。

- 1 男性                      2 女性

A 2. あなたの年齢についてお答え下さい。

滿 (        ) 歲

A 3. あなたは誰かと同居していますか。

- 1 一人暮らし      2 肉親（親・兄弟姉妹・子孫）と同居      3 友人と同居

- 4 付き合っている相手と同居（同棲）

- 5 その他 ( )

A 4. あなたの仕事についてお答え下さい。

- 1 過去、職業に就いていた

- 2 現在、職業に就いている

- 3 職業に就いたことがない

SA4 「1 過去、職業に就いていた」「2 現在、職業に就いている」と答えた方にお聞きます。

どのような仕事をされていた・いるのですか(一番長く就いていた職業についてお答え下さい)。

- 1 專門的・技術職業      2 管理的職業従事者      3 事務従業者

- 4 販売従事者                      5 サービス職業                      6 保安職業

- 7 農林漁業                      8 運輸・通信                      9 勞務

- 10 その他 ( )

A 5. あなたの最終学歴についてお答え下さい。

- 1 中学校                      2 高等学校                      3 短期大学・専門学校

- 4 尋常小学校・旧制高等小学校      5 旧制中学校・旧制高等女学校・師範学校

- 6 旧制高等学校・旧制高等専門学校・高等師範学校

- 7 大学・大学院                      8 その他 (                      )

A 6. 経済的な収入は次のどれによっていますか。いくつでも○を付けて下さい。

- 1 自分の仕事の収入      2 自分の財産、家作など      3 恩給、年金

- 4 恩給、年金以外の社会保障給付金 5 身内の援助

- 6 その他 ( )

A 7. 今までの結婚歴についてお答え下さい（事実婚も含みます）。

- 1 現在まで未婚      2 死別：(      ) 年前      3 離婚：(      ) 年前

(回答「2」または「3」で経験が複数の場合は、最後の結婚についてお書き下さい。)

A 8. 今までの同棲経験についてお答え下さい。

- 1 同棲したことはない      2 過去に、同棲したことがある      3 現在、同棲している

A 9. 今までに性体験はありますか。

- 1 性体験はない                      2 キス・愛撫・ペッティングあり                      3 性交渉あり

A10. 最近の健康状態についてお答え下さい。

- 1 健康である                      2 だいたい健康  
3 あまり健康ではない                      4 健康ではない

A11. あなたは現在、病院で通院治療している病気がありますか。

- 1 ある                      2 ない

女性の方にお聞きます \*男性の方は質問Bへお進み下さい。

A12. 出産の経験はありますか。

- 1 ある                      2 ない

A13. 妊娠中絶の経験はありますか。

- 1 ある                      2 ない

A14. 月経は若い頃（30代前半）と比べてどうですか。

- 1 変化ない                      2 不規則になってきた  
3 閉経した：最終月経（                      ）歳

A15. 更年期障害はありましたか。「ある」または「あった」方は障害の程度にも○を付けて下さい。

- 1 経験していない  
2 現在、更年期障害がある                      :    障害は    1 軽い                      2 中程度                      3 重い  
3 過去に、更年期障害があった                      :    障害は    1 軽い                      2 中程度                      3 重い

B    性についての考えに関してお聞きます

B 1. 性に関する以下の考え方について、賛否いずれかあなたの考えと一致する方に○を付けて下さい。

- |                           |   |      |       |
|---------------------------|---|------|-------|
| 1) 性はコミュニケーションである         | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 2) 性は快楽である                | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 3) 性は楽しいものだ               | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 4) 性について口にしてはいけない         | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 5) 性は不潔で汚らしい              | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 6) 性の目的は子供を産むことである        | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 7) 結婚や婚約なしに性的な関係をもつのはよくない | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 8) 愛情があれば性的な関係をもってよい      | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 9) 互いの合意があれば性的関係をもってよい    | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 10) 売買春は悪いことだ             | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 11) 閉経以後は性生活をやめるのが自然だ     | : | 1 はい | 2 いいえ |
| 12) 老年になったら男性は性欲がなくなる     | : | 1 はい | 2 いいえ |

- 13) 老年になったら女性は性欲がなくなる : 1 はい 2 いいえ  
 14) 性は男性がリードするものだ : 1 はい 2 いいえ  
 15) 夫の性的な求めに応じるのが妻の心得だ : 1 はい 2 いいえ  
 16) 妻の性的な求めに応じるのが夫の心得だ : 1 はい 2 いいえ  
 17) 女性から求めるのは恥ずかしいことだ : 1 はい 2 いいえ

B 2. あなたは、男性が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。

- 1 つきあうべきではない 2 性的関係がないならかまわない  
 3 性的関係があっても、家庭に迷惑がかからなければかまわない  
 4 家庭に迷惑がかかっても仕方がない 5 好きになったら付き合うのが自然だ

B 3. あなたは、女性が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。

- 1 つきあうべきではない 2 性的関係がないならかまわない  
 3 性的関係があっても、家庭に迷惑がかからなければかまわない  
 4 家庭に迷惑がかかっても仕方がない 5 好きになったら付き合うのが自然だ

B 4. あなた自身が配偶者のいる異性と親密な付き合いをすることについてどう思いますか。

- 1 つきあうべきではない 2 性的関係がないならかまわない  
 3 性的関係があっても、家庭に迷惑がかからなければかまわない  
 4 家庭に迷惑がかかっても仕方がない 5 好きになったら付き合うのが自然だ

B 5. あなたにとって性はどのような意味をもつと思いますか。(三つ以内、○をつけて下さい。)

- 1 愛情表現・愛情の確認 2 ふれあい(コミュニケーション) 3 やすらぎ・安心感  
 4 肉体的充足・快楽 5 精神的充足 6 ストレス解消 7 自信をつける  
 8 生き甲斐・活力剤 9 子ども作り 10 面倒なこと 11 不快・苦痛なもの  
 12 義務 13 特に意味はない・自分とは無関係  
 14 その他 ( )

### C お付き合い、性的な関係についてお聞きます

C 1. あなたは結婚したいと思いますか。(現在、相手がいるかどうかにかかわらず)

- 1 結婚したい 2 結婚したくない

SC 1-1 「1 結婚したい」と答えた方に伺います 主要な理由 2つに○を付けてください。

- 1 精神的な安定、充足が欲しい 2 経済的基盤を分かち合いたい  
 3 性生活を安定させたい 4 家事や身の回りの世話をする人が欲しい  
 5 病気の時など助け合える 6 社会的な信用を得たい  
 7 その他 ( )

S C 1-2 「2 結婚したくない」と答えた方に伺います 主要な理由二つに○を付けて下さい。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 法律的な問題が煩わしい   | 2 肉親が反対する           |
| 3 自由を束縛されたくない   | 4 経済的な問題（年金、遺産相続など） |
| 5 家事や身の回りの世話が負担 | 6 性生活が負担            |
| 7 世間体が悪い        | 8 その他（ )            |

C 2. 現在お付き合いしている人がいますか

- 1 いる                      2 いない

「2 いない」と答えた方に伺います。 \* 「1 いる」と答えた方はC 4 にお進み下さい。

C 3. あなたはお付き合いする相手を欲しいと思いますか。

- 1 欲しい                      2 欲しくない

S C 3-1 「1 欲しい」と答えた方に伺います どのような性的関係を望みますか。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1 精神的な愛情関係   | 2 性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係 |
| 3 性交渉を伴う愛情関係 | 4 性交渉が主な関係        |
| 5 その他（ )     |                   |

S C 3-2 「2 欲しくない」と答えた方に伺います 主要な理由2つに○を付けて下さい。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 自由を束縛されたくない   | 2 倫理的に受け入れられない   |
| 3 性交渉を求められそうで嫌だ | 4 周囲の目がうるさい      |
| 5 肉親が反対する       | 6 付き合うのは面倒、関心がない |
| 7 その他（ )        |                  |

\* 次は質問D 1へお進み下さい。

現在、お付き合いしている人が「1 いる」と答えた方に伺います

C 4. お付き合いしている人は1人ですか複数ですか、性別もお答え下さい。

- |        |   |      |                   |
|--------|---|------|-------------------|
| 1 1人   | : | 1 同性 | 2 異性              |
| 2 2人以上 | : | 1 同性 | 2 異性      3 同性と異性 |

C 5. お付き合いの期間はどれくらいですか。

(現在、複数の相手がいる方は一番親密な相手に関してお答え下さい。以下C 11 まで同様です。)

- |         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 1 6ヶ月未満 | 2 6ヶ月以上1年未満                        |
| 3 3年未満  | 4 5年未満                      5 5年以上 |

C 6. その人とは同居していますか。

- 1 同居している                      2 同居していない

C 7. その人には配偶者がいますか

- 1 配偶者がいる                      2 配偶者はいない

C 8. あなたとその人との関係はどのようなものですか。

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| 1 精神的な愛情関係   | 2 性交渉以外の愛撫を伴う愛情関係        |
| 3 性交渉を伴う愛情関係 | 4 性交渉が主な関係      5 その他（ ) |



C 9. 日常生活でよくする身体的触れ合いに、いくつでも○を付けて下さい。

- |          |         |                  |
|----------|---------|------------------|
| 1 手をつなぐ  | 2 腕を組む  | 3 肩を抱く           |
| 4 腰に手を回す | 5 身体に触る | 6 抱擁する           |
| 7 キスをする  | 8 膝枕    | 9 肩もみ・指圧・マッサージなど |
| 10 その他 ( |         | ) 11 ほとんどない      |

C 10. あなたとその人との経済的関係はどのようなものですか。

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 全面的に援助している   | 2 部分的に援助している  |
| 3 援助しても、されてもない |               |
| 4 部分的に援助されている  | 5 全面的に援助されている |

**D 最近1年ほどの生活／性生活についてお聞きます**

D 1. あなたが愛情や関心を抱いている対象は何ですか。いくつでも○を付けて下さい。

- |                 |       |         |
|-----------------|-------|---------|
| 1 恋人・付き合っている人   | 2 肉親  | 3 友人    |
| 4 芸術家・芸能人等      | 5 ペット | 6 趣味    |
| 7 サークル活動・ボランティア | 8 仕事  | 9 その他 ( |

D 2. 単身の淋しさ、もの足りなさを感じることがありますか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

SD 2 「1 はい」と答えた方に伺います。

何で解消していますか。いくつでも○を付けて下さい。

- |                |             |              |
|----------------|-------------|--------------|
| 1 人と会う・電話する    | 2 メル友とのやりとり | 3 買い物        |
| 4 食べること        | 5 酒・タバコ     | 6 パチンコ・競馬・競輪 |
| 7 風俗・ポルノなど性的媒体 | 8 その他 (     | ) 9 特になし     |

D 3. あなたご自身は若い頃と比べて性的欲求の強さは変化しましたか。

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 若い頃より増えた     | 2 若い頃と同じくらい  |
| 3 若い頃より少し減少    | 4 若い頃より大いに減少 |
| 5 欲求はほとんどなくなった |              |

D 4. あなたにとって性生活はどのていど重要だとお考えですか。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 重要である     | 2 どちらかといえば重要である |
| 3 あまり重要ではない | 4 重要ではない        |

D 5. あなたは現在の性生活に満足していますか。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 性生活が全く得られず欲求不満である | 2 性生活が不十分で欲求不満である    |
| 3 性生活の頻度はいいが、内容に不満  | 4 性生活をもっと減らしたい       |
| 5 望む性生活があり満足している    | 6 煩わしい性生活が無いので満足している |
| 7 その他 (             | )                    |

SD 5 「1」、「2」または「3」と答えた方に伺います

性的欲求不満をどのように解消していますか。

- 1 自然に解消
- 2 がまんしている
- 3 他のこと（趣味、スポーツ、友人との会合など）をして解消
- 4 性的な楽しみ（ポルノ雑誌・ビデオ、テレビなど）で解消
- 5 マスターベーション（自慰）
- 6 風俗を利用
- 7 売買春
- 8 その他（ ）

D 6. あなたの過去1年間の性交頻度はどのくらいですか。

- 1 週2回以上
- 2 週1回
- 3 月2-3回
- 4 月1回
- 5 年数回くらい
- 6 この1年全くない

D 7. 過去1年間の性交渉の相手は何人ですか。

- 1 なし
- 2 1人
- 3 2人
- 4 3人以上

D 8. 過去1年間の性交渉の相手とはどのような関係ですか（あてはまるものすべてに○をして下さい）

- 1 相手はいない
- 2 恋人・おつき合いしている人
- 3 売買春
- 4 行きずりの相手
- 5 その他（ ）

D 9. 性体験はあるが、性交渉が「この1年全くない」と答えた方に伺います

性交渉がなくなったのは、何歳ぐらいからですか。

（ ）歳頃

SD 9 性交渉がなくなった理由は何ですか。主な理由3つ以内、○を付けて下さい。

- 1 自分の病気
- 2 自分の関心の喪失
- 3 自分の性交痛
- 4 自分の性交不能
- 5 相手の病気
- 6 相手の関心の喪失
- 7 相手の性交痛
- 8 相手の性交不能
- 9 相手との離死別
- 10 金銭的な余裕がない
- 11 時間的な余裕がない
- 12 その他（ ）

D10. マスターベーション（自慰・オナニー）をすることがありますか。

- 1 しない
- 2 まれにする
- 3 ときどきする
- 4 よくする

SD10 「2」、「3」または「4」と答えた方に伺います

あなたにとってマスターベーションはどんな意味がありますか。

- 1 快楽
- 2 やすらぎ
- 3 性欲の解消
- 4 性交渉での不満の解消
- 5 特に意味はない
- 6 その他（ ）

女性の方で過去1年間に性交渉があった方に伺います

\* 該当しない女性の方は最終頁の質問Eへ、男性の方は質問D12へお進み下さい。

D11. 性交の時、痛みを感じることはありますか。

- 1 いつもある
- 2 だいたいある
- 3 ときどきある
- 4 ない

「1」、「2」または「3」と答えた方に伺います

SD11-1 性的満足感との関係はどうか。

- 1 痛みはあるが満足感が強い
- 2 どちらかといえば痛みより満足感が強い
- 3 どちらかといえば満足感より痛みが強い
- 4 満足感はなく痛みが強い

SD11-2 痛みについて言葉や態度で相手に伝えますか。

- 1 伝える
- 2 ある程度伝える
- 3 あまり伝えない
- 4 伝えない

SD11-3 痛みをやわらげるため、ホルモン補充両方やゼリーの使用についてどう思いますか。

- 1 使用の必要がない
- 2 使用してみたい
- 3 使用したくない
- 4 現在使用しており楽になった
- 5 使用しているがあまり変わらない
- 6 その他 ( )

男性の方に伺います \* 女性の方は質問D15へお進み下さい。

D12. 現在、自分の性機能についての不安はありますか。

- 1 ある
- 2 ときどきある
- 3 あまりない
- 4 ない

D13. 一時的ではなく、あるていど継続した性交困難（勃起不全、射精遅延、早漏など）になったことがありますか。

- 1 経験がない
- 2 過去になったことがある
- 3 現在なっている

SD13 「2」または「3」と答えた方に伺います

その主な原因はなんだと思われますか。（あてはまるものすべてに○を付けて下さい。）

- 1 加齢
- 2 身体の疲労
- 3 病気
- 4 お酒の飲み過ぎ
- 5 仕事上のストレス
- 6 その他のストレス
- 7 相手との関係
- 8 その他 ( )

D14. バイアグラや補助器具の使用について、どう思いますか。

- 1 使用の必要がない
- 2 使用してみたい
- 3 使用したくない
- 4 現在使用しており効果がある
- 5 使用しているがあまり変わらない
- 6 その他 ( )

最近1年間に性交渉のあった方に伺います \* 性交渉がなかった方は最終頁の質問Eへお進み下さい。

D15. 性交渉の相手とは、性的感情や欲求について、お互いに伝えたり話し合うことがありますか。

（複数の対象がある方は一番親密な相手との関係についてお答え下さい。以下、D26まで同様です。）

- 1 互いに伝え合う
- 2 自分のみ伝える
- 3 相手のみ伝える
- 4 伝え合うことはない

D16. 相手はあなたの性に対する欲求や身体の状態について、分かってくれていますか。

- 1 分かっている
- 2 だいたい分かっている
- 3 あまり分かっていない
- 4 分かっていない

D17. あなたと相手のどちらから性交渉を求めることが多いですか。

- 1 自分から                      2 だいたい自分からだが、相手から求めることもある  
3 だいたい相手からだが、自分から求めることもある          4 相手から

D18. あなた方は性交渉の時、前戯をしますか。

- 1 いつもする                  2 することが多い  
3 しなことが多い        4 しない

D19. よく行いう前戯にいくつでも構いませんので○をつけて下さい。

- 1 口唇へのキス                      2 乳房への愛撫                      3 乳房へのキス  
4 性器への愛撫                      5 性器へのキス                      6 その他の部位へのキス・愛撫  
7 その他（

D20. 1回の性交渉（前戯から終了まで）にどのくらいの時間を要していますか。

- |             |         |         |
|-------------|---------|---------|
| 1 5分以内      | 2 10分程度 | 3 20分程度 |
| 4 30分～1時間未満 | 5 1時間以上 |         |

D21. 性交渉のとき十分な肉体的満足感（オーガズム・射精）が得られますか。

- 1 いつも得られる                      2 だいたい得られる  
3 あまり得られない                  4 得られない

D22. 性交渉のとき十分な精神的満足感が得られますか。

- 1 いつも得られる                      2 だいたい得られる  
3 あまり得られない                  4 得られない

D23. 相手はあなたとの性交渉で満足していると思いますか。

- 1 満足している      2 だいたい満足している      3 あまり満足していない  
4 満足していない      5 分からない

D24. 性交渉のとき、相手が満足を感じることは、あなたにとって重要ですか。

- 1 重要である                      2 あるていど重要である                      3 あまり重要ではない  
4 重要ではない

D25. あなたが、性生活に関して相手に望むことはどのようなことですか。いくつでも○をお付け下さい。

- |              |                |               |
|--------------|----------------|---------------|
| 1 日常的に愛情を示す  | 2 雰囲気作りをする     | 3 性交以外の愛撫を楽しむ |
| 4 性交に変化をつける  | 5 性交の後、余韻を楽しむ  | 6 相手の満足を大切にする |
| 7 性交の時間を短くする | 8 性交にもっと時間をかける | 9 性交回数を減らす    |
| 10 性交回数を増やす  | 11 性交をやめる      | 12 望むことは別にある  |
| 13 その他 ( )   |                |               |

D26. 性交渉のとき避妊をしていますか。

- 1 妊娠の心配がない                      2 避妊している  
3 時により避妊しないことがある        4 避妊していない



SD26 「2」または「3」と答えた方伺います

よく行う避妊方法は、次のうちのどれですか。(複数回答可)

- |            |              |           |           |
|------------|--------------|-----------|-----------|
| 1 コンドーム    | 2 オギノ式／基礎体温法 | 3 リング・IUD |           |
| 4 ゼリー・フィルム | 5 ピル         | 6 パイプカット  | 7 卵管を結ぶ手術 |
| 8 膣外射精     | 9 その他 (      | )         |           |

E ご自由にお書き下さい

このアンケートについてのご意見・ご感想、あるいは、あなたはどのような性的生活を望んでいらっしゃるか、思うようにはいかない点はどんなところか、また、性について近頃思うことはどのようなことか等、何でもかまいませんので、ご自由にお書き下さい。

ご協力どうもありがとうございました。

## MEMO